

おのまち障がい者計画等アンケート

－調査結果報告書－

令和3年3月

小野町 健康福祉課

目次

I	調査概要	1
II	調査結果	2
1	回答者のプロフィール	2
(1)	回答者	2
(2)	年齢	3
(3)	性別	4
2	生活環境について	5
(1)	居住形態	5
(2)	同居家族	6
(3)	日常生活の介助状況	7
(4)	主な介助者	9
(5)	主な介助者の年齢、性別、健康状態	10
3	障がいの状況について	12
(1)	身体障害者手帳の所有状況	12
(2)	身体障がいの種類	13
(3)	療育手帳の所有状況	14
(4)	精神障害者保健福祉手帳の所有状況	14
(5)	自立支援医療受給者証の所有状況	15
(6)	特別児童扶養手当の受給状況	15
(7)	難病（特定疾患）の認定の有無	16
(8)	発達障がいの診断の有無	16
(9)	高次脳機能障がいの診断の有無	17
(10)	高次脳機能障がいの関連障がい	17
(11)	現在受けている医療ケア	18
4	暮らしや住まいについて	19
(1)	将来希望する居住形態	19
(2)	地域で生活するために必要な支援	20
5	外出について	22
(1)	1週間の外出の頻度	22
(2)	外出時の主な同伴者	23
(3)	外出の目的	24
(4)	外出時に困ること	26
6	日中活動や就労について	28
(1)	平日の日中の主な過ごし方	28
(2)	通園・通学先に望むこと	29
(3)	中学校卒業後に希望する進路	29
(4)	高校卒業後に希望する進路	30
(5)	勤務形態について	30
(6)	今後の就労意向	31
(7)	職業訓練などの受講意向	32
(8)	必要な就労支援	33

7	障がい福祉サービス等の利用について	34
(1)	認定された障がい支援区分	34
(2)	介護保険によるサービスの利用有無	34
(3)	該当する要介護度	35
(4)	サービスの利用状況と今後利用したいサービスについて	36
8	相談支援と情報提供について	40
(1)	相談相手	40
(2)	福祉サービスに関する情報源	43
9	権利擁護について	45
(1)	差別や嫌な思いをする(した)経験の有無	45
(2)	差別や嫌な思いをした場所	46
(3)	嫌な思いをした内容	47
(4)	成年後見制度の認知	49
10	災害時の避難等について	50
(1)	災害時の避難	50
(2)	近所に助けてくれる人がいるか	51
(3)	災害時に困ること	52
11	障がい福祉サービスや行政の取組について	54
Ⅲ	使用した調査票	57
1	障がい者調査 調査票	57
2	障がい児調査 調査票	71

I 調査概要

1 調査の目的

町内の障がいのある方について、生活の様子や障がい福祉サービス利用の実態、将来の希望などを把握するとともに、本町の現状や課題など抽出・分析し、おのまち障がい者計画・第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画の策定の基礎資料として活用することを目的として、調査を実施した。

2 調査期間

令和2年10月2日（金）～令和2年10月16日（金）

3 調査対象

身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳を所持している方、自立支援医療受給者、特別児童扶養手当対象障がい児 619 人

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

調査種別	配布数	回収数	回収率
障がい者調査	584	378	64.7%
障がい児調査	35	25	71.4%

6 調査結果の見方

- (1) 調査数（n＝number of cases）は比率算出の基数であり、100.0%が何人の回答に相当するかを示す。
- (2) 回答の構成比は百分率であらわし、小数点第2位を四捨五入して算出している。したがって、単一回答形式の質問においては、回答比率を合計しても100.0%にならない場合がある。また、回答者が2つ以上の回答をすることができる複数回答形式の質問においては、各設問の調査数を基数として算出するため、全ての選択肢の比率を合計すると100.0%を超える。
- (3) 調査数（n）が少数の場合、統計上の回答構成比の信頼性が低いため、文章中の分析を省略している場合がある。
- (4) 「障がい者調査」については、特徴的な結果がみられた場合のみ、障がい区分別のクロス集計結果を掲載して、分析を行っている。なお、「障がい児調査」については調査数（n）が少ないことから、クロス集計による分析は行っていない。
- (5) 図表及び本文で、選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。

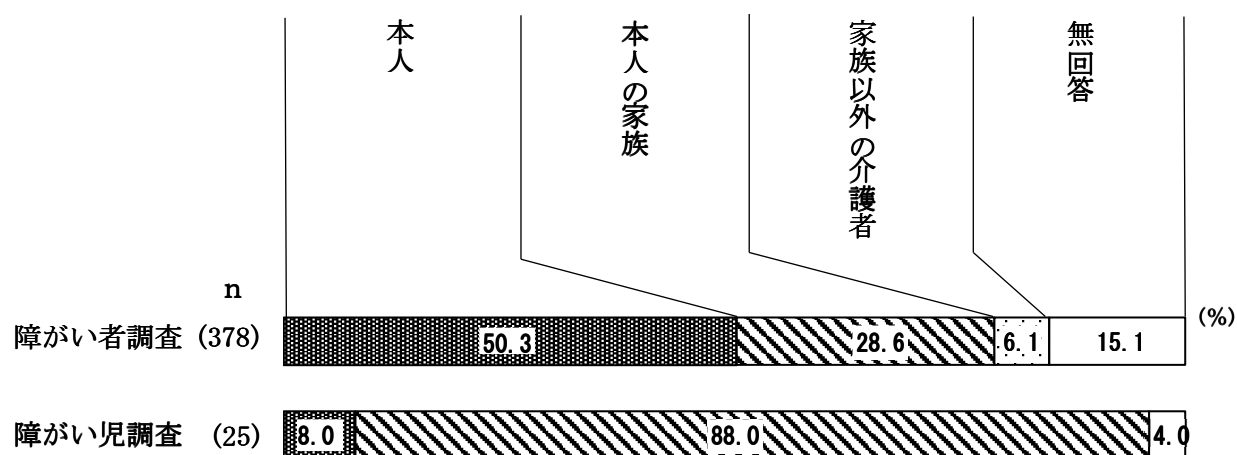
Ⅱ 調査結果

1 回答者のプロフィール

(1) 回答者

問 お答えいただくのは、どなたですか。(○は1つだけ)

【障がい者調査：問1、障がい児調査：問1】



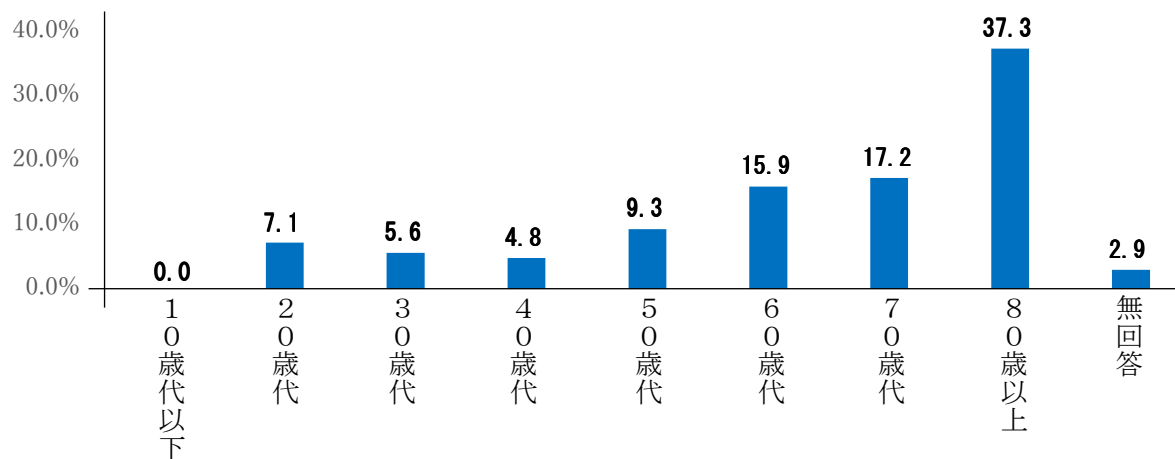
調査票の回答者について、障がい者調査では「本人」が50.3%と過半数を占めています。一方、障がい児調査では「本人の家族」が88.0%と約9割を占めています。

(2) 年齢

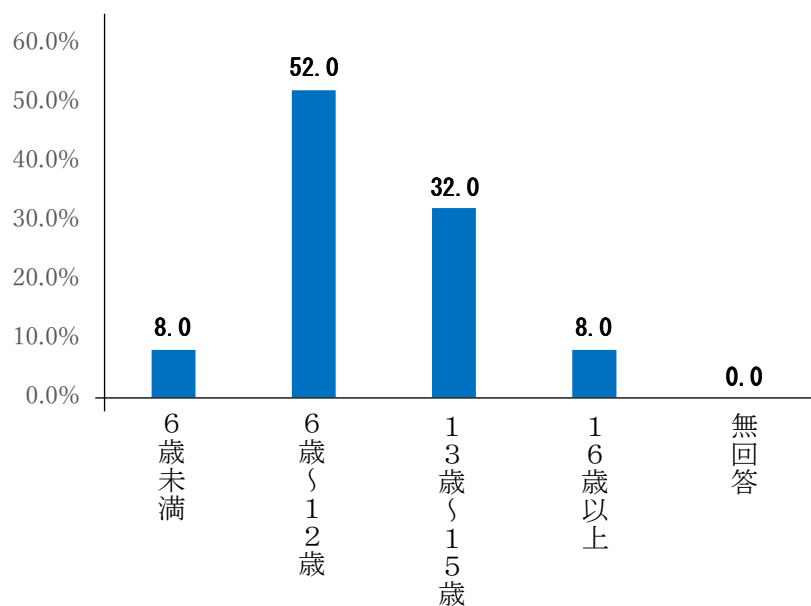
問 あなたの年齢をお答えください。(令和2年9月1日現在)

【障がい者調査：問2、障がい児調査：問2】

<障がい者調査> n=378



<障がい児調査> n=25

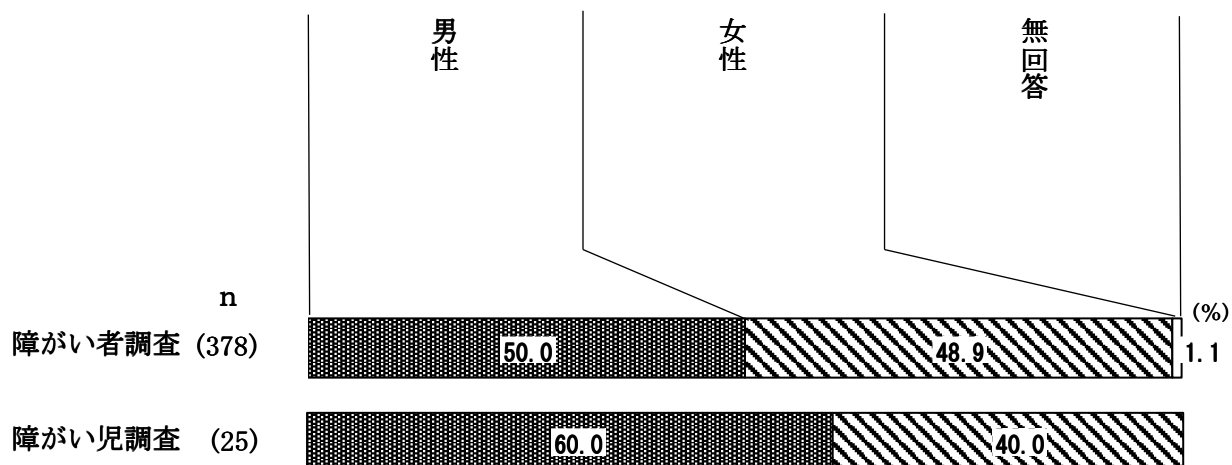


回答者の年齢について、障がい者調査では高年齢層の回答が多く、「80歳以上」が37.3%とも多くなっています。一方、障がい児調査では「6歳～12歳」が52.0%と最も多くなっています。

(3) 回答者

問 あなたの性別をお答えください。(○は1つだけ)

【障がい者調査：問3、障がい児調査：問3】



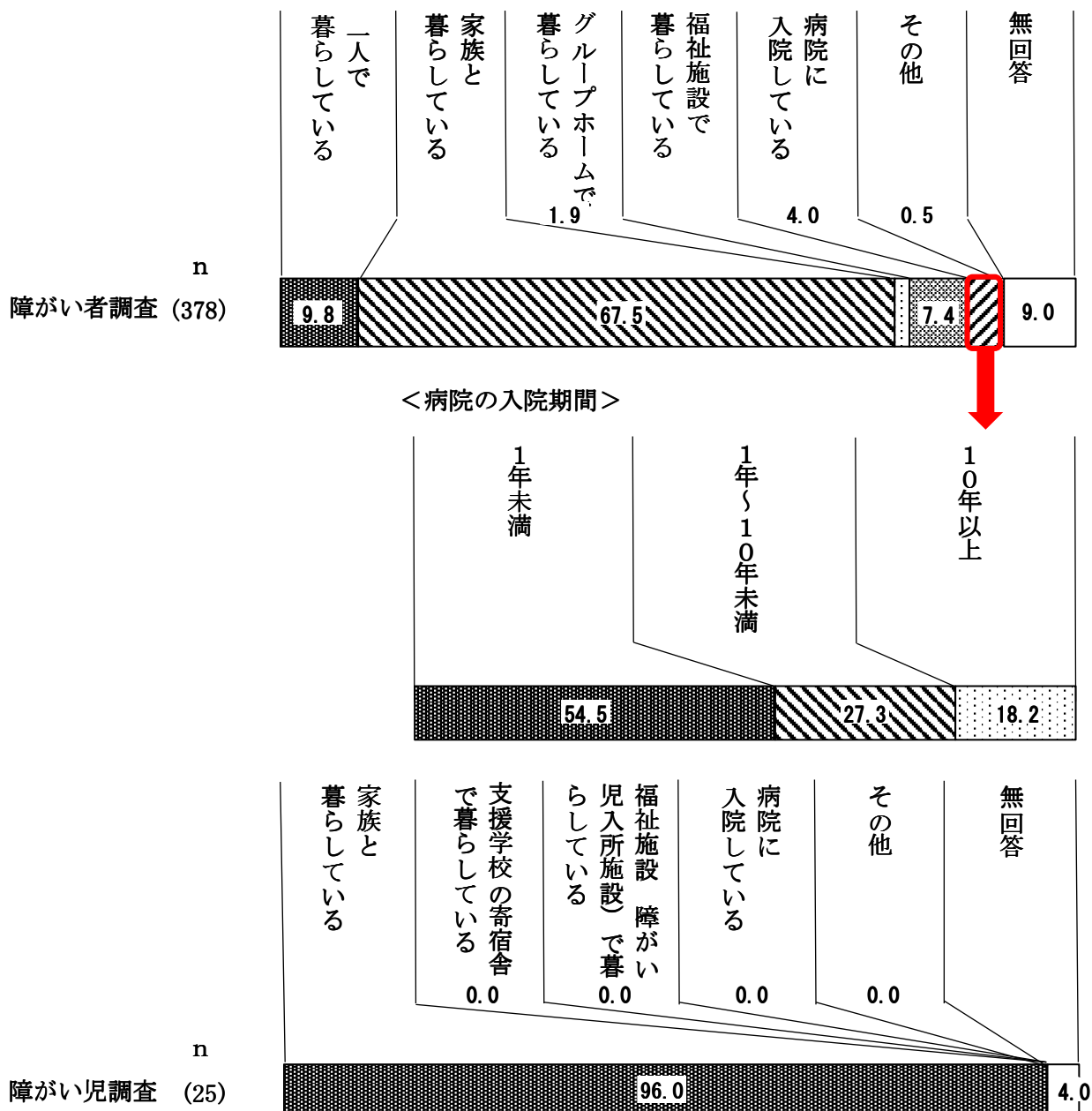
回答者の性別について、障がい者調査、障がい児調査ともに「男性」が「女性」に比べやや多くなっています。

2 生活環境について

(1) 居住形態

問 あなたは現在どのように暮らしていますか。(○は1つだけ)

【障がい者調査：問4、障がい児調査：問4】



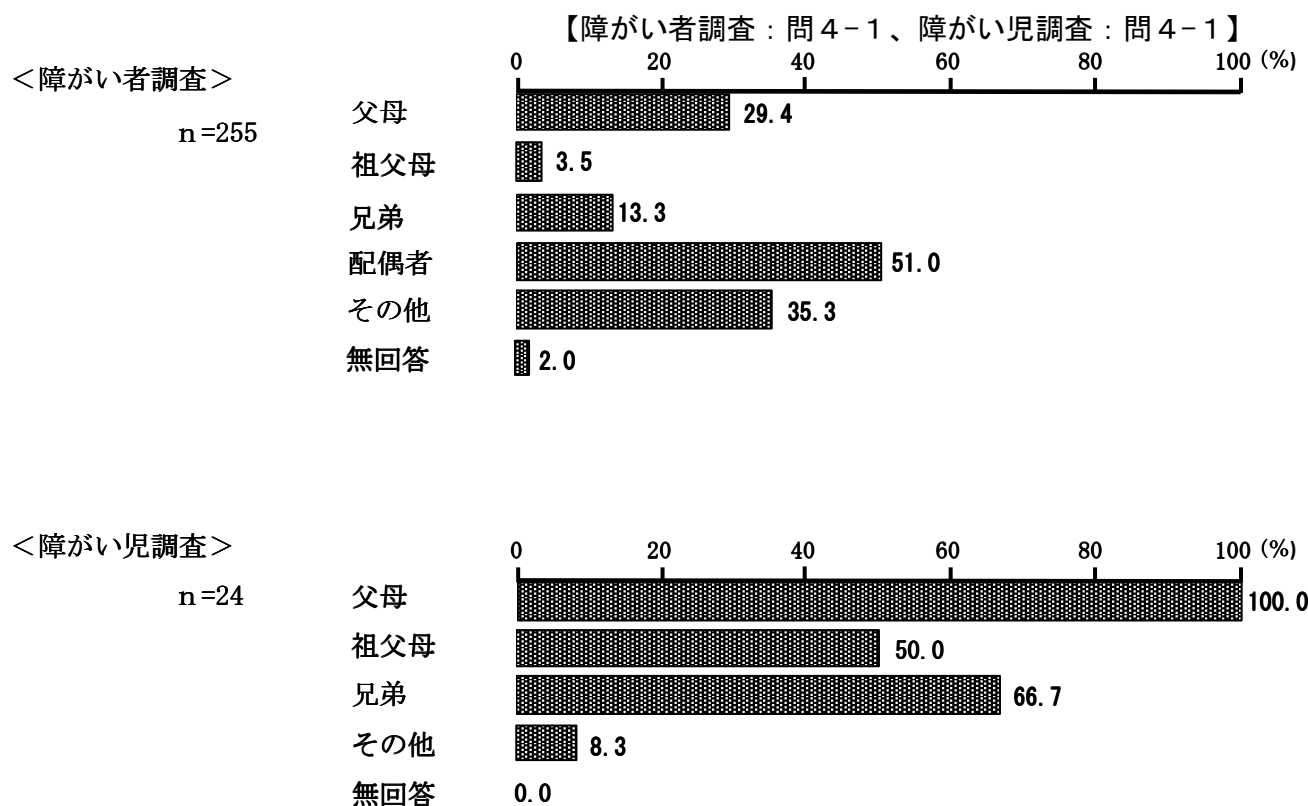
居住形態について、障がい者調査では「家族と暮らしている」が67.5%と最も多く、次いで「一人で暮らしている」が9.8%となっています。なお、「病院に入院している」を回答した方の入院期間は、「1年未満」が54.5%、「1年～10年未満」が27.3%、「10年以上」が18.2%となっています。

障がい児調査では「家族と暮らしている」が9割以上を占めています。

(2) 同居家族

【(1) 居住形態で「家族と暮らしている」を選択した方のみ】

問 同居しているご家族をお答えください。(あてはまるものすべてに○)



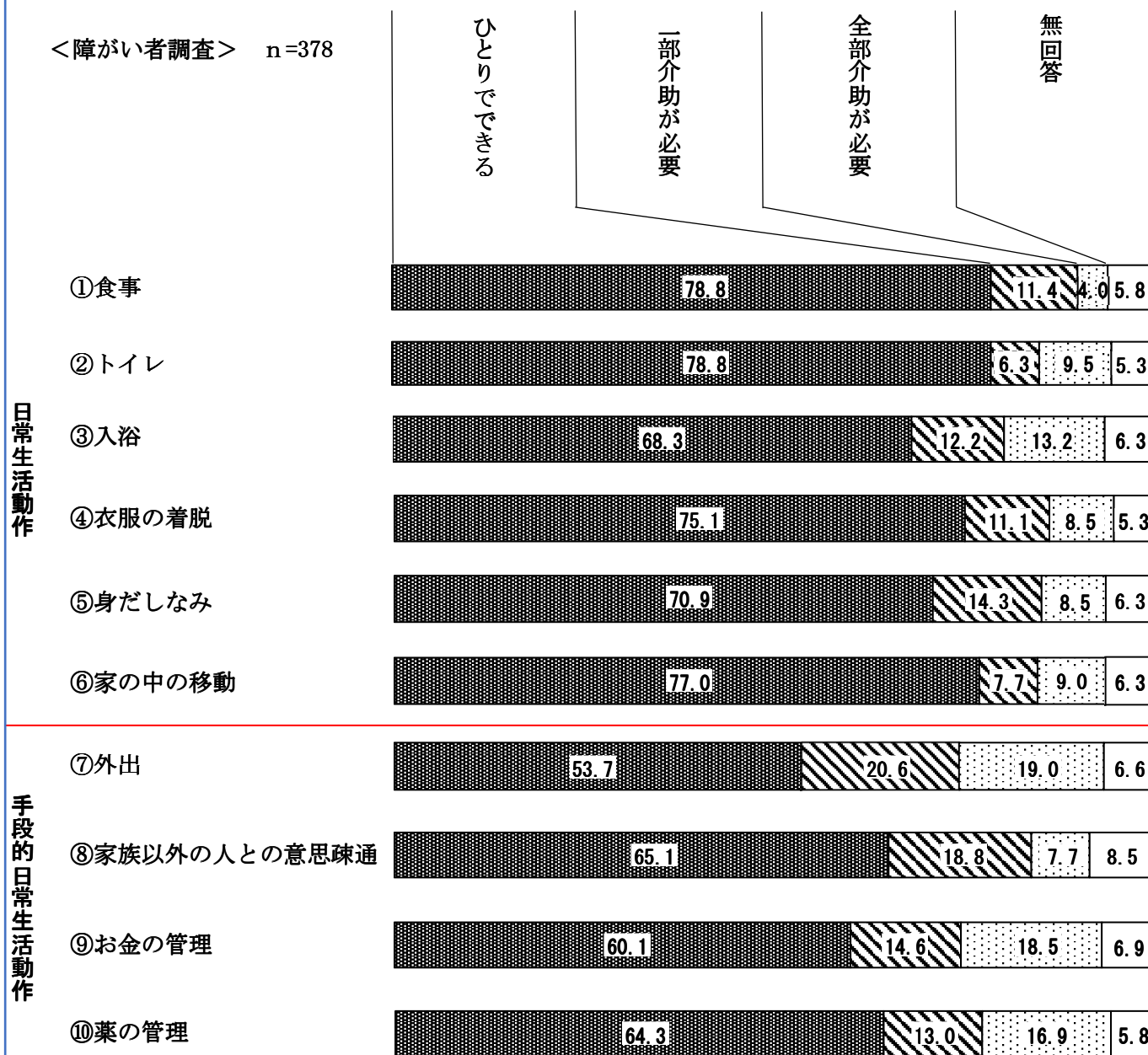
居住形態で「家族と暮らしている」を選んだ方の同居家族は、障がい者調査では「配偶者」が51.0%と最も多く、次いで「その他」が35.3%となっています。一方、障がい児調査では「父母」が100.0%、「兄弟」が66.7%、「祖父母」が50.0%となっています。

(3) 日常生活の介助状況

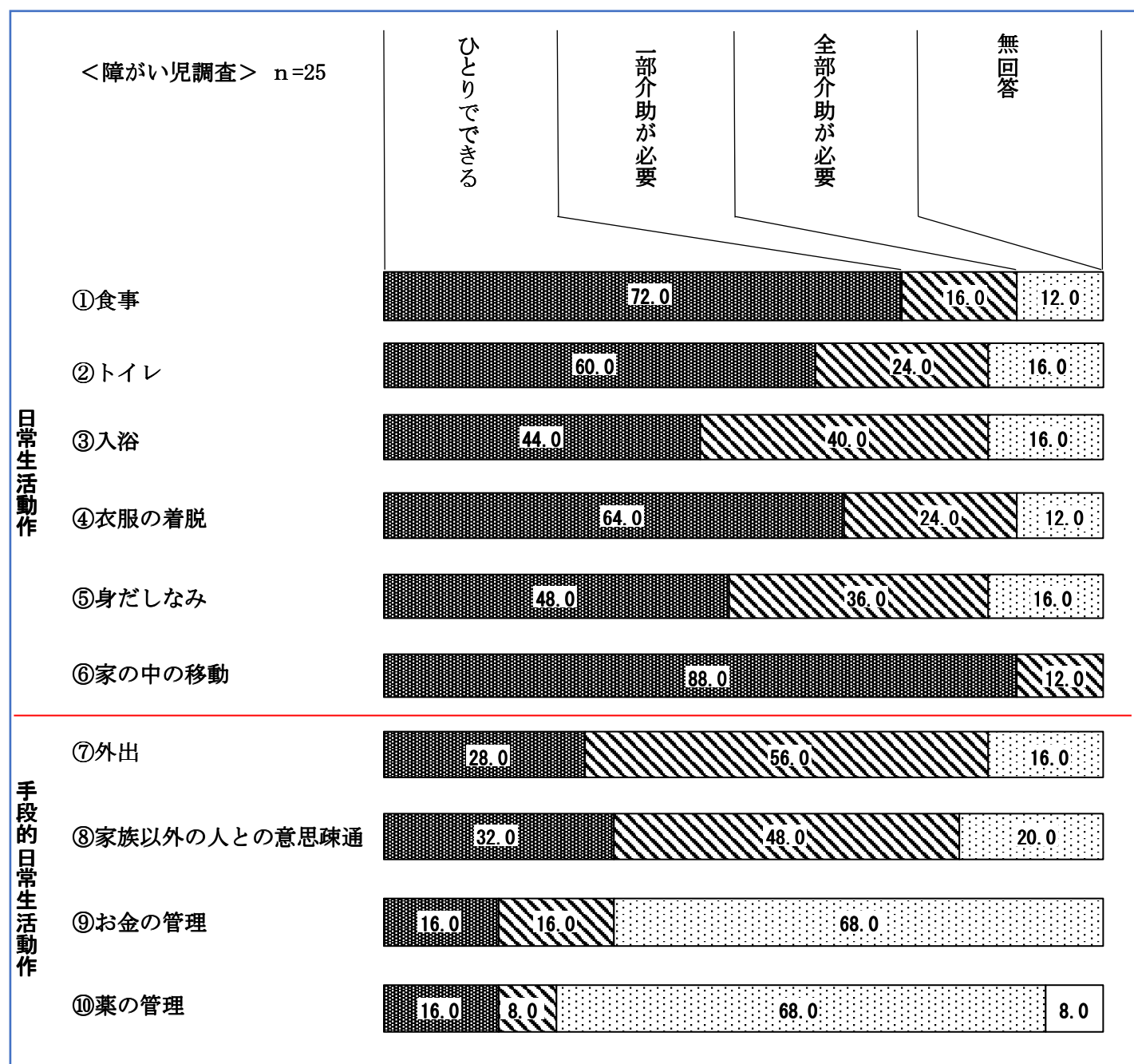
問 日常生活で、次のことをどのようにしていますか。①から⑩のそれぞれにお答えください。

(①から⑩それぞれに○を1つ)

【障がい者調査：問5、障がい児調査：問5】



日常生活の介助状況について、障がい者調査では、生活するうえで必要不可欠な日常生活動作の「ひとりできる」が約7～8割を占めています。一方、外出、お金の管理などの手段的日常生活動作については、何らかの介助が必要な割合が多くなっています。



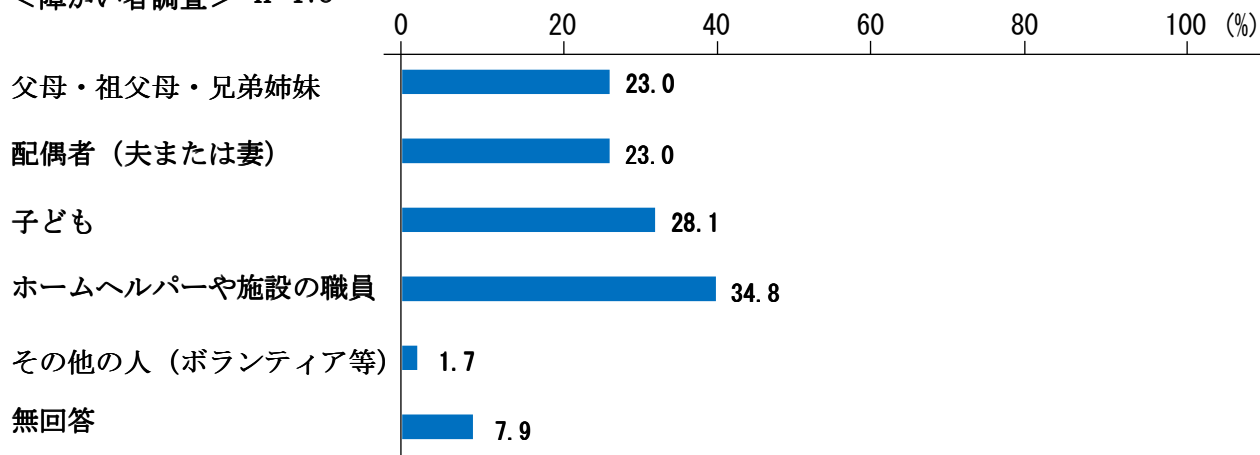
日常生活の介助状況について、障がい児調査では、日常生活動作の①食事、⑥家の中の移動の「ひとりでできる」が7割以上を占めています。一方、それ以外の日常生活動作は「ひとりでできる」が約4～6割にとどまっています。手段的日常生活動作については、何らかの介助が必要な割合が多くなっています。

(4) 主な介助者

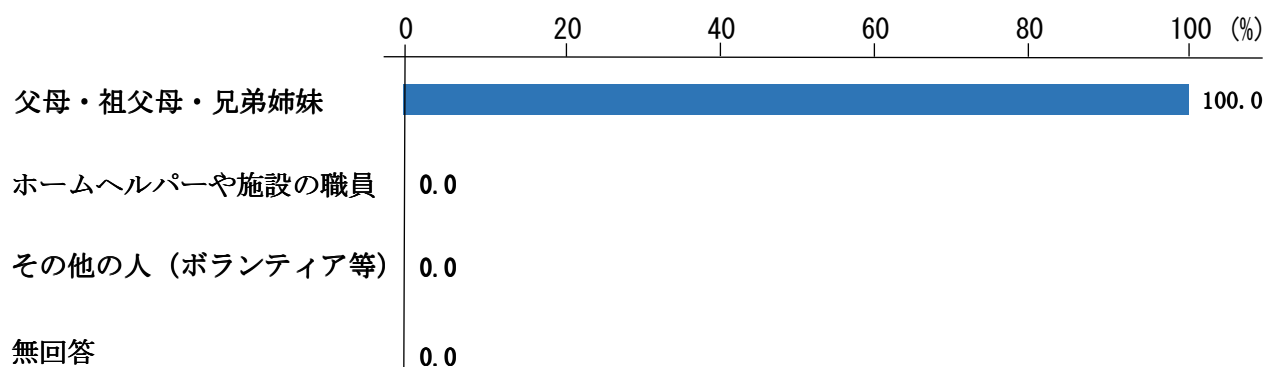
【(3) 日常生活の介助状況で「一部介助が必要」または「全部介助が必要」と答えた方のみ】
問 あなたを介助してくれる方は主に誰ですか。(あてはまるものすべてに○)

【障がい者調査：問6、障がい児調査：問6】

＜障がい者調査＞ n=178



＜障がい児調査＞ n=21



日常生活の介助状況について「介助が必要」と答えた方の主な介助者は、障がい者調査では「ホームヘルパーや施設の職員」が 34.8%と最も多く、次いで「子ども」(28.1%) となっています。一方、障がい児調査では「父母・祖父母・兄弟姉妹」が 100.0%となっています。

(5) 主な介助者の年齢、性別、健康状態

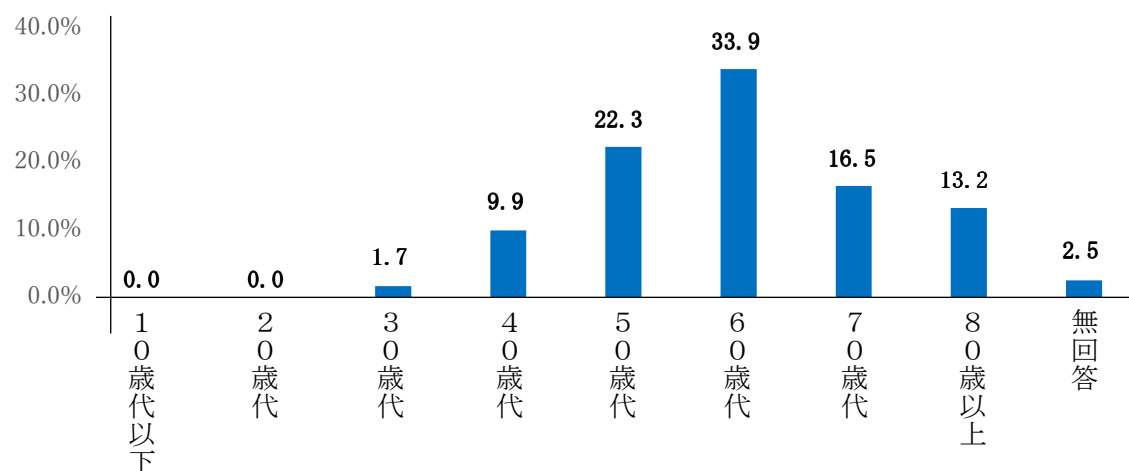
【(4) 主な介護者で「1. 父母・祖父母・兄弟姉妹」「2. 配偶者（夫または妻）」「3. 子ども」を選択した方のみ（障がい児調査は「1」を選択した方のみ）】

問 あなたを介助してくれる家族で、特に中心となっている方の年齢、性別、健康状態をお答えください。

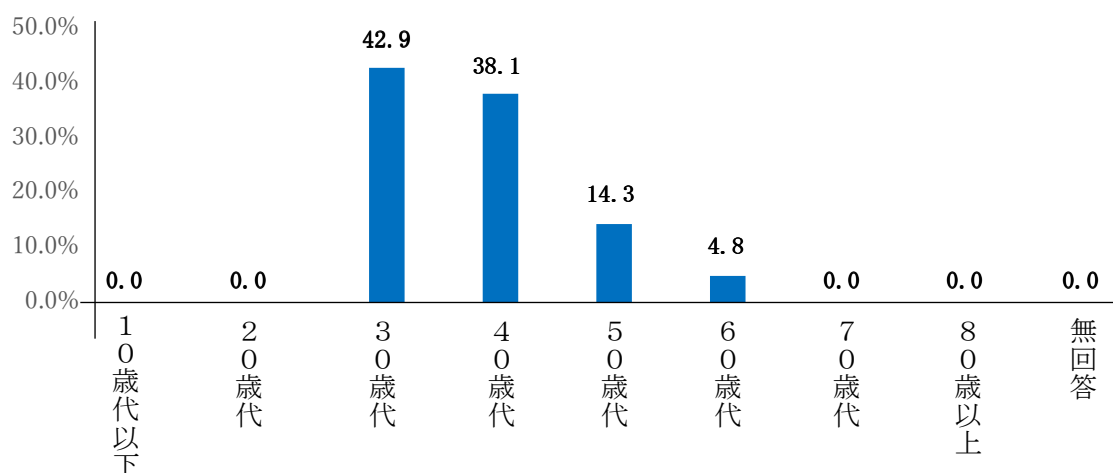
【障がい者調査：問7、障がい児調査：問7】

①年齢（令和2年9月1日現在）

<障がい者調査> n=121

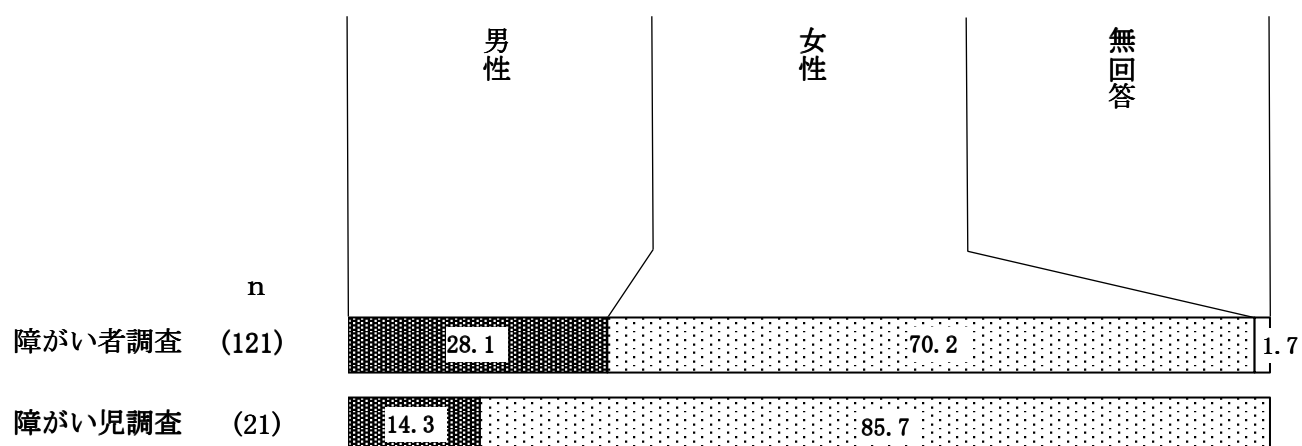


<障がい児調査> n=21

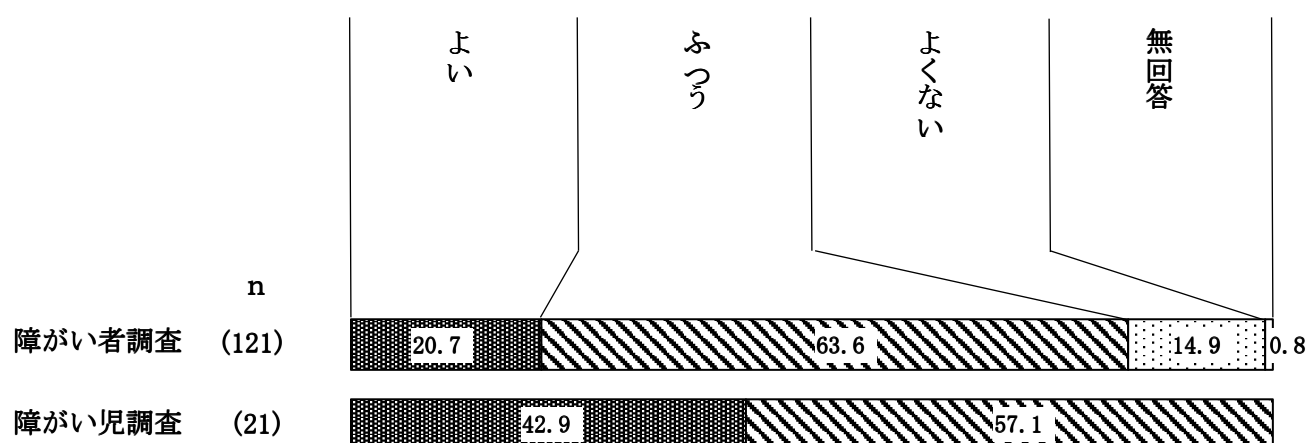


家族の介助者のうち特に中心となっている方の年齢は、障がい者調査では60歳代以上の高齢層が6割以上を占めています。一方、障がい児調査では親世代である「30歳代」(42.9%)、「40歳代」(38.1%)が多くなっています。

②性別（○は1つだけ）



③健康状態（○は1つだけ）



家族の介助者のうち特に中心となっている方の性別は、障がい者調査では「男性」が28.1%、「女性」が70.2%となっています。一方、障がい児調査では「女性」（85.7%）が回答のほとんどを占めています。

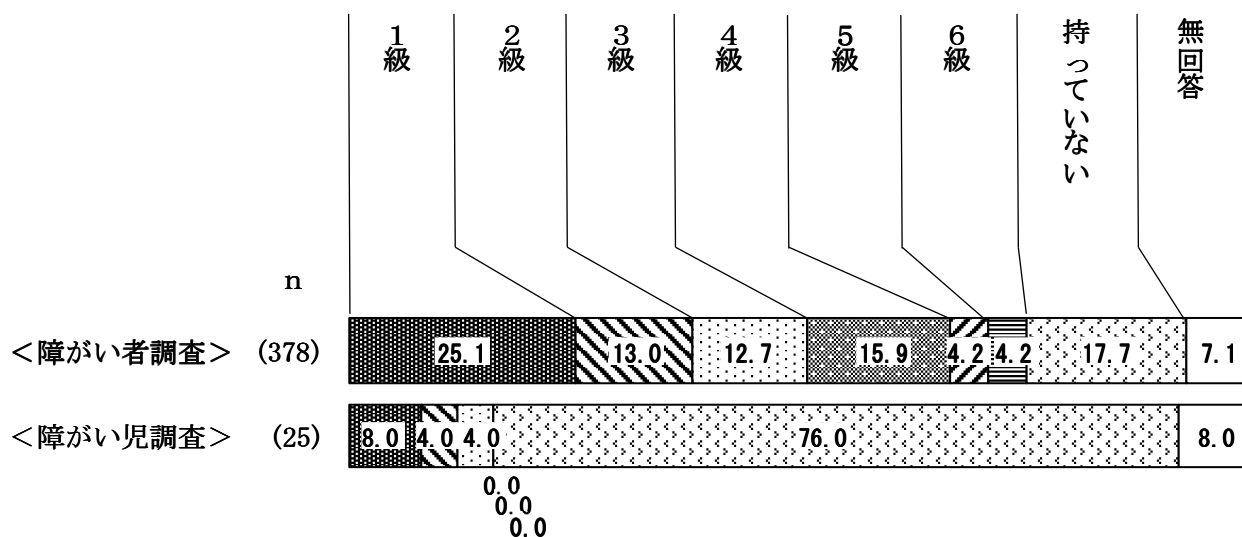
家族の介助者のうち特に中心となっている方の健康状態は、障がい者調査では「ふつう」が63.6%と約6割を占め、「よい」と「よくない」はともに約2割となっています。一方、障がい児調査では「よい」が42.9%、「ふつう」が57.1%となっています。

3 障がいの状況について

(1) 身体障害者手帳の所有状況

問 あなたは身体障害者手帳をお持ちですか。(あてはまるものすべてに○)

【障がい者調査：問8、障がい児調査：問8】

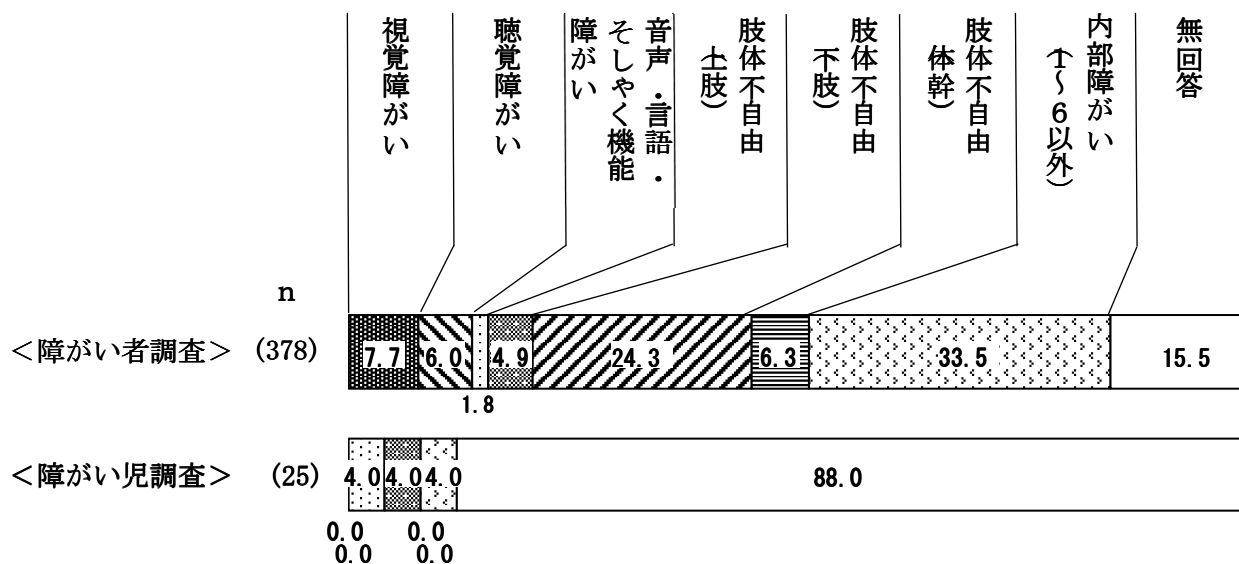


身体障害者手帳の所有状況について、障がい者調査では「1級」が25.1%と最も多く、次いで「持っていない」(17.7%)、「4級」(15.9%)となっています。一方、障がい児調査では「持っていない」が76.0%と最も多くなっています。

(2) 身体障がいの種類

問 身体障害者手帳をお持ちの場合、主たる障がいをお答えください。(○は1つだけ)

【障がい者調査：問9、障がい児調査：問9】

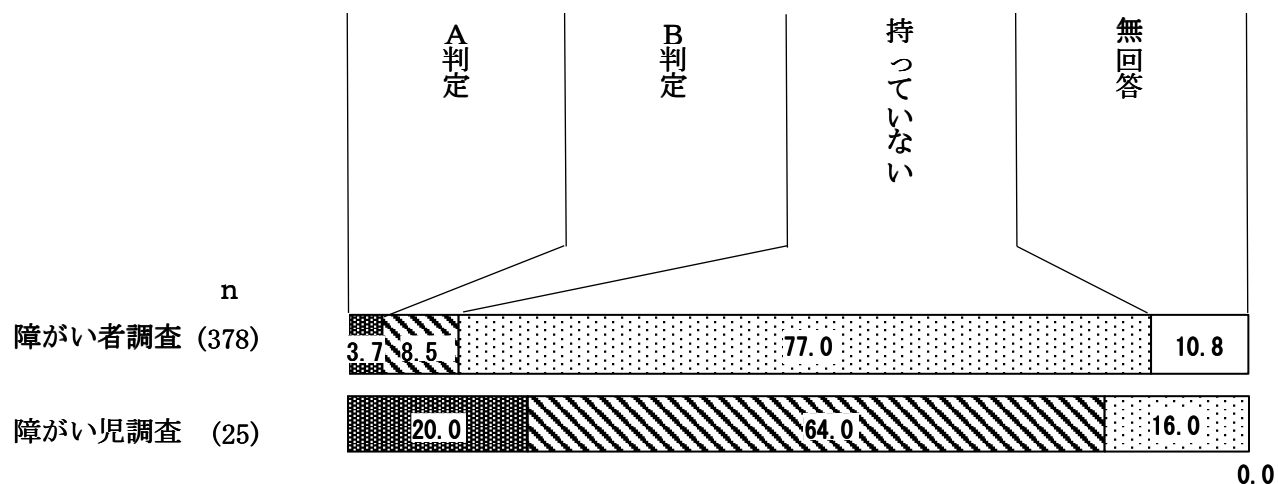


身体障がいの種類については、障がい者調査では「内部障がい（1～6以外）」が最も多く、次いで「肢体不自由（下肢）」（24.3%）となっています。一方、障がい児調査では「音声・言語・そしゃく機能障がい」「肢体不自由（上肢）」「内部障がい（1～6以外）」が4.0%となっています。

(3) 療育手帳の所有状況

問 あなたは療育手帳をお持ちですか。(○は1つだけ)

【障がい者調査：問10、障がい児調査：問10】

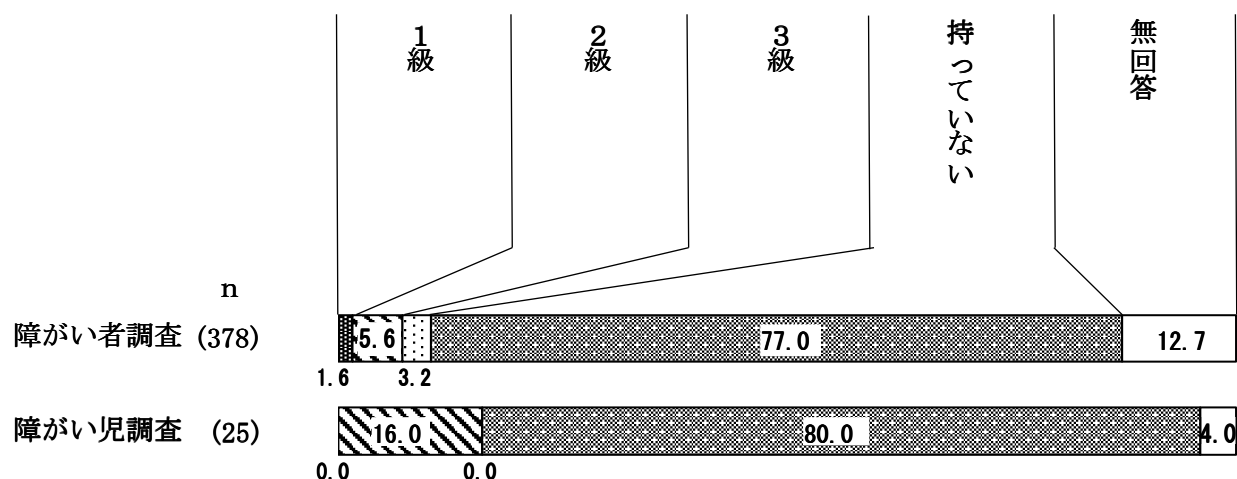


療育手帳の所有状況について、障がい者調査では「持っていない」が77.0%と最も多くなっています。一方、障がい児調査では「B判定」が64.0%と最も多く、次いで「A判定」が20.0%、「持っていない」が16.0%となっています。

(4) 精神障害者保健福祉手帳の所有状況

問 あなたは精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。(○は1つだけ)

【障がい者調査：問11、障がい児調査：問11】

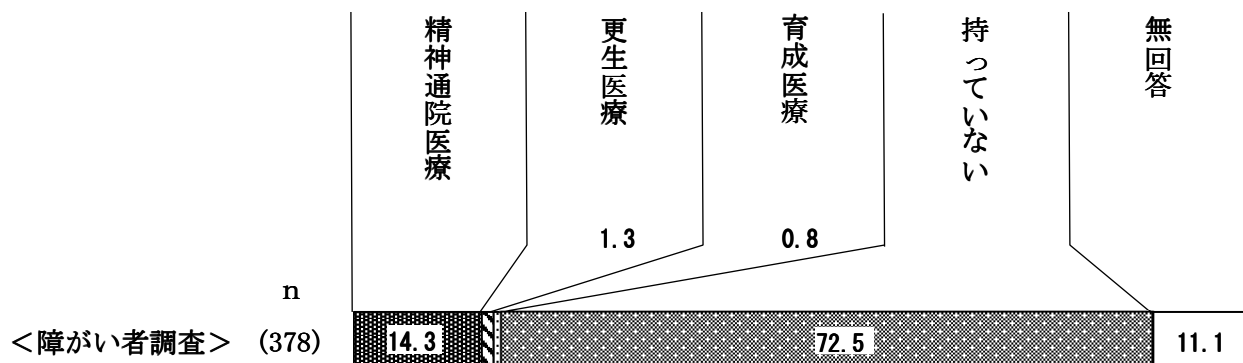


精神障害者保健福祉手帳の所有状況については、障がい者調査、障がい児調査ともに「持っていない」が多くなっています。障がい児調査では「2級」(16.0%)が1割以上となっています。

(5) 自立支援医療受給者証の所有状況

問 あなたは自立支援医療受給者証をお持ちですか。(○は1つだけ)

【障がい者調査：問12】

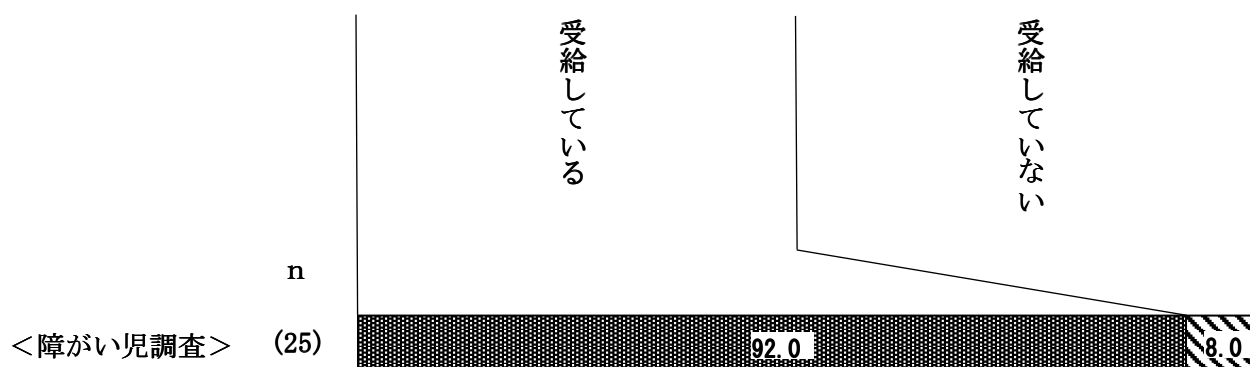


自立支援医療受給者証の所有状況については、「持っていない」が72.5%と最も多くなっており、次いで「精神通院医療」が14.3%となっています。

(6) 特別児童扶養手当の受給状況

問 あなたは特別児童扶養手当を受給していますか。(○は1つだけ)

【障がい児調査：問12】

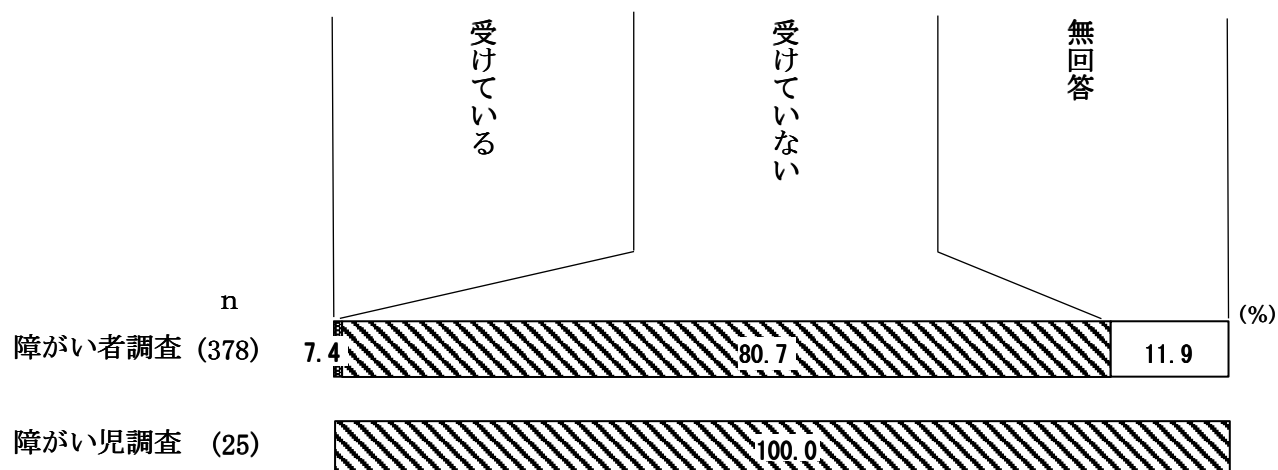


特別児童扶養手当の受給状況については、「受給している」が9割以上を占めています。

(7) 難病（特定疾患）の認定の有無

問 あなたは難病（特定疾患）の認定を受けていますか。（○は1つだけ）

【障がい者調査：問 13、障がい児調査：問 13】

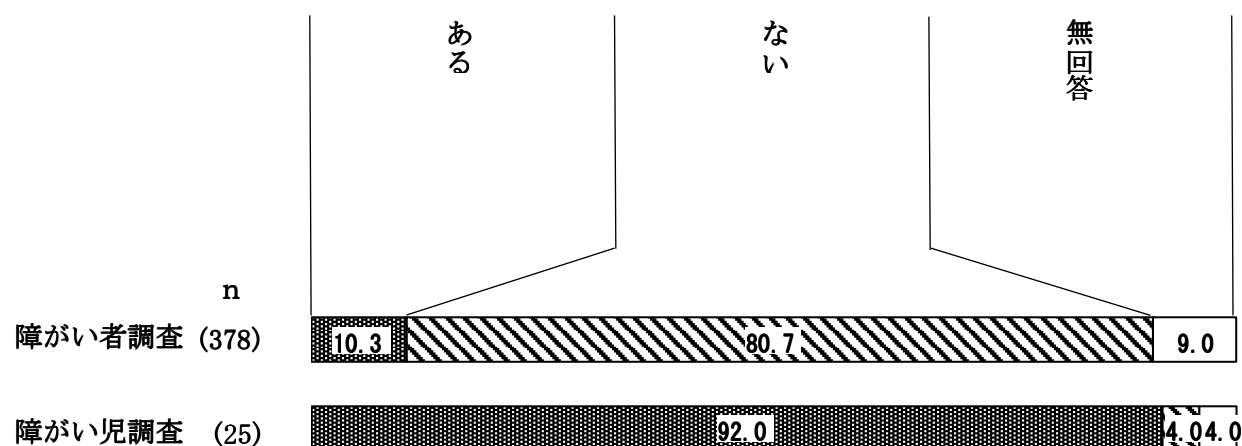


難病（特定疾患）の認定の有無については、障がい者調査では、「受けている」が7.4%で「受けていない」が80.7%となっています。障がい児調査では、「受けていない」が100.0%となっています。

(8) 発達障がいの診断の有無

問 あなたは発達障がいとして診断されたことがありますか。（○は1つだけ）

【障がい者調査：問 14、障がい児調査：問 14】

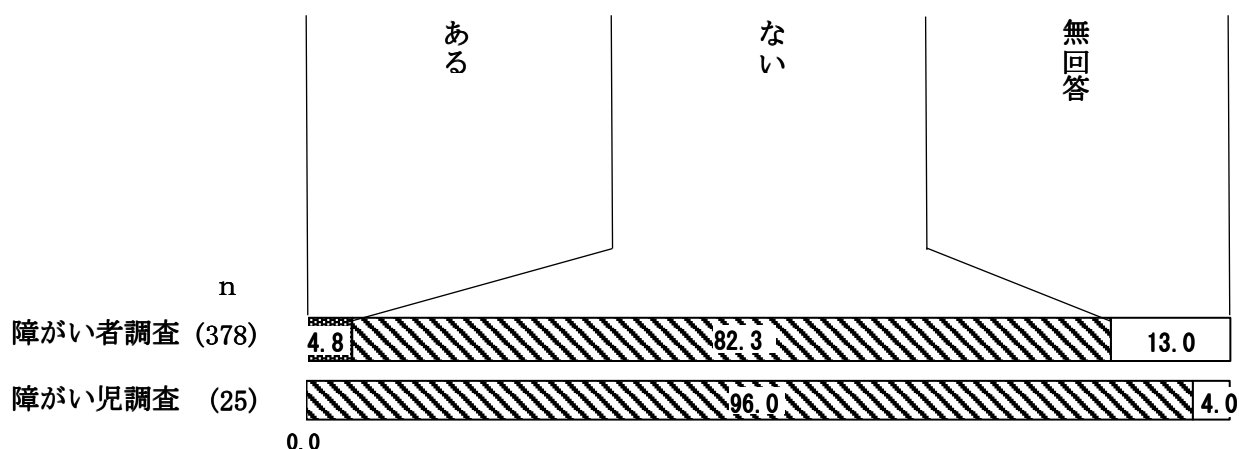


発達障がいの診断の有無について、障がい者調査では「ない」が80.7%と約8割を占めています。一方、障がい児調査では「ある」が92.0%と9割以上を占めています。

(9) 高次脳機能障がいの診断の有無

問 あなたは高次脳機能障がいとして診断されたことがありますか。(○は1つだけ)

【障がい者調査：問 15、障がい児調査：問 15】

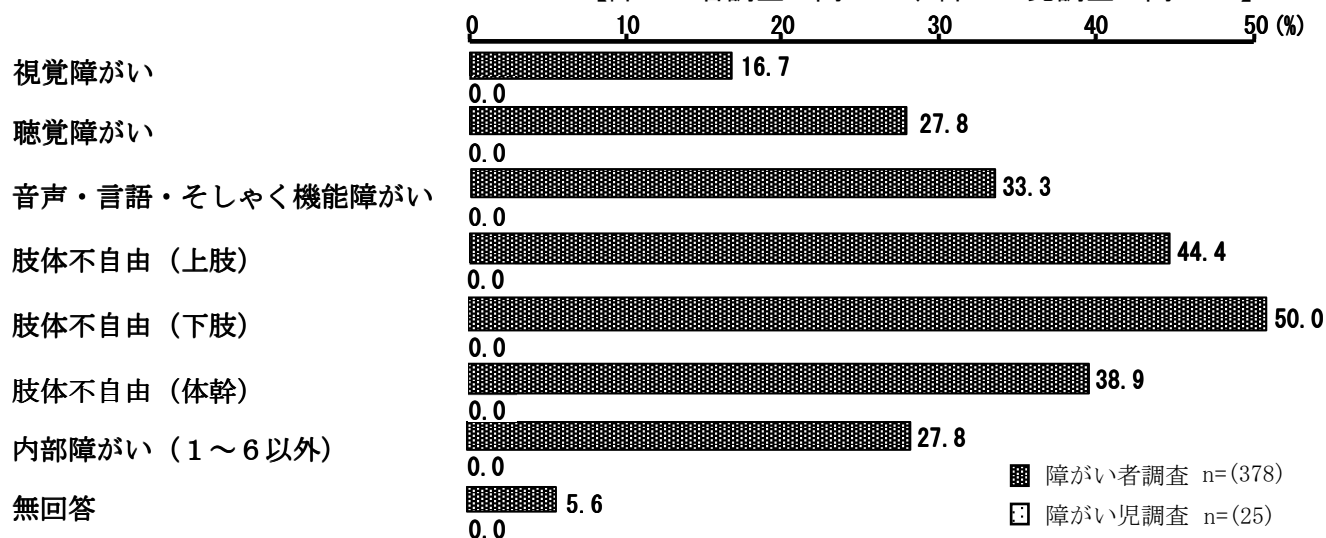


高次脳機能障がいの診断の有無については、障がい者調査では「ある」が4.8%、「ない」が82.3%となっています。障がい児調査では「ない」が96.0%となっています。

(10) 高次脳機能障がいの関連障がい

問 (9) 高次脳機能障がいの診断の有無で「ある」を選択した場合、その関連障がいをお答えください。(あてはまるものすべてに○)

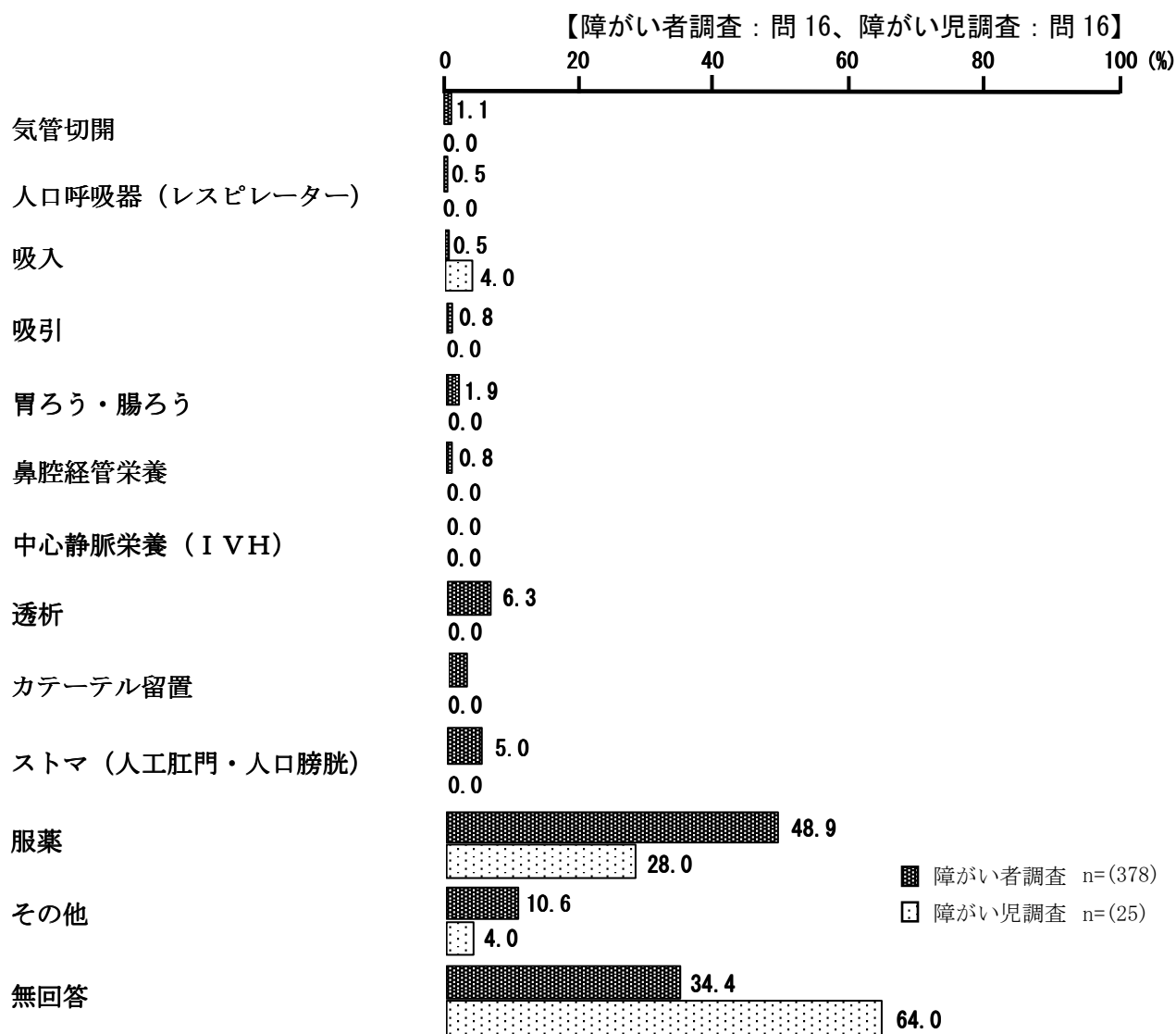
【障がい者調査：問 15-1、障がい児調査：問 15-1】



高次脳機能障がいの関連障がいについて、障がい者調査では「肢体不自由（下肢）」が50.0%と最も多く、次いで「肢体不自由（上肢）」が44.4%となっています。障がい児調査では、対象者がいません。

(1.1) 現在受けている医療ケア

問 あなたが現在受けている医療ケアをお答えください。(あてはまるものすべてに○)



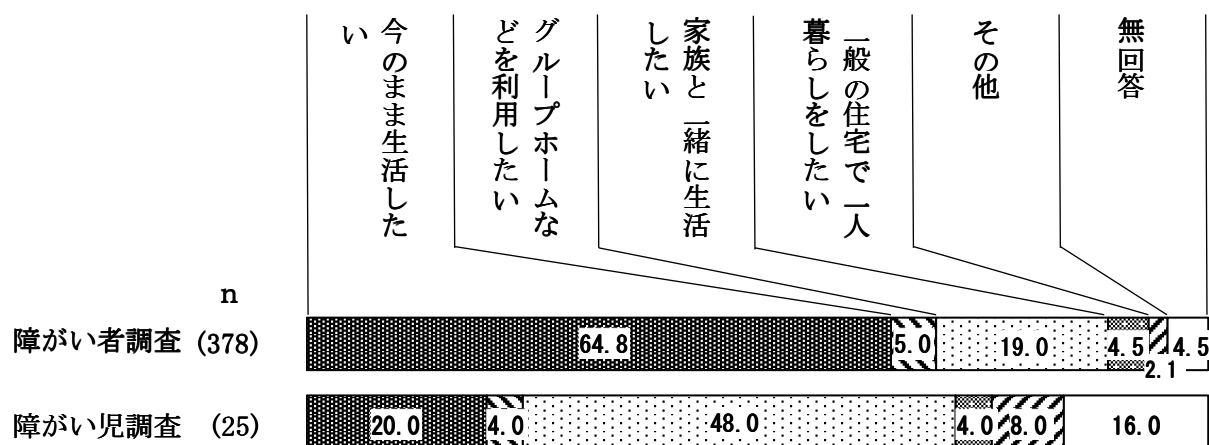
現在受けている医療ケアについては、障がい者調査、障がい児調査ともに「服薬」が最も多くなり、障がい者調査では48.9%、障がい児調査では28.0%となっています。

4 暮らしや住まいについて

(1) 将来希望する居住形態

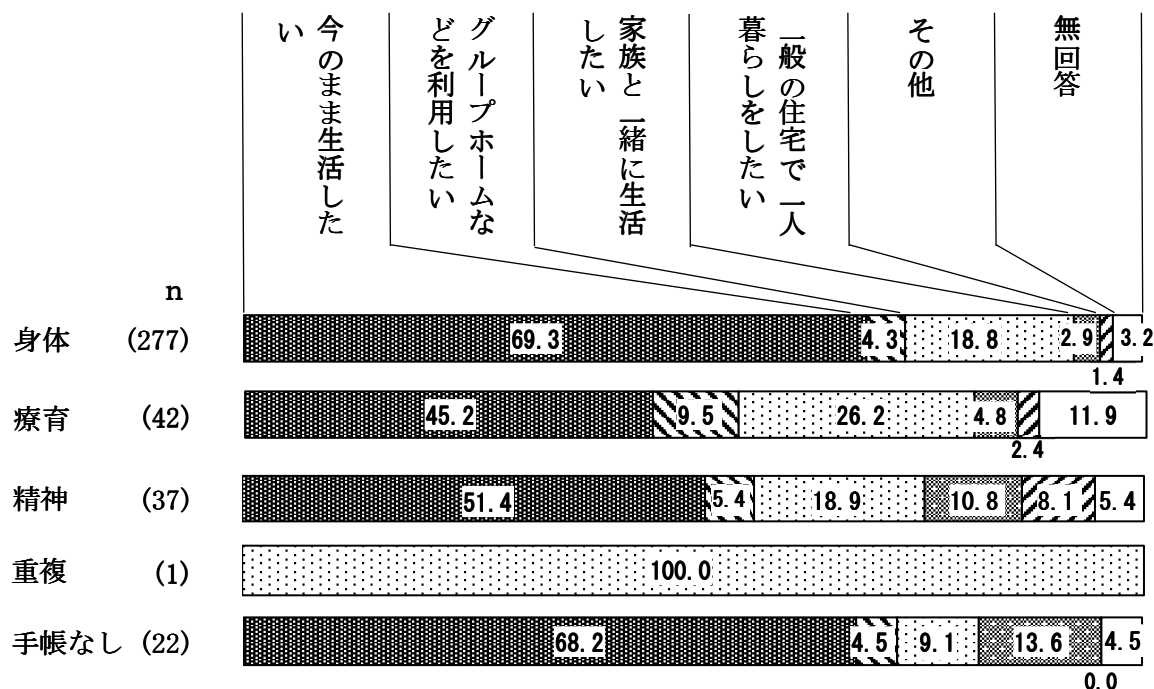
問 あなたは将来、地域で生活したいと思いますか。(○は1つだけ)

【障がい者調査：問 17、障がい児調査：問 23】



将来希望する居住形態について、障がい者調査では「今のまま生活したい」が64.8%となっています。一方、障がい児調査では「家族と一緒に生活したい」が48.0%となっています。

【障がい区分別／将来希望する居住形態（障がい者調査）】



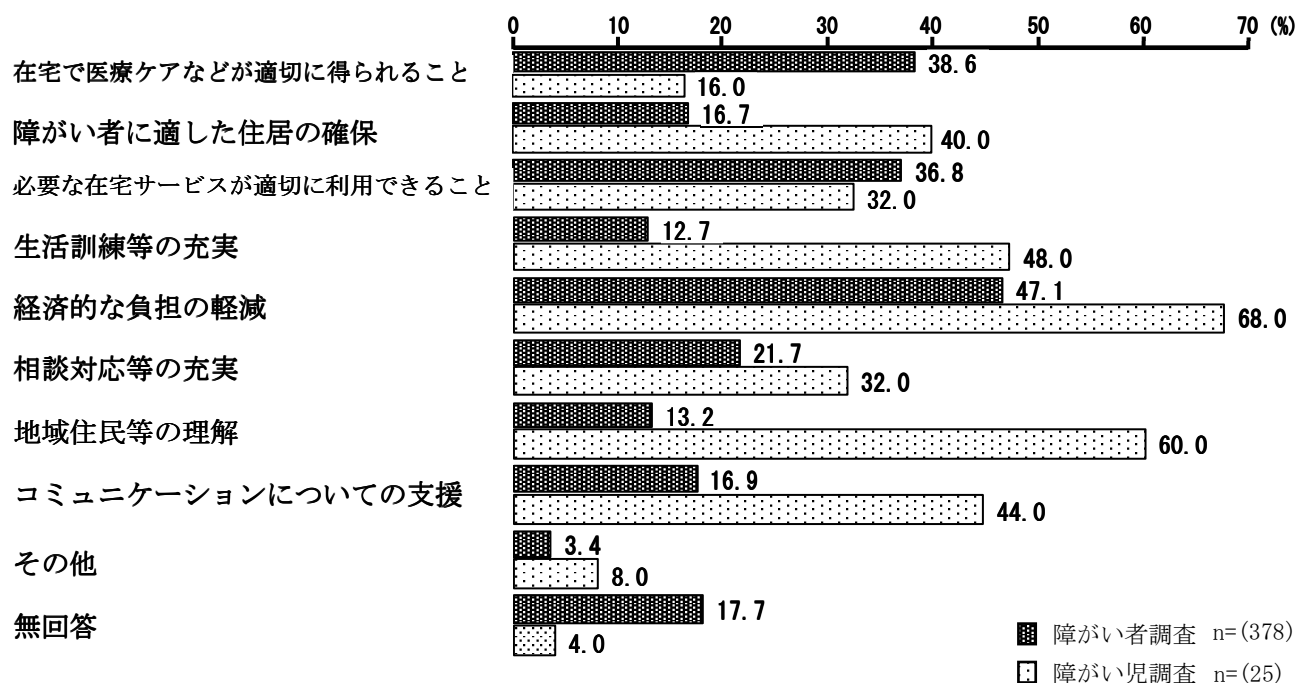
障がい者調査の結果について、すべての区分で「今のまま生活したい」が最も多くなっています。重複所有者は1件のため、分析に含めていません。

(2) 地域生活するために必要な支援

問 地域で生活するためには、どのような支援があればよいと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

【障がい者調査：問 18、障がい児調査：問 24】



地域で生活するために必要な支援について、障がい者調査では「経済的な負担の軽減」が47.1%と最も多く、次いで「在宅で医療ケアなどが適切に得られること」が38.6%となっています。一方、障がい児調査では「経済的な負担の軽減」が68.0%と最も多く、次いで「地域住民等の理解」が60.0%となっています。

【障がい区分別／地域で生活するために必要な支援（障がい者調査）】（単位：人/%）

	調査数	在宅で医療ケアなどが適切に得られること	障がい者に適した住居の確保	障がい者に適したサービスが適切に利用できること	生活訓練等の充実	経済的な負担の軽減	相談対応等の充実	地域住民等の理解	コミュニケーションについての支援	その他	無回答
身体	277	44.0	15.2	38.6	10.1	44.4	17.3	9.4	13.4	4.0	17.0
療育	42	31.0	26.2	42.9	26.2	47.6	38.1	28.6	31.0	2.4	21.4
精神	37	18.9	21.6	24.3	18.9	59.5	35.1	18.9	27.0	0.0	16.2
重複	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
手帳なし	22	18.2	9.1	22.7	9.1	59.1	22.7	22.7	18.2	4.5	22.7

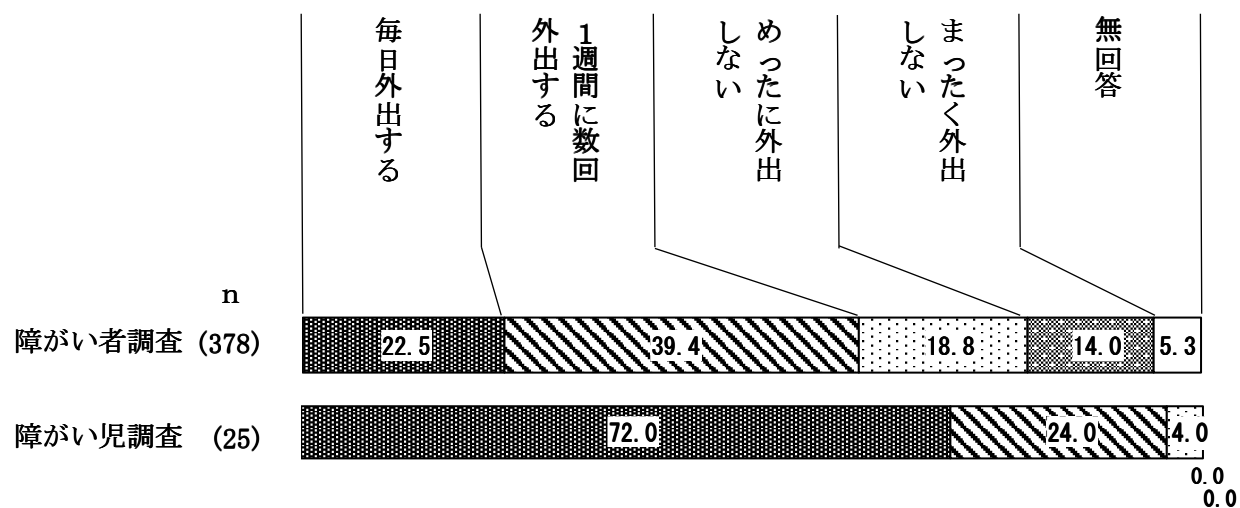
障がい者調査の結果について障がい区分別にみると、すべての区分で「経済的な負担の軽減」が最も多くなっています。また、療育手帳所有者は「必要な在宅サービスが適切に利用できること」（42.9%）、「相談対応等の充実」（38.1%）が多くなっています。

5 外出について

(1) 1週間の外出の頻度

問 あなたは、1週間にどの程度外出しますか。(○は1つだけ)

【障がい者調査：問 19、障がい児調査：問 25】



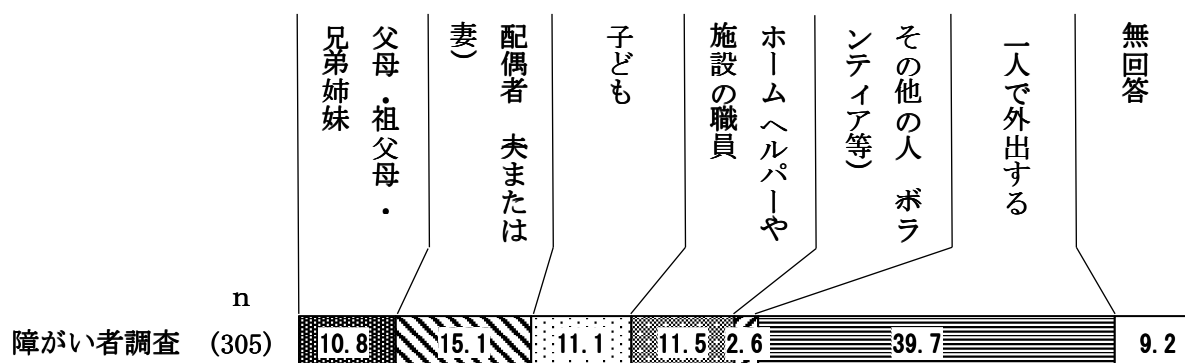
1週間の外出の頻度について、障がい者調査では「1週間に数回外出する」が39.4%と最も多く、次いで「毎日外出する」が22.5%となっています。一方、障がい児調査では「毎日外出する」が72.0%と7割以上を占めています。

(2) 外出時の主な同伴者

【(1) 1週間の外出の頻度で「1. 毎日外出する」「2. 1週間に数回外出する」「3. めったに外出しない」を選択した方のみ】

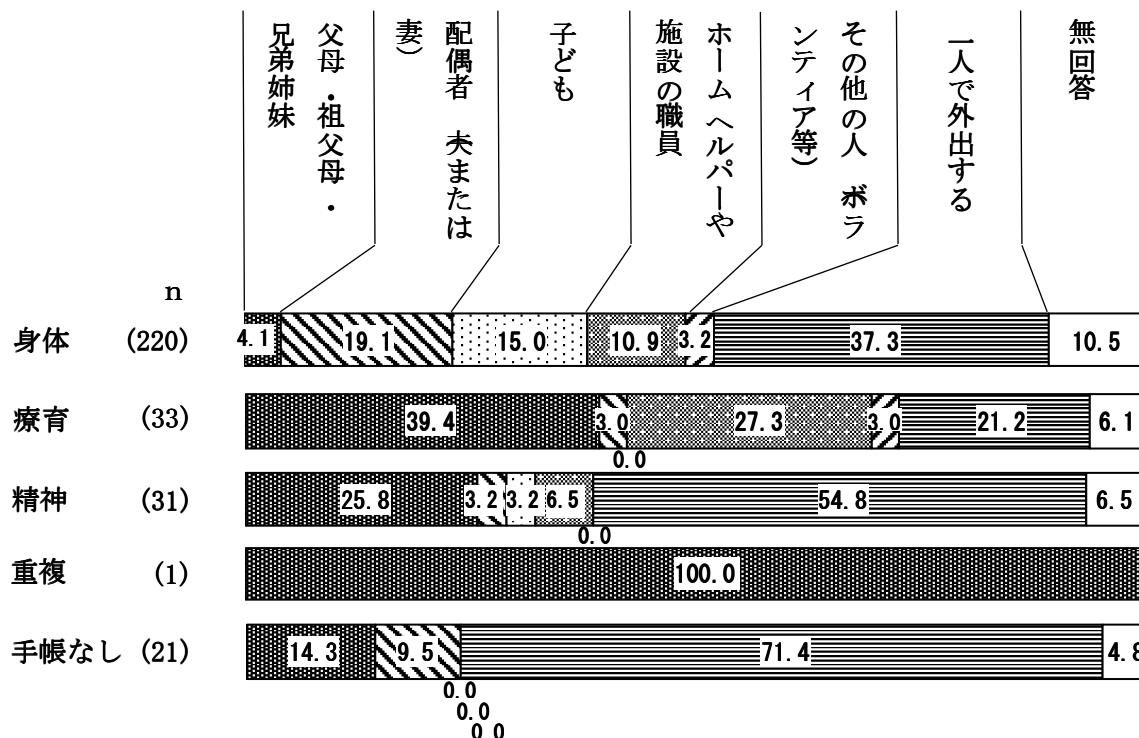
問 あなたが外出する際の主な同伴者は誰ですか。(○は1つだけ)

【障がい者調査：問 20】



外出時の主な同伴者については、「一人で外出する」が 39.7%と最も多く、次いで「配偶者（夫または妻）」が 15.1%、「ホームヘルパーや施設の職員」が 11.5%となっています。

【障がい区分別／外出時の主な同伴者】

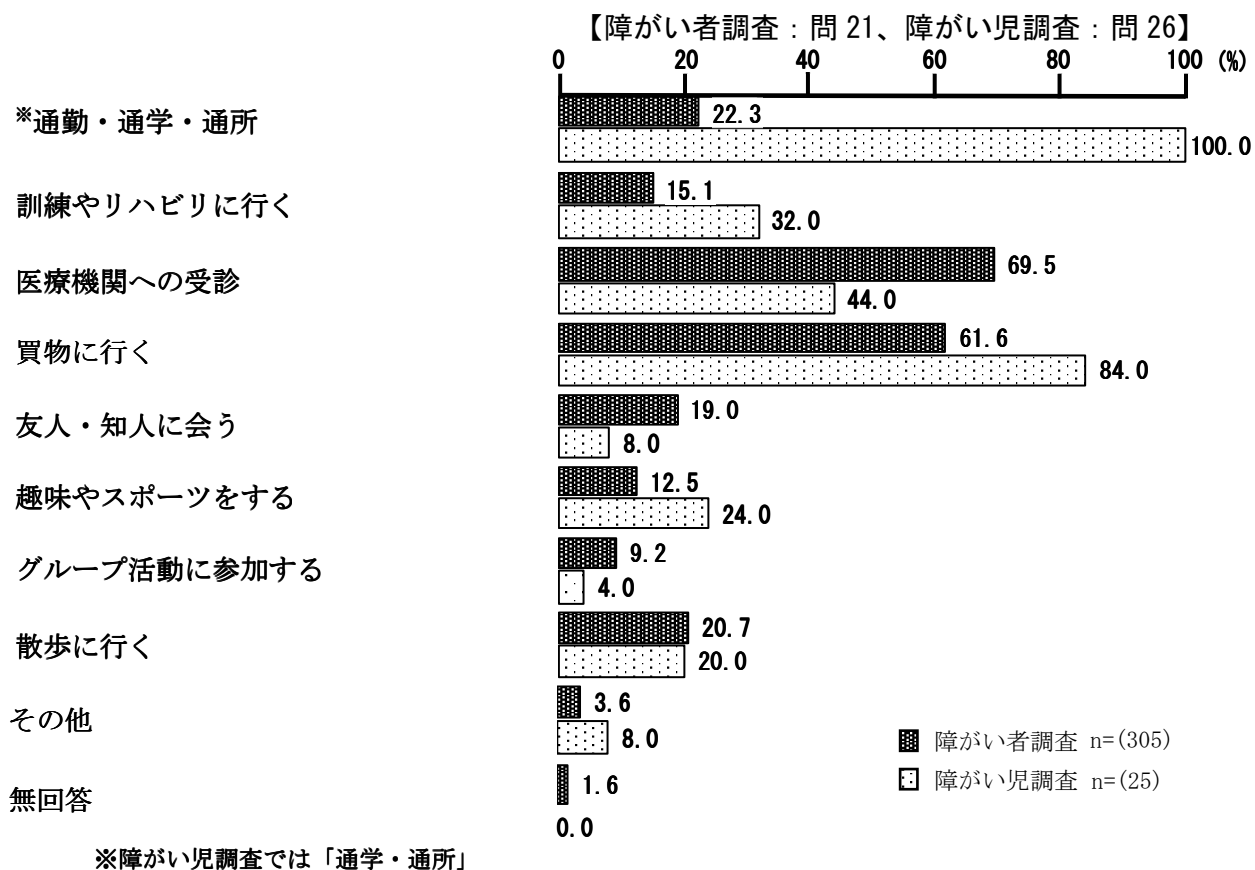


障がい区分別にみると、身体障害者手帳所有者は「配偶者（夫または妻）」が 19.1%と他の区分に比べて多くなっているが、一方で「父母・祖父母・兄弟姉妹」は 1 割以下となっています。療育手帳所有者では「父母・祖父母・兄弟姉妹」が 39.4%で最も多く、次いで「ホームヘルパーや施設の職員」が 27.3%となっています。

(3) 外出の目的

【(1) 1週間の外出の頻度で「1. 毎日外出する」「2. 1週間に数回外出する」「3. めったに外出しない」を選択した方のみ】

問 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。(あてはまるものすべてに○)



1週間の外出の頻度について、障がい者調査では「医療機関への受診」が69.5%と最も多く、次いで「買物に行く」が61.6%となっています。一方、障がい児調査では「通学・通所」が100.0%と最も多く、次いで「買物に行く」がともに84.0%と多くなっています。

【障がい区分別／外出の目的（障がい者調査）】

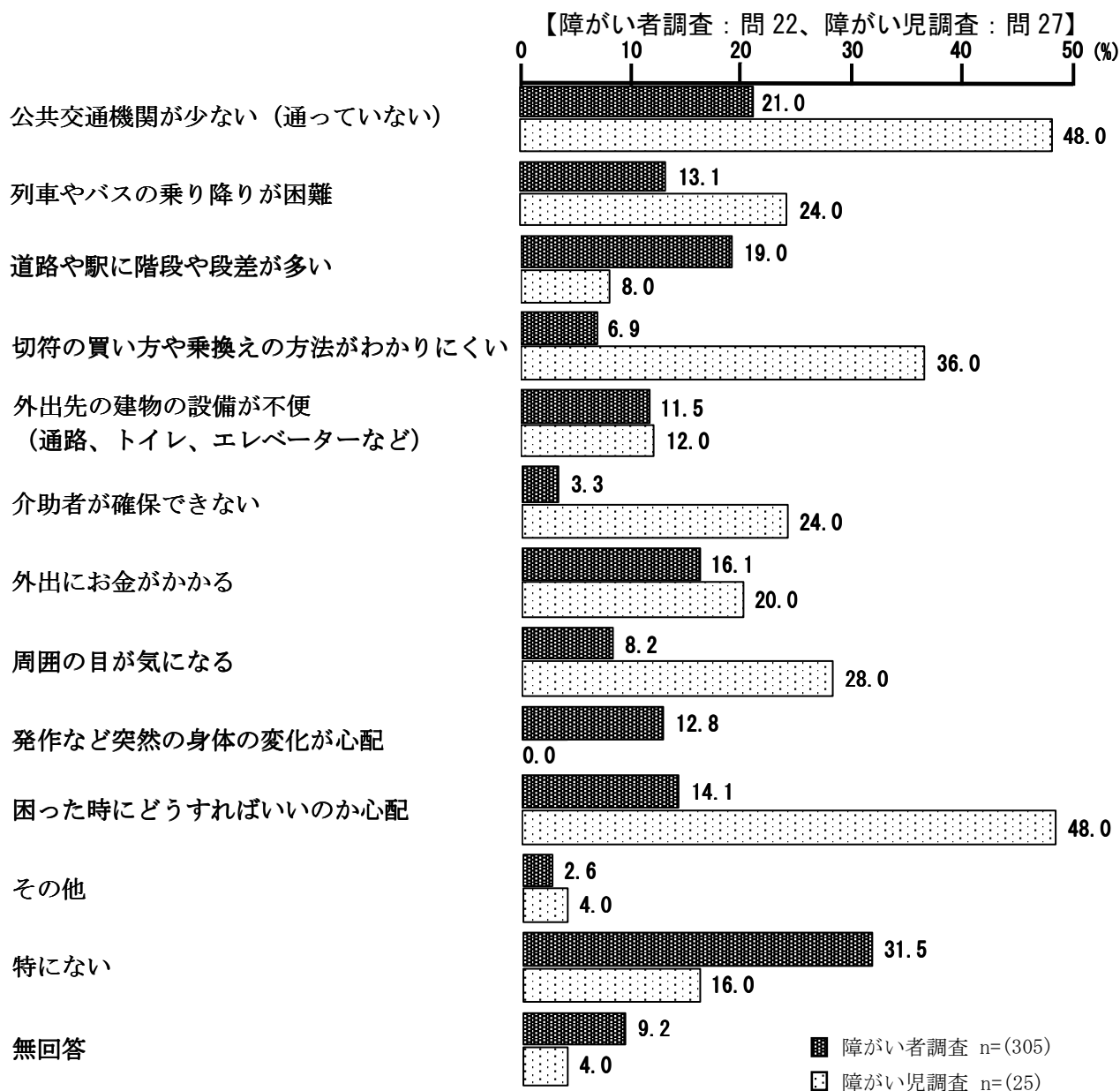
	調査数	通勤・通学・通所	訓練やリハビリに行く	医療機関への受診	買い物に行く	友人・知人に会う	趣味やスポーツをする	グループ活動に参加する	散歩に行く	その他	無回答
身体	220	13.2	17.7	73.6	57.3	20.9	12.3	9.5	20.5	4.1	2.3
療育	33	57.6	12.1	51.5	69.7	12.1	6.1	12.1	24.2	0.0	0.0
精神	31	32.3	0.0	58.1	80.6	16.1	16.1	9.7	25.8	6.5	0.0
重複	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手帳なし	21	47.6	14.3	71.4	66.7	14.3	19.0	0.0	9.5	0.0	0.0

障がい者調査の結果について障がい区分別にみると、療育手帳所有者と精神保健福祉手帳所有者で「買い物に行く」が最も多くなっています。また、身体障害者手帳所有者と手帳なしでは「医療機関への受診」が最も多くなっています。

(4) 外出時に困ること

【(1) 1週間の外出の頻度で「1. 毎日外出する」「2. 1週間に数回外出する」「3. めったに外出しない」を選択した方のみ】

問 外出する時に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)



外出時に困ることについて、障がい者調査では「公共交通機関が少ない (通っていない)」が 21.0%と最も多く、次いで「道路や駅に階段や段差が多い」が 19.0%となっています。一方、障がい児調査では「公共交通機関が少ない (通っていない)」および「困った時にどうすればいいのか心配」がともに 48.0%と最も多くなっています。

【障がい区分別／外出時に困ること（障がい者調査）】

	調査数	公共交通機関が少ない (公共交通機関が通っていない)	列車やバスの乗り降りが困難	道路や駅に階段や段差が多い	切符の買い方や乗換えの方法が わかりにくい	外出先の建物の設備が不便 (通路、トイレ、エレベーターなど)	介助者が確保できない	外出にお金がかかる	周囲の目が気になる	発作など突然の身体の変化が心配	困った時にどうすればいいのか心配	その他	特にない	無回答
身体	220	19.1	15.0	21.8	6.8	14.1	3.6	15.0	4.1	11.4	10.5	3.2	32.7	11.8
療育	33	36.4	12.1	18.2	12.1	9.1	6.1	9.1	15.2	15.2	27.3	3.0	30.3	3.0
精神	31	19.4	3.2	6.5	0.0	3.2	0.0	32.3	22.6	22.6	16.1	0.0	16.1	3.2
重複	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
手帳なし	21	19.0	9.5	9.5	9.5	0.0	0.0	14.3	19.0	9.5	28.6	0.0	42.9	0.0

障がい者調査の結果について障がい区分別にみると、療育手帳所有者は「公共交通機関が少ない（通っていない）」（36.4%）、「困った時にどうすればいいのか心配」（27.3%）、「道路や駅に階段や段差が多い」（18.2%）などが多くなっています。

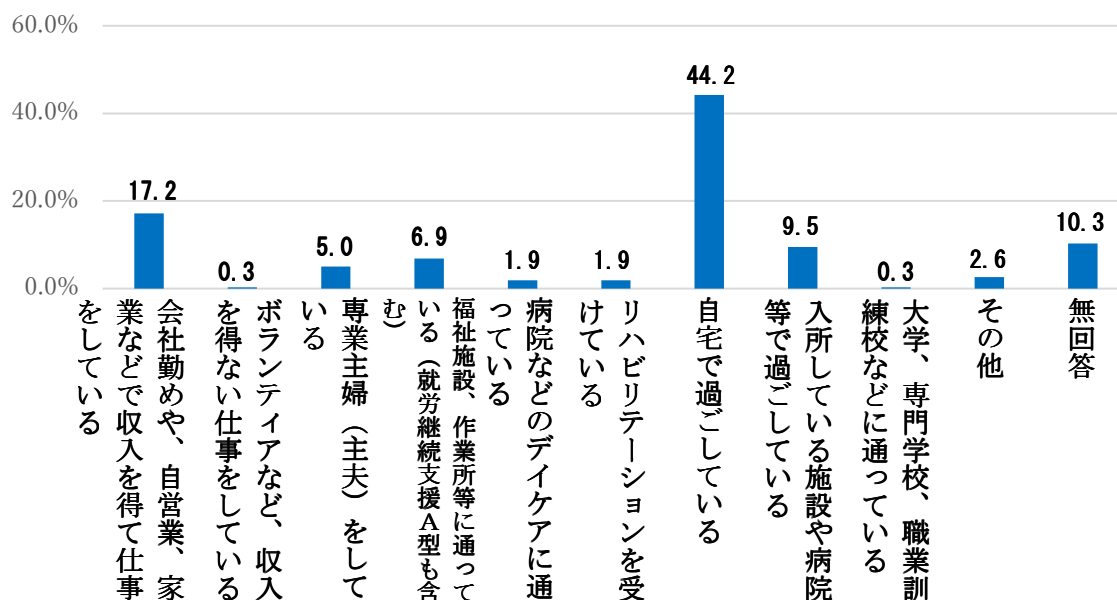
6 日中活動や就労について

(1) 平日の日中の主な過ごし方

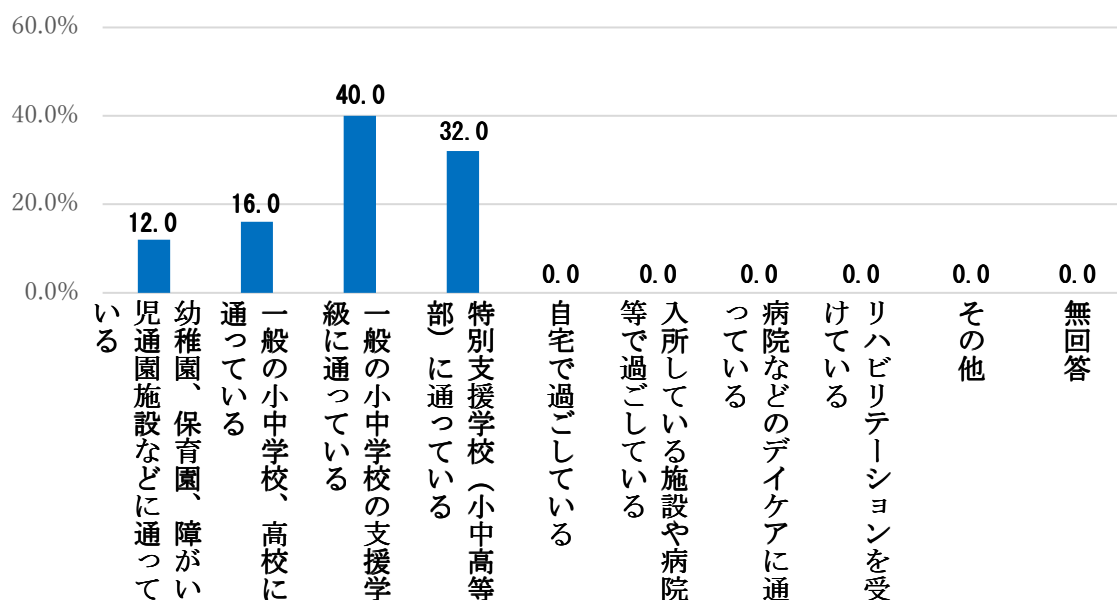
問 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。(○は1つだけ)

【障がい者調査：問 23、障がい児調査：問 17】

<障がい者調査> n=377



<障がい児調査> n=25

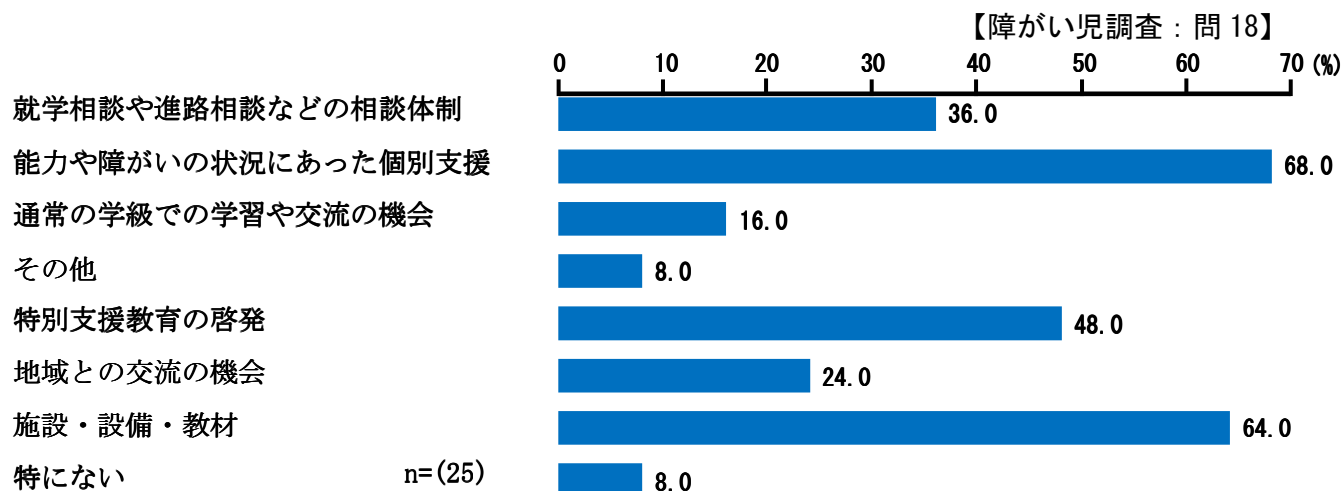


平日の日中の過ごし方について、障がい者調査では「自宅で過ごしている」が44.2%と最も多く、次いで「会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」が17.2%となっています。一方、障がい児調査では「一般の小中学校の支援学級に通っている」が40.0%で最も多く、次いで「特別支援学校（小中高等部）に通っている」が32.0%となっています。

(2) 通園・通学先に望むこと

【(1) 平日の日中の過ごし方で「1. 幼稚園、保育園、障がい児通園施設などに通っている」～「4. 特別支援学校（小中高等部）に通っている」を選択した方のみ】

問 あなたが通園・通学先に充実を望むことは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

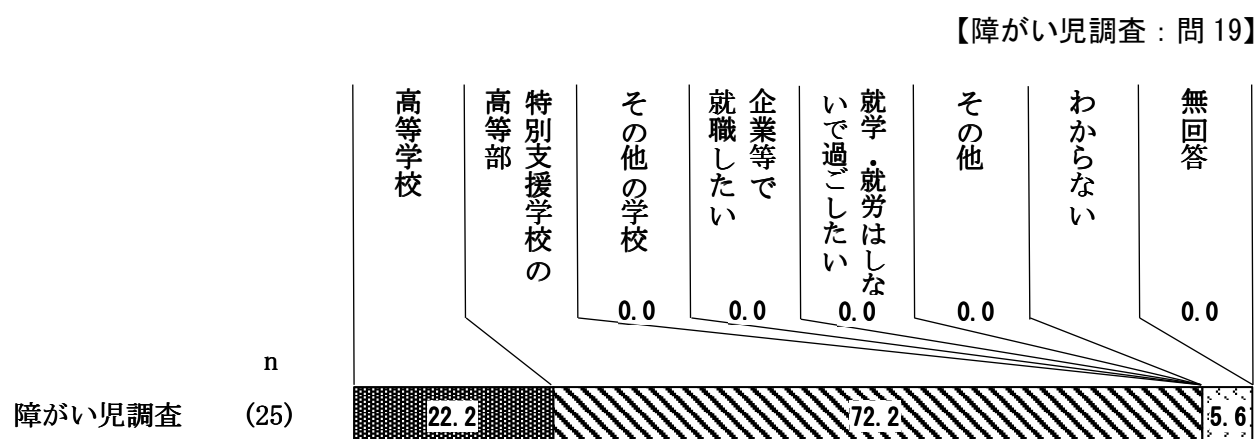


通園・通学先に望むことについては、「能力や障がいの状況にあった個別支援」および「施設・設備・教材」がともに6割以上と多くっており、次いで「特別支援教育の啓発」が48.0%となっています。

(3) 中学校卒業後に希望する進路

【小学校・中学校に通っている方のみ】

問 あなたは、中学校卒業後、どのような進路を希望していますか。（○は1つだけ）



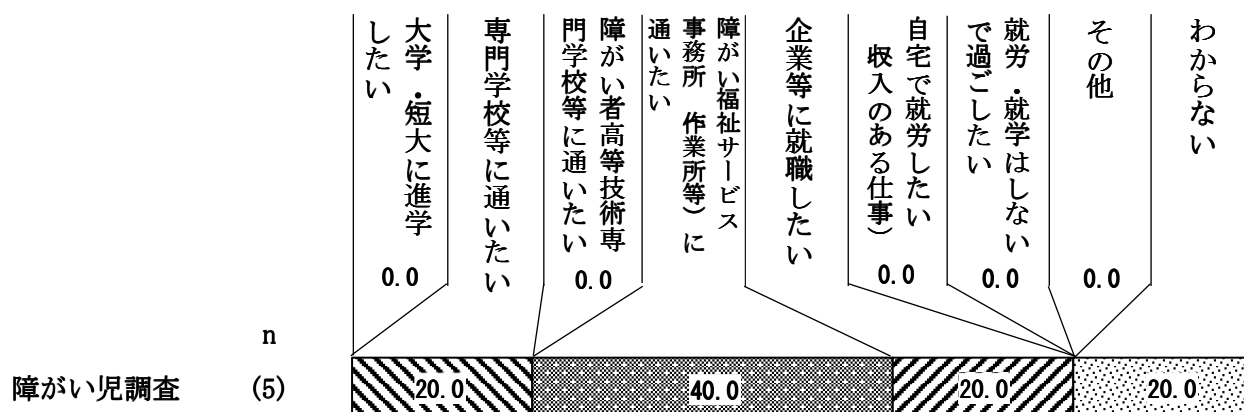
中学校卒業後に希望する進路については、「特別支援学校の高等部」が72.2%と最も多く、次いで「高等学校」が22.2%となっています。

(4) 高校卒業後に希望する進路

【高等学校に通っている方のみ】

問 あなたは、学校卒業後、どのような進路を希望していますか。(○は1つだけ)

【障がい児調査：問 20】



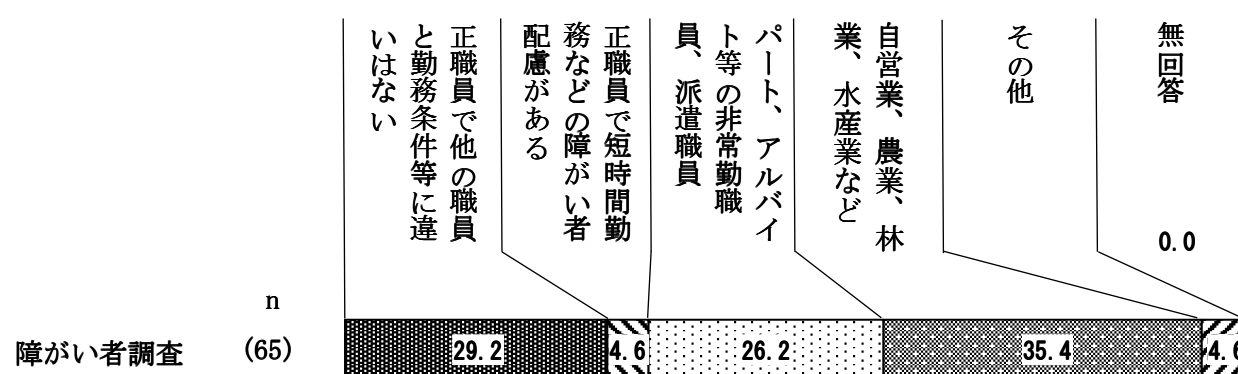
高校卒業後に希望する進路については、調査数 (n) が少ないため分析を省略します。

(5) 勤務形態について

【(1) 平日の日中の主な過ごし方で「1. 会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」を選択した方のみ】

問 どのような勤務形態で働いていますか。(○は1つだけ)

【障がい者調査：問 24】



平日の日中に仕事をしている場合の勤務形態については、「自営業、農業、林業、水産業など」が 35.4% と最も多く、次いで「正職員で他の職員と勤務条件等に違いはない」が 29.2% となっています。

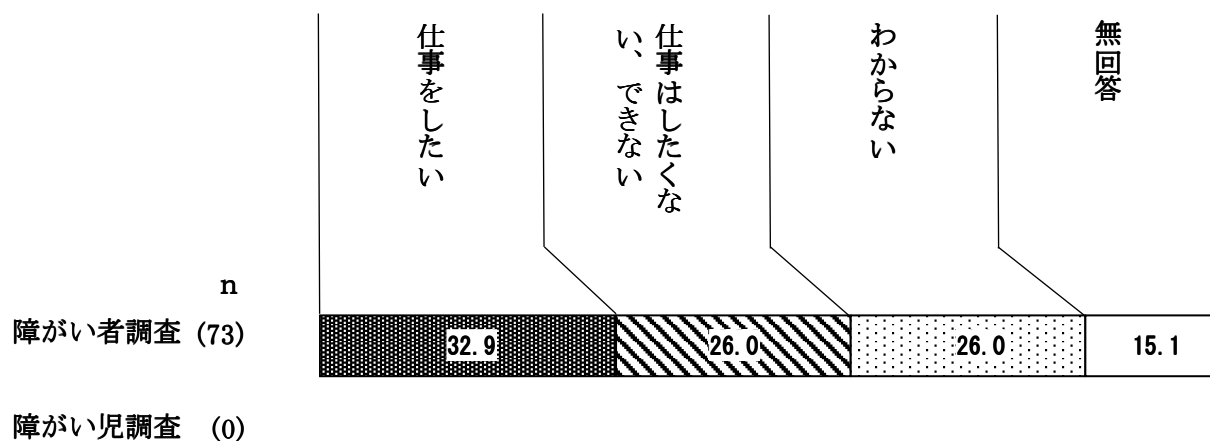
(6) 今後の就労意向

【(1) 平日の日中の主な過ごし方で「1. 会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」以外を選択した 18～64 歳の方のみ（障がい者調査）】

【(1) 平日の日中の主な過ごし方で「5. 自宅で過ごしている」～「9. その他」を選択した方のみ（障がい児調査）】

問 あなたは今後、収入を得る仕事をしたいと思いますか。（○は1つだけ）

【障がい者調査：問 25、障がい児調査：問 21】



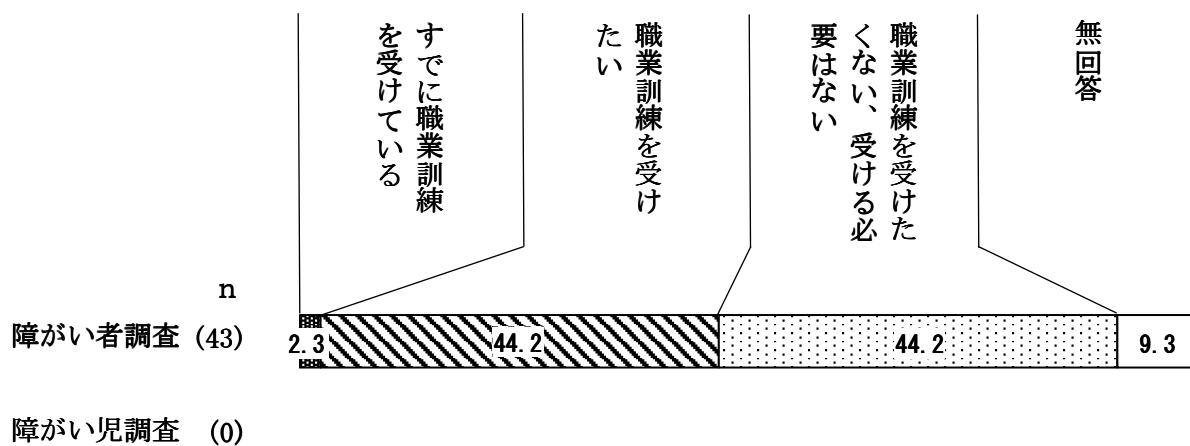
今後の就労意向について、障がい者調査では「仕事をしたい」が 32.9%と最も多く、「仕事はしたくない、できない」および「わからない」はともに 26.0%となっています。障がい児調査は回答対象者がいませんでした。

(7) 職業訓練などの受講意向

【(6) 今後の就労意向で「1. 仕事をしたい」、「3. わからない」を選択した方のみ】

問 収入を得る仕事を得るために、職業訓練などを受けたいと思いますか。(○は1つだけ)

【障がい者調査：問 26、障がい児調査：問 22】

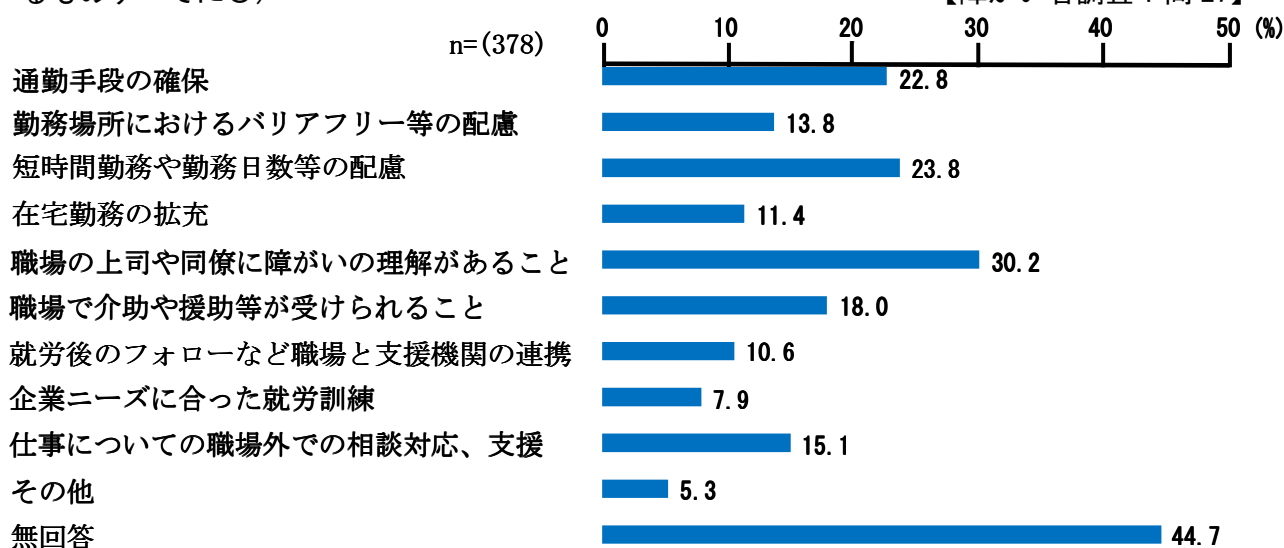


今後の就労意向について、障がい者調査では「職業訓練を受けたい」および「職業訓練を受けたくない、受ける必要はない」が44.2%となっています。障がい児調査は回答対象者がいませんでした。

(8) 必要な就労支援

問 あなたは、障がい者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

【障がい者調査：問 27】



今後の就労意向については、「職場の上司や同僚に障がいの理解があること」が30.2%と最も多く、次いで「短時間勤務や勤務日数等の配慮」が23.8%、「通勤手段の確保」が22.8%となっています。

【障がい区分別／必要な就労支援（障がい者調査）】

	調査数	通勤手段の確保	フリー等の配慮	勤務場所におけるバリア の配慮	短時間勤務や勤務日数等 の配慮	在宅勤務の拡充	職場の上司や同僚に障が いの理解があること	職場で介助や援助等が受 けられること	職場と支援機関の連携	就労後のフォローなど職 場と支援機関の連携	企業ニーズに合った就労 訓練	仕事についての職場外で の相談対応、支援	その他	無回答
身体	277	16.6	14.4	18.4	10.1	24.9	15.5	6.1	6.1	11.9	5.1	50.2		
療育	42	40.5	11.9	26.2	7.1	33.3	28.6	21.4	16.7	23.8	9.5	40.5		
精神	37	45.9	10.8	43.2	16.2	51.4	24.3	24.3	13.5	21.6	2.7	24.3		
重複	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
手帳なし	22	27.3	13.6	54.5	27.3	54.5	18.2	22.7	4.5	27.3	4.5	18.2		

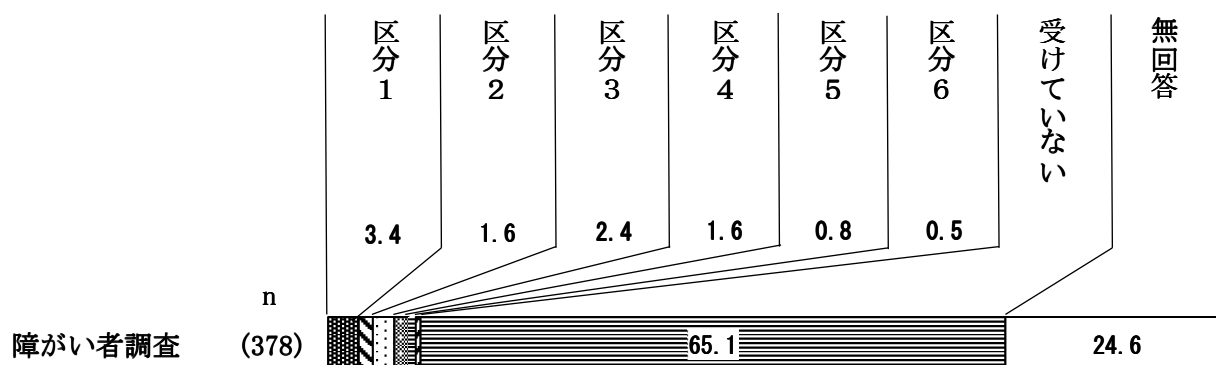
障がい者調査の結果について障がい区分別にみると、身体障害者手帳所有者、精神保健福祉手帳所有者、手帳なしで「職場の上司や同僚に障がいの理解があること」が最も多くなっています。療育手帳所有者では、「通勤手段の確保」が40.5%で最も多くなっています。

7 障がい福祉サービス等の利用について

(1) 認定された障がい支援区分

問 あなたは障害支援区分の認定を受けていますか。(○は1つだけ)

【障がい者調査：問 28】

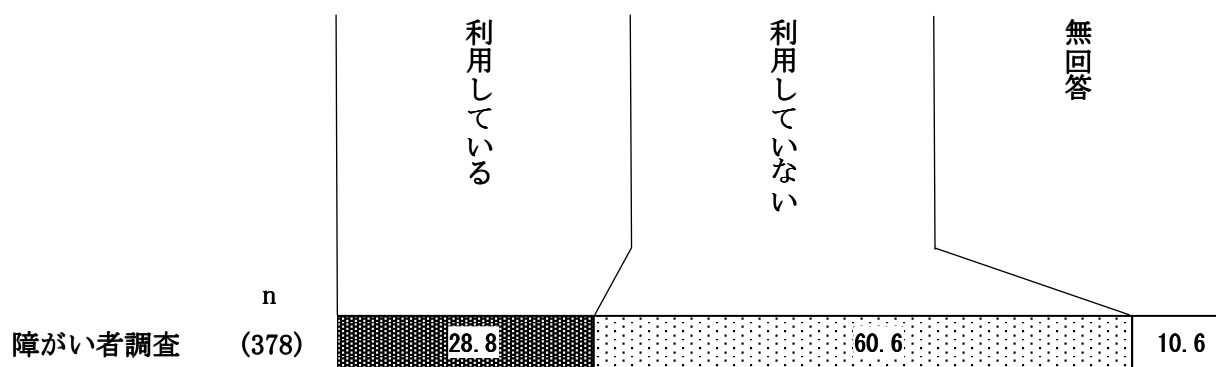


認定された障がい支援区分については、「受けていない」が65.1%となっています。認定された方の障がい支援区分としては、「区分1」が3.4%で最も多くなっています。

(2) 介護保険によるサービスの利用有無

問 あなたは介護保険によるサービスを利用していますか。(○は1つだけ)

【障がい者調査：問 29】



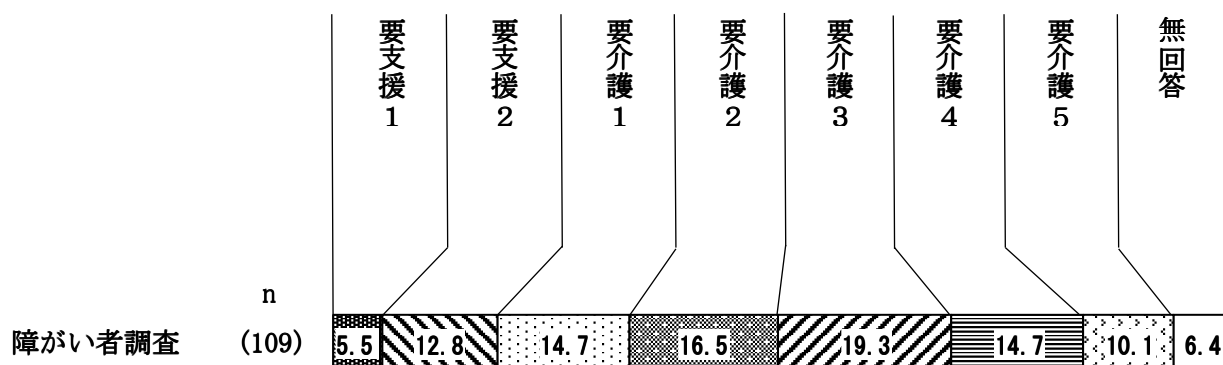
介護保険によるサービスの利用有無については、「利用している」が28.8%、「利用していない」が60.6%となっています。

(3) 該当する要介護度

【(2) 介護保険によるサービスの利用有無で「1. 利用している」を選択した方にお聞きします。】

問 該当する要介護度はどれですか。(○は1つだけ)

【障がい者調査：問 30】



介護保険によるサービスを利用している場合の、該当する要介護度については、「要介護3」が19.3%と最も多く、次いで「要介護2」が16.5%となっています。

(4) サービスの利用状況と今後利用したいサービスについて

問 あなたは次のサービスを利用していますか。また、今後利用したいと考えますか。

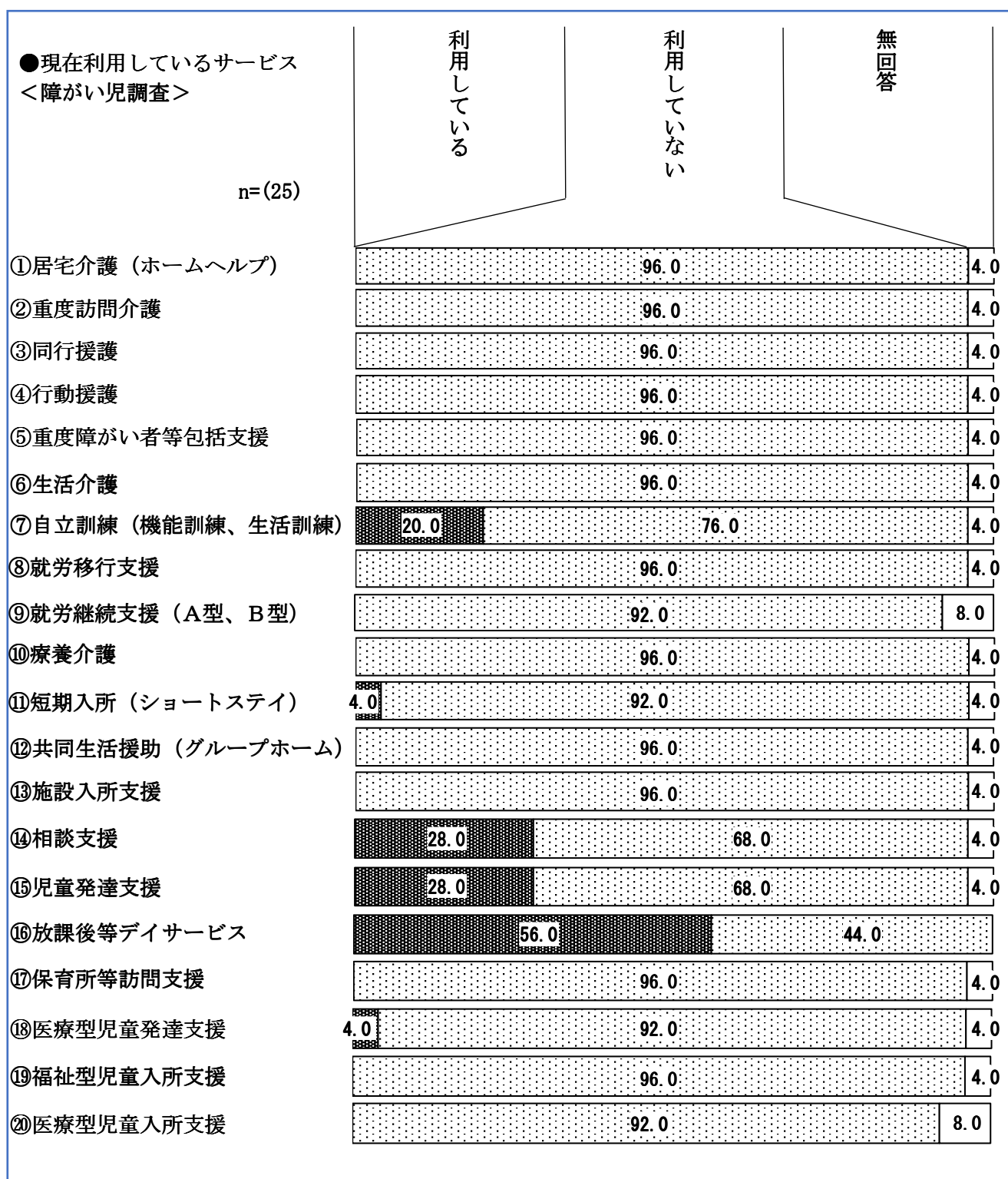
【障がい者調査：問 31、障がい児調査：問 28】

●現在利用しているサービス
＜障がい者調査＞

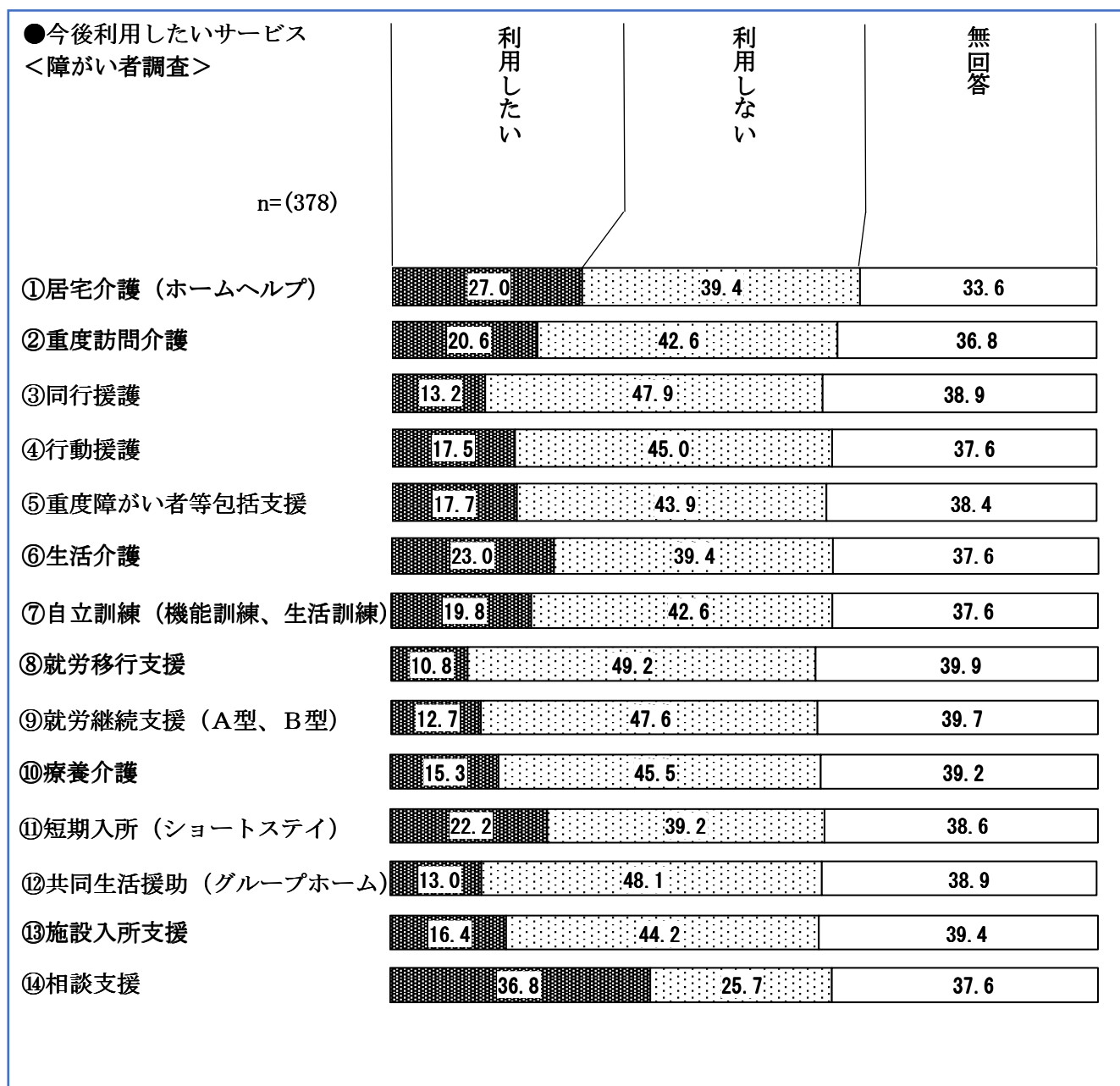
n=(378)

	利用している	利用していない	無回答
①居宅介護（ホームヘルプ）	5.3	60.8	33.9
②重度訪問介護	1.6	60.8	37.6
③同行援護	0.3	63.8	36.0
④行動援護	1.1	61.9	37.0
⑤重度障がい者等包括支援	1.6	63.0	35.4
⑥生活介護	9.5	57.9	32.5
⑦自立訓練（機能訓練、生活訓練）	5.6	59.5	34.9
⑧就労移行支援	1.6	60.3	38.1
⑨就労継続支援（A型、B型）	3.7	60.1	36.2
⑩療養介護	1.6	61.9	36.5
⑪短期入所（ショートステイ）	5.3	59.0	35.7
⑫共同生活援助（グループホーム）	1.9	61.1	37.0
⑬施設入所支援	2.9	60.3	36.8
⑭相談支援	12.4	51.1	36.5

現在利用しているサービスについて、障がい者調査では「⑭相談支援」（12.4%）、「⑥生活介護」（9.5%）、「⑦自立訓練（機能訓練、生活訓練）」（5.6%）などの「利用している」が多くなっています。



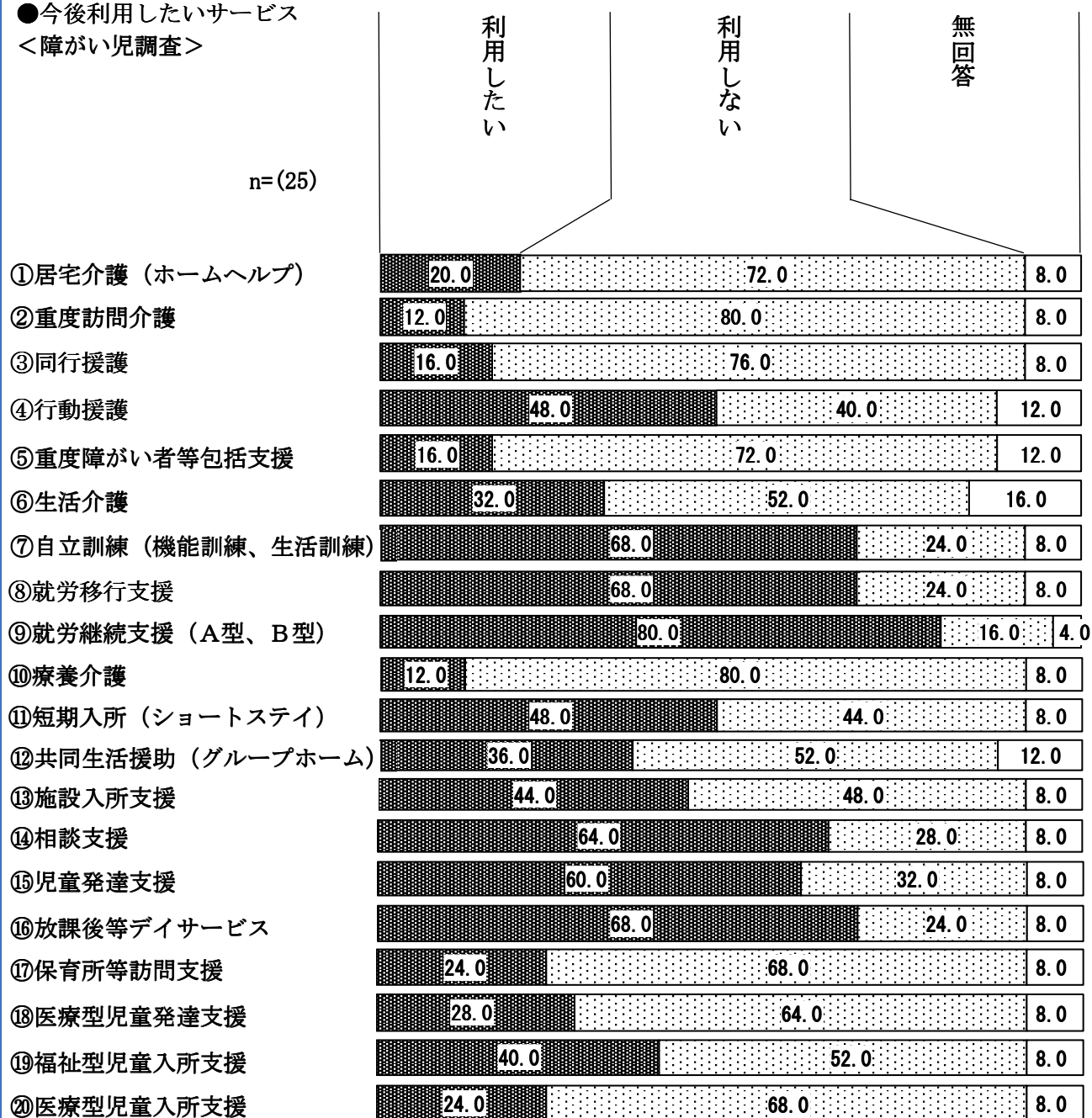
現在利用しているサービスについて、障がい児調査では「⑯放課後等デイサービス」の「利用している」が56.0%となっており、「⑭相談支援」と「⑮児童発達支援」の「利用している」がともに28.0%となっています。



今後利用したいサービスについて、障がい者調査では「⑭相談支援」の「利用したい」が36.8%と多くなっている。このほか、「①居宅介護（ホームヘルプ）」「②重度訪問介護」「⑥生活介護」「⑪短期入所（ショートステイ）」の「利用したい」が2割以上となっている。

●今後利用したいサービス
＜障がい児調査＞

n=(25)



今後利用したいサービスについて、障がい児調査では「⑦自立訓練（機能訓練、生活訓練）」
「⑧就労移行支援」「⑨就労継続支援（A型、B型）」「⑭相談支援」「⑮児童発達支援」「⑯放課
後等デイサービス」の「利用したい」が6割以上となっています。

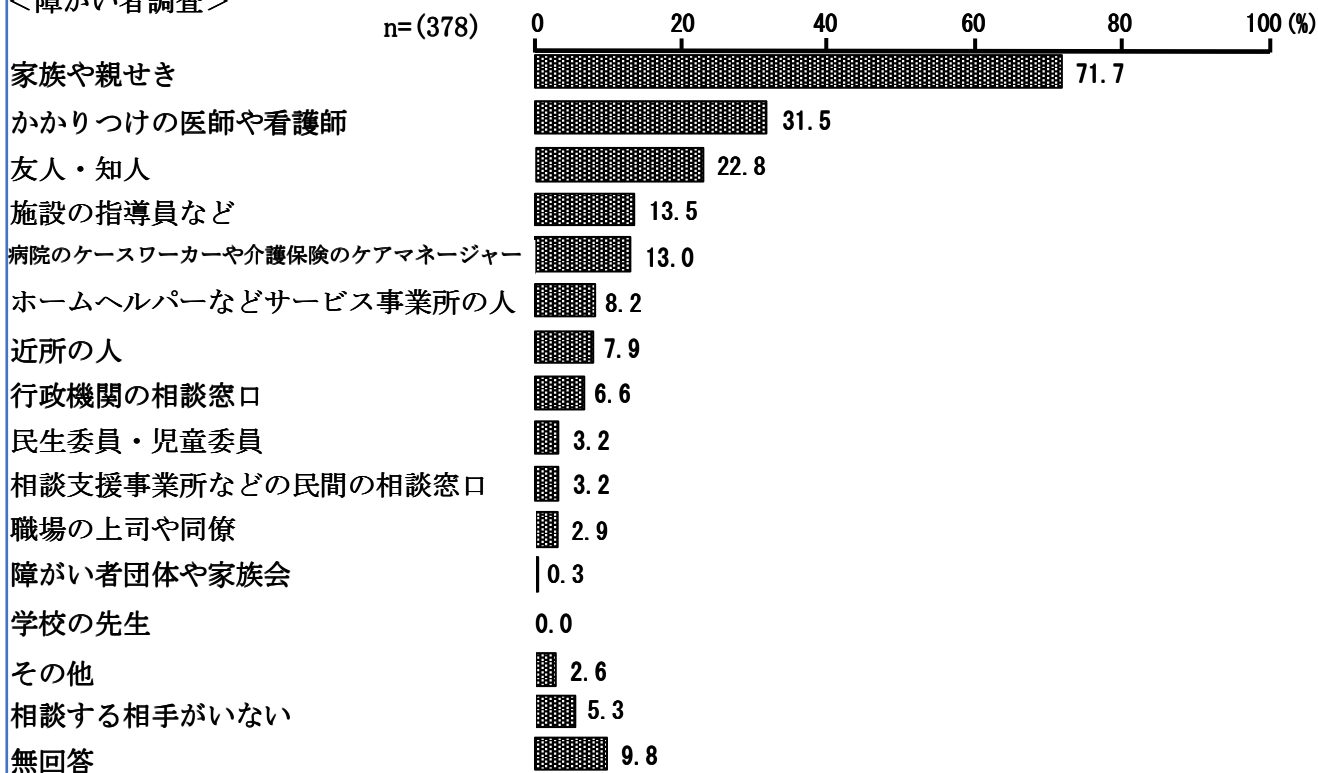
8 相談支援と情報提供について

(1) 相談相手

問 あなたは、普段、悩みや困ったことをどなたに相談しますか。

【障がい者調査：問 32、障がい児調査：問 29】

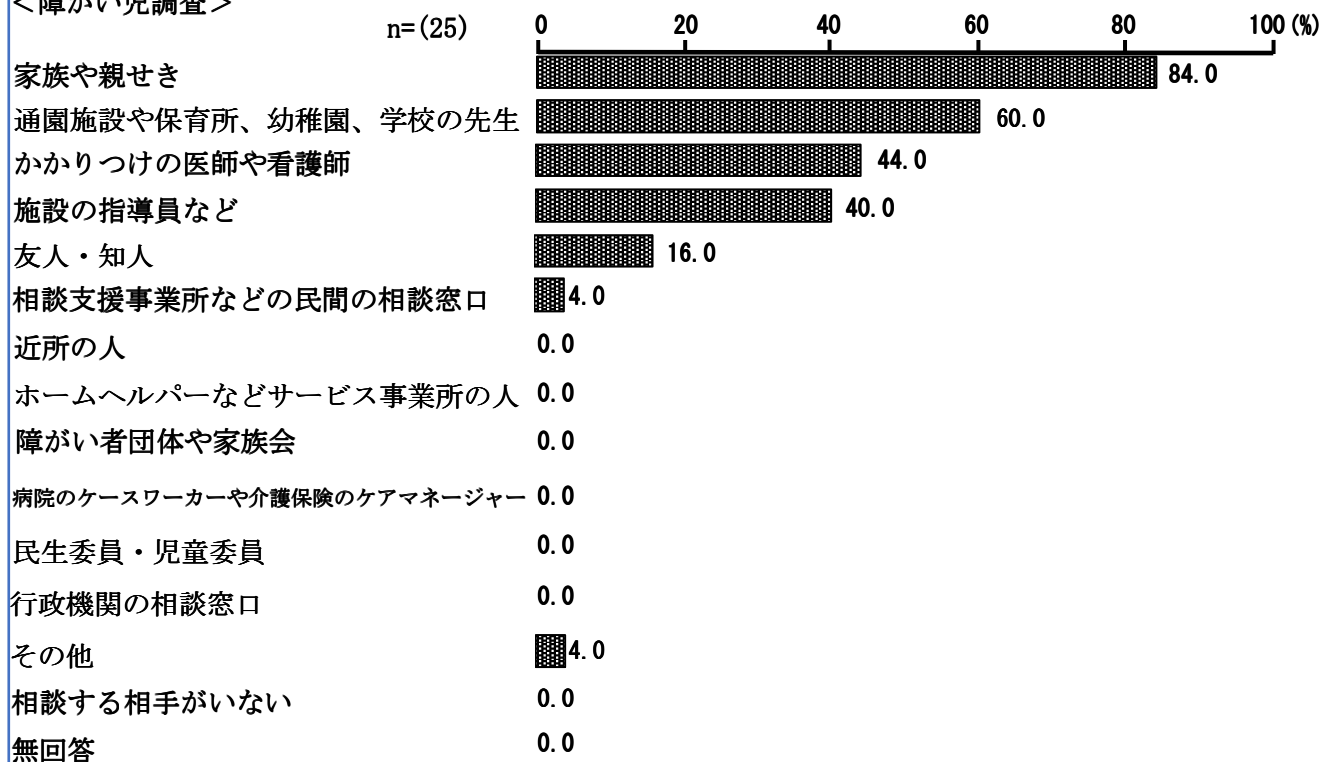
<障がい者調査>



相談相手について、障がい者調査では「家族や親せき」が71.7%と最も多く、次いで「かかりつけの医師や看護師」が31.5%、「友人・知人」が22.8%となっています。

＜障がい児調査＞

n=(25)



相談相手について、障がい児調査では「家族や親せき」が 84.0%と最も多く、次いで「通園施設や保育所、幼稚園、学校の先生」が 60.0%、「かかりつけの医師や看護師」が 44.0%となっています。

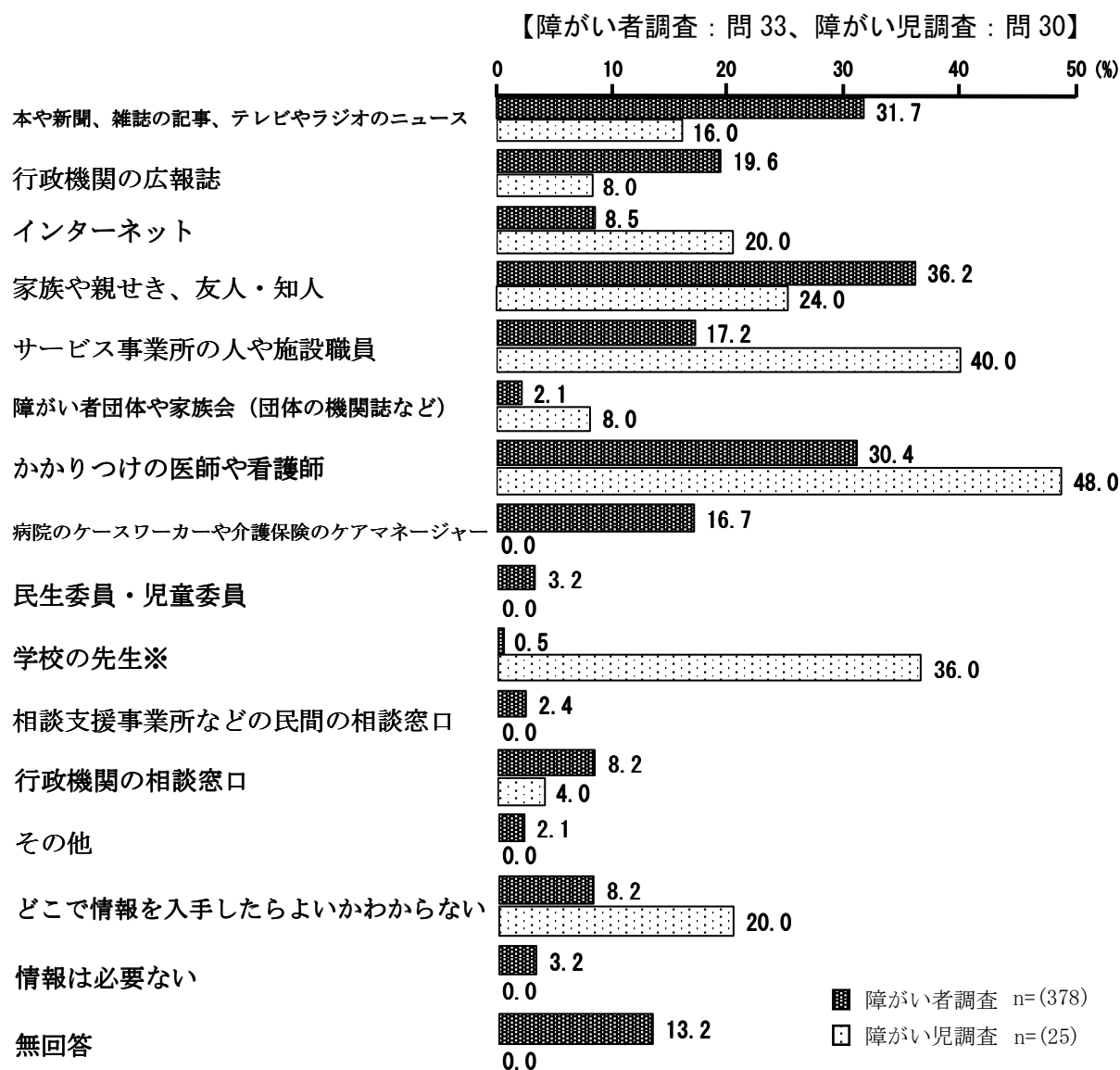
【障がい区分別／相談相手（障がい者調査）】

	調査数	家族や親せき	友人・知人	近所の人	職場の上司や同僚	施設の指導員など	ホームヘルパーなどサビ ス事業所の人	障がい者団体や家族会	かかりつけの医師や看護師	病院のケースワーカーや介護保 険のケアマネージャー	民生委員・児童委員	学校の先生	相談窓口 相談支援事業所などの民間の相 談窓口	行政機関の相談窓口	その他	相談する相手がいない	無回答
身体	277	74.0	24.5	10.8	1.8	11.9	8.3	0.0	28.2	13.7	3.6	0.0	0.7	5.8	1.8	4.0	10.1
療育	42	64.3	16.7	0.0	7.1	28.6	11.9	2.4	23.8	7.1	2.4	0.0	14.3	9.5	4.8	4.8	11.9
精神	37	56.8	24.3	0.0	5.4	13.5	2.7	0.0	56.8	16.2	0.0	0.0	10.8	13.5	8.1	10.8	8.1
重複	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手帳なし	22	81.8	9.1	0.0	4.5	4.5	9.1	0.0	45.5	9.1	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	13.6	4.5

障がい者調査の結果について障がい区分別にみると、「かかりつけの医師や看護師」は精神保健福祉手帳所有者、手帳なしの方で多くなっています。また、療育手帳所有者では「施設の指導員など」（28.6%）が多くなっています。

(2) 福祉サービスに関する情報源

問 あなたは障がいのことや福祉サービスなどに関する情報を、どこから知ることが多いですか。(あてはまるものすべてに○)



※障がい児調査では「通園施設や保育所、幼稚園、学校の先生」

福祉サービスに関する情報源について、障がい者調査では「家族や親せき、友人・知人」が36.2%と最も多く、次いで「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」が31.7%、「かかりつけの医師や看護師」が30.4%となっています。一方、障がい児調査では「かかりつけの医師や看護師」が48.0%と最も多く、次いで「サービス事業所の人や施設職員」が40.0%となっています。

【障がい区分別／福祉サービスに関する情報源（障がい者調査）】

	調査数	本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース	行政機関の広報誌	インターネット	家族や親せき、友人・知人	サービス事業所の人や施設職員	障がい者団体や家族会（団体の機関誌など）	かかりつけの医師や看護師	病棟のケースワーカーや介護保険のケアマネージャー	民生委員・児童委員	学校の先生	相談支援事業所などの民間の相談窓口	行政機関の相談窓口	その他	どこで情報入手したらよいかかわらない	情報は必要ない	無回答
身体	277	33.6	22.0	6.5	40.4	16.2	2.2	31.8	19.5	3.6	0.7	1.4	7.9	1.8	6.1	2.9	13.0
療育	42	14.3	9.5	4.8	14.3	28.6	4.8	19.0	4.8	2.4	0.0	4.8	14.3	2.4	19.0	4.8	21.4
精神	37	35.1	10.8	21.6	29.7	18.9	0.0	32.4	10.8	0.0	0.0	5.4	8.1	2.7	10.8	2.7	8.1
重複	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手帳なし	22	36.4	22.7	18.2	36.4	4.5	0.0	31.8	13.6	4.5	0.0	4.5	0.0	4.5	9.1	4.5	9.1

障がい者調査の結果について障がい区分別にみると、手帳なしの方は「家族や親せき、友人・知人」（36.4%）、「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」（36.4%）などが多くなっています。

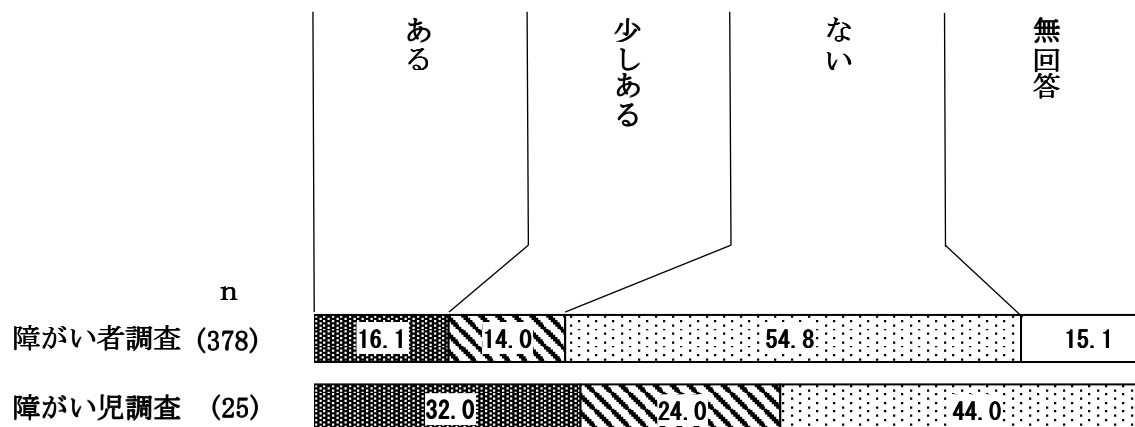
また、療育手帳所有者は「サービス事業所の人や施設職員」（28.6%）、「かかりつけ医や看護師」（19.0%）、「どこで情報入手したらよいかかわらない」（19.0%）などが多くなっています。

9 権利擁護について

(1) 差別や嫌な思いをする（した）経験の有無

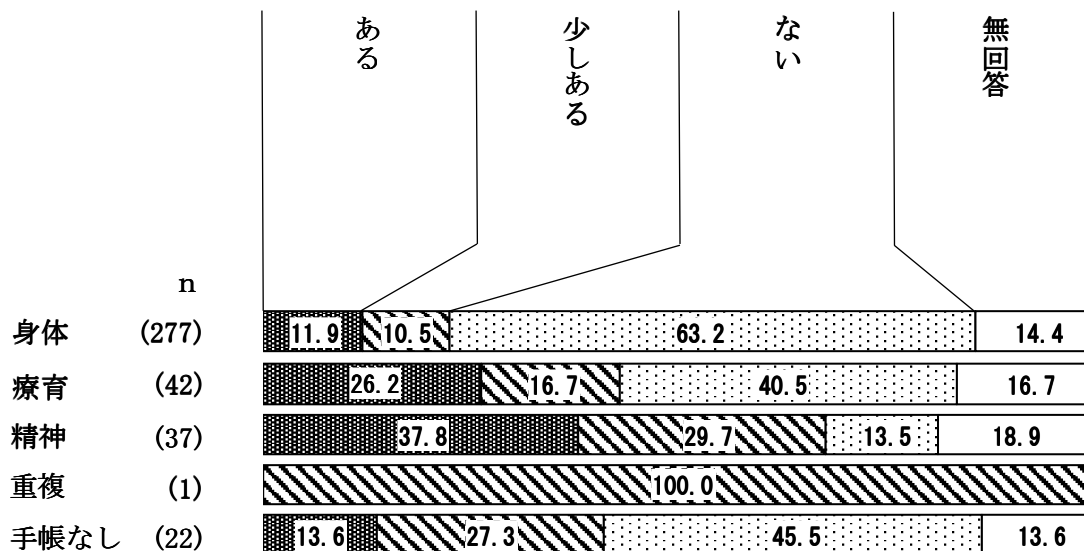
問 あなたは、障がいがあることで差別や嫌な思いをする（した）ことがありますか。（○は1つだけ）

【障がい者調査：問 34、障がい児調査：問 31】



差別や嫌な思いをする（した）経験の有無について、障がい者調査では「ない」が54.8%と最も多くなっており、「ある」(16.1%)と「少しある」(14.0%)を合わせた差別や嫌な思いをする（した）ことがある方は約3割となっています。一方、障がい児調査では「ある」(32.0%)と「少しある」(24.0%)を合わせた差別や嫌な思いをする（した）ことがある方は5割強となっています。

【障がい区分別／差別や嫌な思いをする（した）経験の有無（障がい者調査）】



障がい者調査の結果について障がい区分別にみると、「ある」と「少しある」を合わせた差別や嫌な思いをする（した）ことがある方は、療育手帳所有者、精神保健福祉手帳所有者および手帳なしの方で4割超と多くなっています。

(2) 差別や嫌な思いをした場所

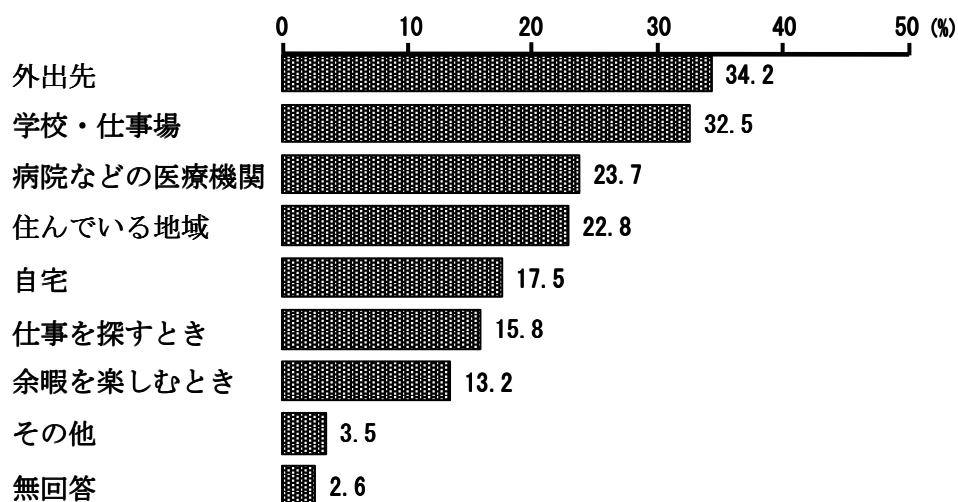
【(1) 差別や嫌な思いをする(した)経験の有無で「1. ある」または「2. 少しある」と回答された方のみ】

問 どのような場所で差別や嫌な思いをしましたか。(あてはまるものすべてに○)

【障がい者調査：問 35、障がい児調査：問 32】

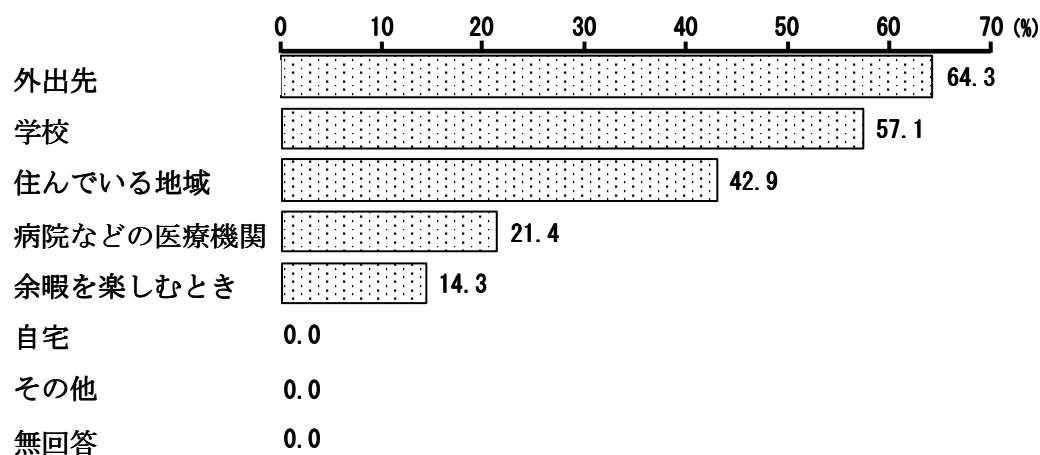
<障がい者調査>

n=(114)



<障がい児調査>

n=(14)



差別や嫌な思いをした場所について、障がい者調査では「外出先」が34.2%と最も多く、次いで「学校・仕事場」(32.5%)、「病院などの医療機関」(23.7%)となっています。一方、障がい児調査では「外出先」が64.3%と最も多く、次いで「学校」(57.1%)、「住んでいる地域」(42.9%)となっています。

(3) 嫌な思いをした内容

【(1) 差別や嫌な思いをする(した)経験の有無で「1. ある」または「2. 少しある」と回答された方のみ】

問 嫌な思いをした内容を具体的にご記入ください。

障がい者調査：問 35-1、障がい児調査：問 32-1】

<障がい者調査>

内容	意見数
いじめや嫌がらせ	13
悪口・陰口	11
日常生活での差別、障がいがあることによる暮らしにくさ	9
周囲の視線	9
求職時や仕事場での不当な評価や注意等	8
その他	7
合計	57

<障がい児調査>

内容	意見数
日常生活での差別、障がいがあることによる暮らしにくさ	2
合計	2

嫌な思いをした経験について、具体的な内容を求めたところ、障がい者調査では「いじめや嫌がらせ」が13件と最も多く、次いで「悪口・陰口」が11件となっています。一方、障がい児調査では「日常生活での差別、障がいがあることによる暮らしにくさ」が2件となっています。

【主な意見／嫌な思いをした内容】

<障がい者調査>

●いじめや嫌がらせ

- ・小学生の時からいじめられていた。仕事をするようになってもしじめや嫌なことがあった。
- ・仕事場で、言葉がすぐに出てこない。覚えが悪い。忘れる。パニックになるので社員の人たちに、色々ひどい言葉を言われました。今は無視をされています。
- ・学校では言葉のいじめがあったと思う。仕事場では、トイレに入っていた時に電気を消されたことが多かった。

●悪口・陰口

- ・仕事をしているのに陰でコソコソと笑われるのが嫌でした。
- ・「足が悪いからどうせできないよね」と言われる。
- ・スポーツ（軽スポーツ）をしているが、本当は悪いところはないのではないか？など近所の人たちが話していた。

●日常生活での差別、障がいがあることによる暮らしにくさ

- ・障がいに適したトイレがまだまだ社会には少ない。
- ・体調が不安定で良い時が少ないので短時間就労となると受け入れる企業はほとんどないのが現状です。
- ・発達障がいへの理解が不十分で障がいに対しての誤解があった。
- ・言葉機器使用のため、声質等で相手に伝わらないことがある。

<障がい児調査>

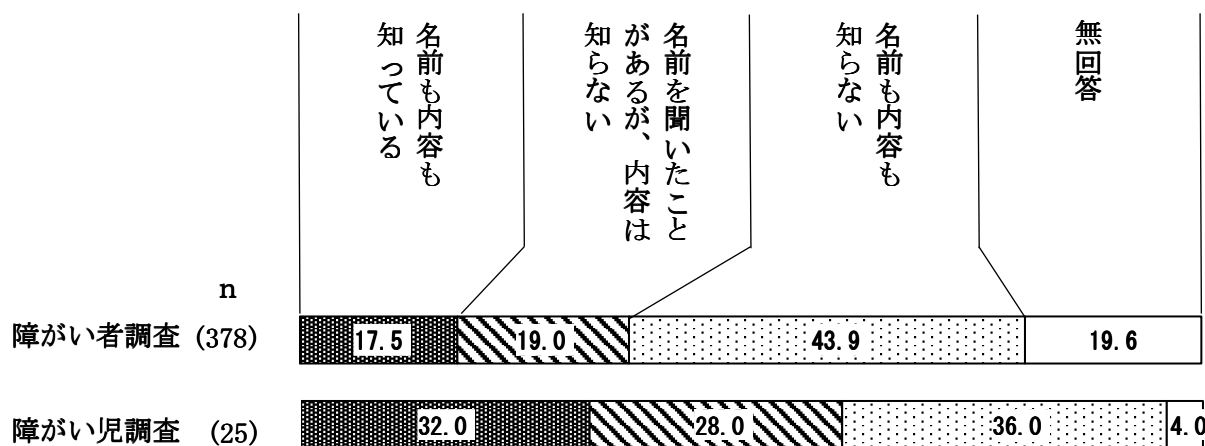
●日常生活での差別、障がいがあることによる暮らしにくさ

- ・大勢いる場所にはいられない。

(4) 成年後見制度の認知

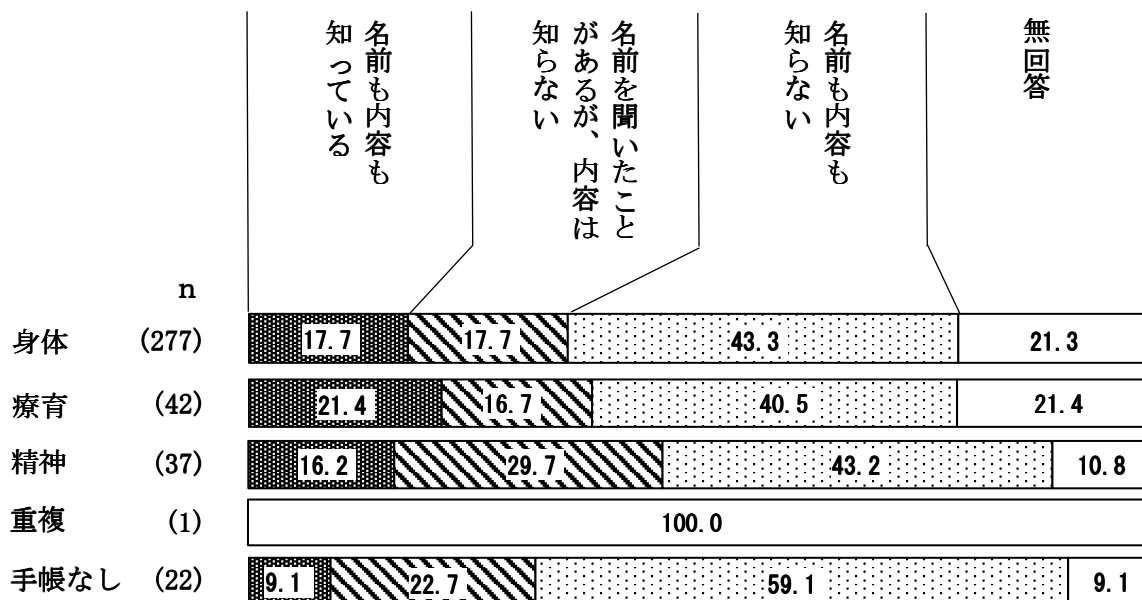
問 成年後見制度についてご存じですか。(○は1つだけ)

障がい者調査：問 36、障がい児調査：問 33】



成年後見制度の認知について、障がい者調査では「名前も内容も知らない」が43.9%と最も多くなっています。「名前も内容も知っている」は17.5%、「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」は19.0%となっています。一方、障がい児調査では「名前も内容も知っている」と「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」が合わせて6割を占め、障がい者に比べると認知度は高くなっています。

【障がい区分別／成年後見制度の認知（障がい者調査）】



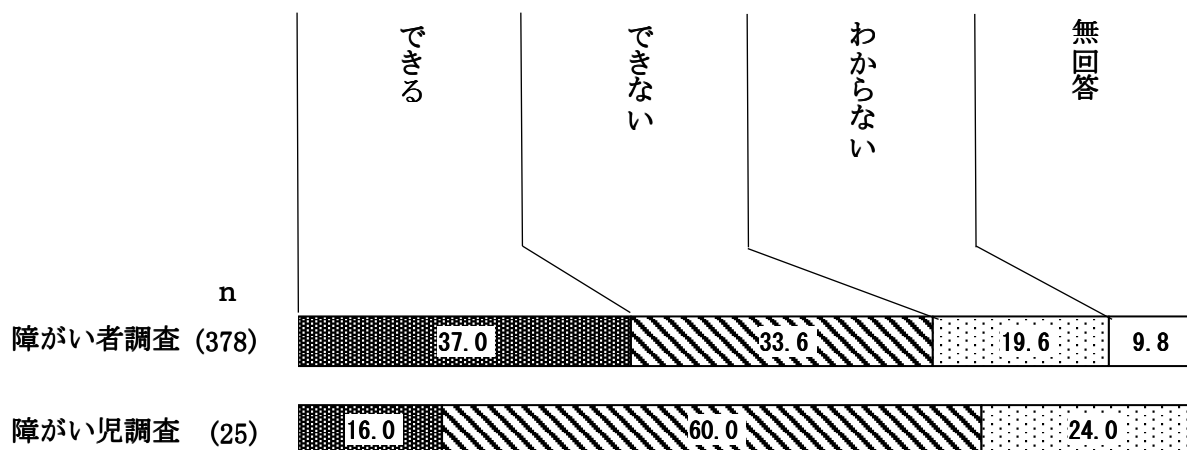
障がい者調査の結果について障がい区分別にみると、手帳なしの方で「名前も内容も知らない」が約6割を占めており、何らかの手帳を有する方に比べて認知度が低くなっています。

10 災害時の避難等について

(1) 災害時の避難

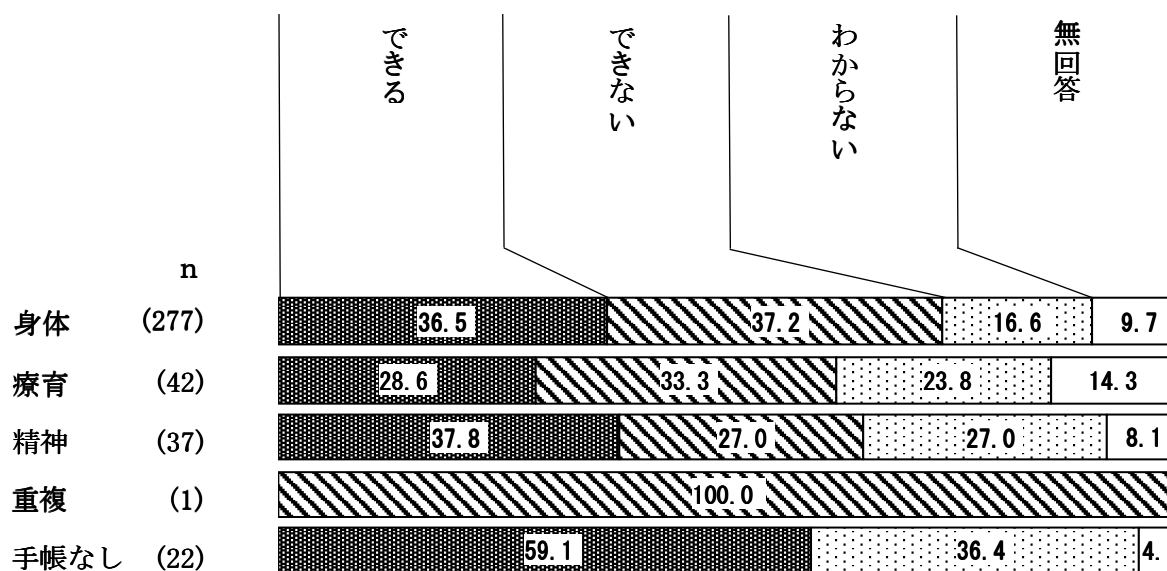
問 あなたは、火事や地震等の災害時に一人で避難できますか。(○は1つだけ)

障がい者調査：問 37、障がい児調査：問 34】



災害時の避難について、障がい者調査では「できる」が37.0%と約4割を占め、「できない」は33.6%、「わからない」は19.6%となっています。一方、障がい児調査では「できない」が6割を占め、「できる」は16.0%にとどまっています。

【障がい区分別／災害時の避難（障がい者調査）】



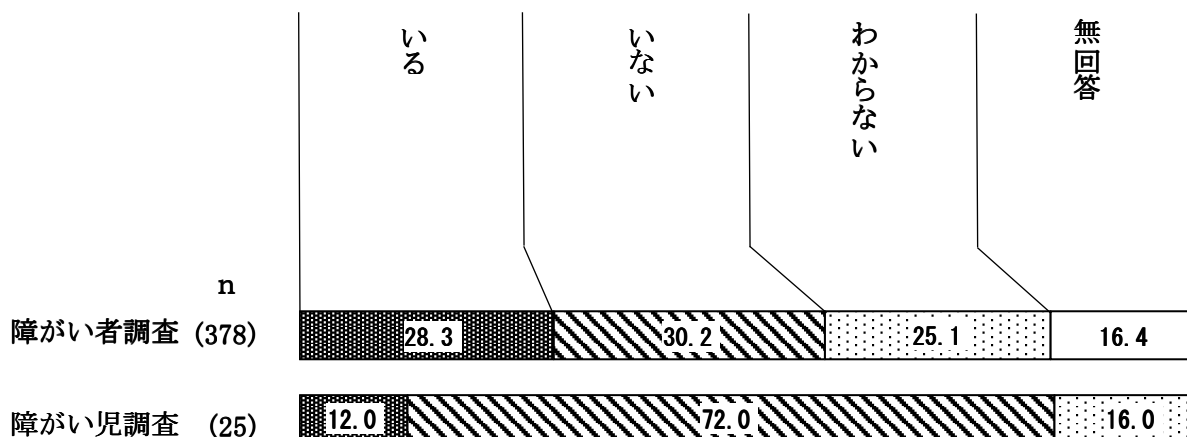
障がい者調査の結果について障がい区分別にみると、「できる」は身体障害者手帳所有者および精神保健福祉手帳所有者で約4割、手帳なしの方で約6割と多くなっています。一方、療育手帳所有者では「できる」が3割以下となっています。

(2) 近所に助けてくれる人がいるか

問 家族が不在の場合や一人暮らしの場合、近所にあなたを助けてくれる人はいますか。

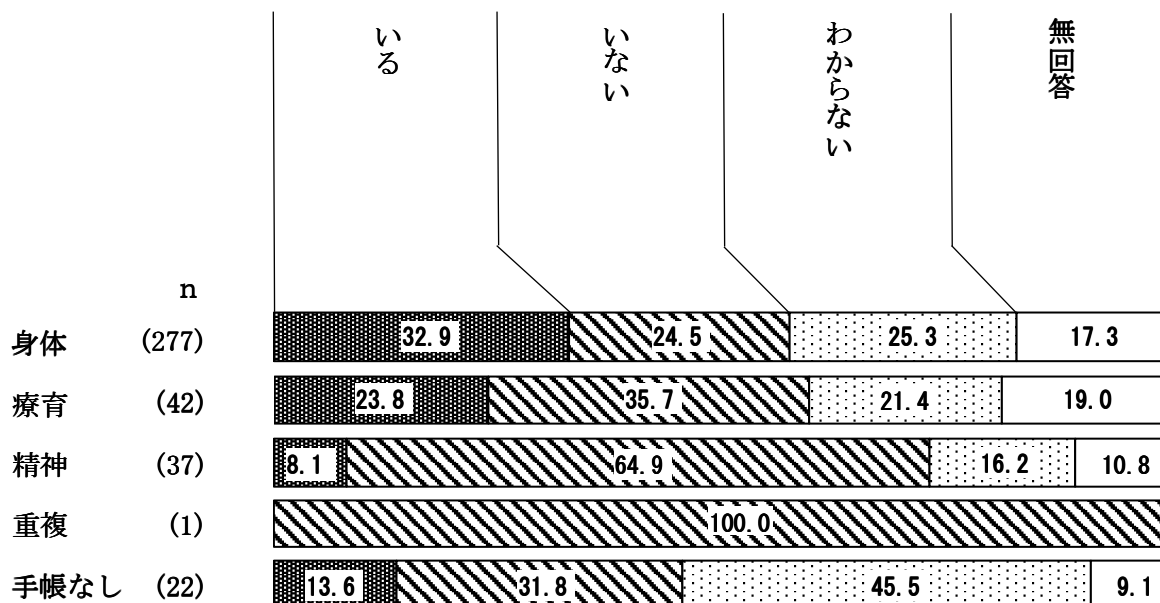
(○は1つだけ)

障がい者調査：問 38、障がい児調査：問 35】



近所に助けてくれる人がいるかについて、障がい者調査では「いる」が28.3%、「いない」が30.2%、「わからない」が25.1%となっています。一方、障がい児調査では「いない」が72.0%と7割以上を占め、「いる」は12.0%、「わからない」は16.0%となっています。

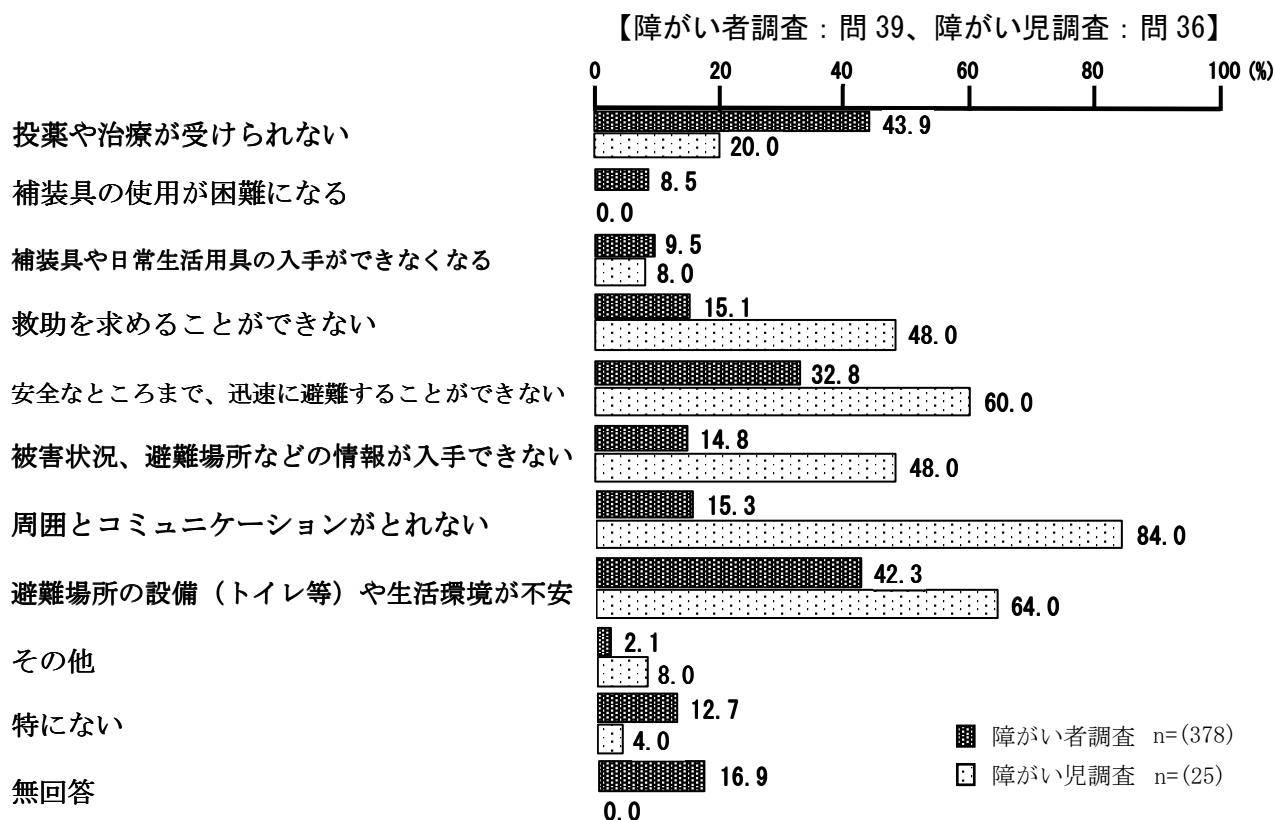
【障がい区分別／近所に助けてくれる人がいるか（障がい者調査）】



障がい者調査の結果について障がい区分別にみると、「いる」は身体障害者手帳所有者で3割以上となっています。一方、精神保健福祉手帳所有者では「いる」が8.1%と1割以下にとどまっています。

(3) 災害時に困ること

問 火事や地震等の災害時に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)



災害時に困ることについて、障がい者調査では「投薬や治療が受けられない」(43.9%)、「避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安」(42.3%)が4割以上と多く、次いで「安全なところまで、迅速に避難することができない」(32.8%)となっています。一方、障がい児調査では「周囲とコミュニケーションがとれない」が84.0%で最も多く、次いで「避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安」が64.0%、「安全なところまで、迅速に避難することができない」が60.0%となっています。

【障がい区分別／災害時に困ること（障がい者調査）】

	調査数	投薬や治療が受けられない	補装具の使用が困難になる	補装具や日常生活用具の入手ができなくなる	救助を求めることができない	安全なところまで、迅速に避難することができない	被害状況、避難場所などの情報が入手できない	周囲とコミュニケーションがとれない	避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安	その他	特になし	無回答
身体	276	44.4	9.0	9.7	13.7	33.9	11.6	9.7	41.9	1.4	13.4	18.1
療育	42	28.6	7.1	9.5	28.6	40.5	28.6	35.7	52.4	2.4	11.9	19.0
精神	37	48.6	2.7	8.1	13.5	21.6	21.6	35.1	40.5	5.4	8.1	10.8
重複	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
手帳なし	22	59.1	13.6	9.1	9.1	22.7	18.2	13.6	31.8	4.5	13.6	9.1

障がい者調査の結果について障がい区分別にみると、手帳なしの方は「投薬や治療が受けられない」が59.1%と多くなっています。また、療育手帳所有者は「避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安」（52.4%）、「安全なところまで、迅速に避難することができない」（40.5%）、「周囲とコミュニケーションがとれない」（35.7%）などが多くなっています。

11 障がい福祉サービスや行政の取組について

問 最後に、障がい福祉サービスや行政の取組について、何かご意見がありましたら、自由にご記入ください。

【障がい者調査：問 40、障がい児調査：問 37】

<障がい者調査>

内容	意見数
行政に対する意見について	33
障がい福祉サービスについて	7
障がい者の理解について	6
近況報告・日常の感想・身の上話などについて	3
アンケートについて	3
今後の不安（援助者がいなくなった時の不安、身体的不安含む）について	3
交通について	3
施設の充実（入所関係）について	2
環境設備について（道の整備含む）について	2
病院医療関連（対応、設備、環境改善等）について	1
その他	13
合計	76

<障がい児調査>

内容	意見数
行政に対する意見について	5
障がい者の理解について	4
今後の不安（援助者がいなくなった時の不安、身体的不安含む）について	1
施設の充実（入所関係）について	1
合計	11

障がい福祉サービスや行政の取組について、具体的な内容を求めたところ、障がい者調査では「行政に対する意見について」が33件と最も多く、次いで「障がい福祉サービスについて」が7件、「障がい者の理解について」が6件となっています。一方、障がい児調査では「行政に対する意見について」が5件と最も多く、次いで「障がい者の理解について」が4件となっています。

【主な意見／障がい福祉サービスや行政の取組について】

＜障がい者調査＞

●行政に対する意見について

- ・ 火事や地震等の災害時、もしも夜中など、聞こえない状況下で起きた時の放送や呼びかけに反応できないので、その際の取組を検討してほしい。（就寝、入浴中は補聴器を外すので、全く聞こえない）
- ・ 行政から、いろいろなサービス等があること、受けられる事をもっと発信して欲しい。
- ・ 重度障害者認定について、所得制限があるので受けられないので障害者がだれでも受けられるように政策して欲しい。（郡山市は受けられます。）
- ・ 就労の場所または、就労に至るまでの支援の場が少ないように感じます。

●障がい福祉サービスについて

- ・ 在宅介護の支援を充実していただきたい。
- ・ 老人に対するサービスは増えていくが、障がい者サービスは全くない。
- ・ 重度の認定が下りない。支援を受ける手続きがわからない。

●障がい者の理解について

- ・ 障がい者家族会等があれば悩み等を共有できるのではないか。
- ・ 障がい者のある人をサポートする側（家族等）への理解を深める取組が必要。
- ・ 障がいがあっても平等に扱って欲しい。

●近況報告・日常の感想・身の上話などについて

- ・ 現在病院に入院しておりますが面会が出来ず、困っております。早くコロナが終って欲しいです。
- ・ コロナで人との関係が疎遠になった。（友人が来なくなった。）

<障がい児調査>

●行政に対する意見について

- ・障がいのある人に対して、役場からこういう福祉サービスがありますという説明は、1回も聞いた事はありません。一人ひとり障がいの種類、支援の内容が違うのですから、柔軟な支援が必要です。
- ・働ける環境、働ける職場を増やしてほしい。
- ・障がいのある方と地域との交流ができる場があるといいと思います。

●障がい者の理解について

- ・親にかかる負担が多い。子供を支援しても、親を支援する内容はない。相談できないというより、理解されない。体験した人にしか理解ができない。
- ・障がいの子が遊べる場所がない。体が大きいし、公園など連れていくと、周りから変な目で見られます。のびのびと遊ばせられません。
- ・学校の先生の中に理解のない人が多く残念に思っています。子ども達それぞれの特性についてもっと良く知ってほしいです。安心して登校させる事ができるように、教師がもっと勉強して理解してくれるように、「勉強会」のようなものが増えたら良いなと思います。学校の中で、教師ではなく生徒がきちんと守ってもらえるようにして下さい。
- ・精神の子たちは、見ためで判断されてしまい、周りの人からなんでもないように見られ、「やらせないから甘やかしているから」と言われてしまいます。まだまだ、地域の理解がないと思います。

●施設の充実（入所関係）について

- ・学校に通っている間や、親が面倒を見ていられる間は何とか生活ができるが、1人になった場合の受入れをしてくれる施設などを地域（小野町）に作って欲しい。

Ⅲ 使用した調査票

1 障がい者調査 調査票

おのまち ふくし かん あんけーと 小野町 福祉に関するアンケート

《調査ご協力のお願い》

白旗より小野町の福祉行政にご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。

小野町では現在、令和3年度を初年度とする「おのまち障がい者計画」等の策定に向けた取り組みを進めています。そのため、町民の皆さまの福祉サービスの利用実態や福祉に関する意識、意向などを把握し、計画策定や施策推進に役立てるためのアンケートを実施することになりました。

この調査は、無記名でご回答いただきますので、回答された方が特定されたり、個人の回答内容が明らかにされたりすることはありません。調査票は小野町個人情報保護条例にしたがい、適切な管理をいたします。

また、ご回答いただいた内容は、統計的な処理を行い、計画策定および施策推進のための基礎資料としてのみ使用し、その他の目的で使われることは一切ありません。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和2年9月

小野町長 大和田 昭

記入にあたってのお願い

- 宛名のご本人が直接回答いただくことが難しい場合には、家族や介護者の方などが、ご本人の意向を尊重して記入してください。
- 質問文を読み、あてはまる選択肢の番号を○で囲んでください。
- は1つだけ、あてはまるものすべてに○、など回答数の指示があります。よく読んでお答えください。
- その他の（ ）内や自由意見欄には、具体的に考えや意見を記入ください。
- 記入は、必ず黒または青のボールペンまたは鉛筆でお願いします。
- 記入済みの調査票は、10月16日（金）までに、同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストにご投函ください（切手は不要です）。

【お問い合わせ先】 小野町役場 健康福祉課
〒963-3492 小野町大字小野新町字龍岡92番地
☎ 0247-72-6934

問1 お答えいただくのは、どなたですか。（○は1つだけ）

1. 本人（この調査票が郵送された宛名の方）
2. 本人の家族
3. 家族以外の介助者

※これ以降、この調査票が郵送された宛名の方を「あなた」とお呼びしますので、ご本人（この調査票の対象者：障がいのある方）の状況などについて、お答えください。

あなた（宛名の方）の性別・年齢・ご家族などについて

問2 あなたの年齢をお答えください。（令和2年9月1日現在）

歳 歳

問3 あなたの性別をお答えください。（○は1つだけ）

1. 男性
2. 女性

問4 あなたは現在どのように暮らしていますか。（○は1つだけ）

1. 一人で暮らしている
2. 家族と暮らしている
3. グループホームで暮らしている
（施設名：_____）
4. 福祉施設（障がい者支援施設、高齢者支援施設）で暮らしている
（施設名：_____）
5. 病院に入院している
（病院名：_____）
（期 間：_____年_____ヶ月）
6. その他（_____）

【問4で「2」を選択した方のみ】

問4-1 同居しているご家族をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

1. 父母
2. 祖父母
3. 兄弟
4. 配偶者
5. その他（_____）

問5 日常生活で、次のことをどのようにしていますか。①から⑩のそれぞれにお答えください。（①から⑩それぞれに○を1つ）

項 目	ひとり で できる	一部介助が 必要	全部介助が 必要
① 食事	1	2	3
② トイレ	1	2	3
③ 入浴	1	2	3
④ 衣服の着脱	1	2	3
⑤ 身だしなみ	1	2	3
⑥ 家の中の移動	1	2	3
⑦ 外出	1	2	3
⑧ 家族以外の人との意思疎通	1	2	3
⑨ お金の管理	1	2	3
⑩ 薬の管理	1	2	3

【問5で「一部介助が必要」または「全部介助が必要」と答えた方のみ】

問6 あなたを介助してくれる方は主に誰ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 父母・祖父母・兄弟姉妹	4. ホームヘルパーや施設の職員
2. 配偶者（夫または妻）	5. その他の人（ボランティア等）
3. 子ども	

【問6で「1」～「3」を選択した方のみ】

問7 あなたを介助してくれる家族で、特に中心となっている方の年齢、性別、健康状態をお答えください。

①年齢（令和2年9月1日現在）

歳 歳

②性別（○は1つだけ）

1. 男性	2. 女性
-------	-------

③健康状態（○は1つだけ）

1. よい	2. ふつう	3. よくない
-------	--------	---------

あなたの障がいの状況についておうかがいします

問8 あなたは身体障害者手帳をお持ちですか。（○は1つだけ）

- | | | | |
|-------|-------|-----------|-------|
| 1. 1級 | 2. 2級 | 3. 3級 | 4. 4級 |
| 5. 5級 | 6. 6級 | 7. 持っていない | |

問9 身体障害者手帳をお持ちの場合、主たる障がいをお答えください。

（○は1つだけ）

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1. 視覚障がい | 5. 肢体不自由（下肢） |
| 2. 聴覚障がい | 6. 肢体不自由（体幹） |
| 3. 音声・言語・そしゃく機能障がい | 7. 内部障がい（1～6以外） |
| 4. 肢体不自由（上肢） | |

問10 あなたは療育手帳をお持ちですか。（○は1つだけ）

- | | | |
|--------|--------|-----------|
| 1. A判定 | 2. B判定 | 3. 持っていない |
|--------|--------|-----------|

問11 あなたは精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。（○は1つだけ）

- | | | | |
|-------|-------|-------|-----------|
| 1. 1級 | 2. 2級 | 3. 3級 | 4. 持っていない |
|-------|-------|-------|-----------|

問12 あなたは自立支援医療受給者証をお持ちですか。（○は1つだけ）

- | | | | |
|-----------|---------|---------|-----------|
| 1. 精神通院医療 | 2. 更生医療 | 3. 育成医療 | 4. 持っていない |
|-----------|---------|---------|-----------|

問13 あなたは難病（特定疾患）の認定を受けていますか。（○は1つだけ）

※難病（特定疾患）とは、関節リウマチやギラン・バレー症候群などの治療法が確立していない疾病その他の特殊な疾病をいいます。

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 受けている | 2. 受けていない |
|----------|-----------|

問14 あなたは発達障がいとして診断されたことがありますか。（○は1つだけ）

※発達障がいとは、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がいなどをいいます。

1. ある

2. ない

問15 あなたは高次脳機能障がいとして診断されたことがありますか。

（○は1つだけ）

※高次脳機能障がいとは、一般に、外傷性脳損傷、脳血管障がい等により脳に損傷を受けその後遺症等として生じた記憶障がい、注意障がい、社会的行動障がいなどの認知障がい等を指すものとされており、具体的には「会話がうまくかみ合わない」等の症状があります。

1. ある

2. ない

問15-1 問15で「ある」を選択した場合、その関連障がいをお答えください。

（あてはまるものすべてに○）

1. 視覚障がい

5. 肢体不自由（下肢）

2. 聴覚障がい

6. 肢体不自由（体幹）

3. 音声・言語・そしゃく機能障がい

7. 内部障がい（1～6以外）

4. 肢体不自由（上肢）

問16 あなたが現在受けている医療ケアをお答えください。

（あてはまるものすべてに○）

1. 気管切開

7. 中心静脈栄養（IVH）

2. 人工呼吸器（レスピレーター）

8. 透析

3. 吸入

9. カテーテル留置

4. 吸引

10. ストマ（人工肛門・人工膀胱）

5. 胃ろう・腸ろう

11. 服薬

6. 胸腔経管栄養

12. その他（ ）

住まいや暮らしについておうかがいします

問17 あなたは将来、地域で生活したいと思いますか。（○は1つだけ）

1. 今のまま生活したい
2. グループホームなどを利用したい
3. 家族と一緒に生活したい
4. 一般の住宅で一人暮らしをしたい
5. その他（ ）

問18 地域で生活するためには、どのような支援があればよいと思いますか。
（あてはまるものすべてに○）

1. 在宅で医療ケアなどが適切に得られること
2. 障がい者に適した住居の確保
3. 必要な在宅サービスが適切に利用できること
4. 生活訓練等の充実
5. 経済的な負担の軽減
6. 相談対応等の充実
7. 地域住民等の理解
8. コミュニケーションについての支援
9. その他（ ）

日中活動や就労についておうかがいします

問19 あなたは、1週間にどの程度外出しますか。（○は1つだけ）

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 毎日外出する | 4. まったく外出しない |
| 2. 1週間に数回外出する | ⇒ P 6 問23 へ |
| 3. めったに外出しない | |

【問20 から問22 は、問19 で、「1」～「3」を選択した方のみ】

問20 あなたが外出する際の主な同伴者は誰ですか。（○は1つだけ）

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1. 父母・祖父母・兄弟姉妹 | 4. ホームヘルパーや施設の職員 |
| 2. 配偶者（夫または妻） | 5. その他の人（ボランティア等） |
| 3. 子ども | 6. 一人で外出する |

問21 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 通勤・通学・通所 | 6. 趣味やスポーツをする |
| 2. 訓練やリハビリに行く | 7. グループ活動に参加する |
| 3. 医療機関への受診 | 8. 散歩に行く |
| 4. 買い物に行く | 9. その他() |
| 5. 友人・知人に会う | |

問22 外出する時に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|----------------------------------|
| 1. 公共交通機関が少ない(公共交通機関が通っていない) |
| 2. 列車やバスの乗り降りが困難 |
| 3. 道路や駅に階段や段差が多い |
| 4. 切符の買い方や乗換えの方法がわかりにくい |
| 5. 外出先の建物の設備が不便(通路、トイレ、エレベーターなど) |
| 6. 介助者が確保できない |
| 7. 外出にお金がかかる |
| 8. 周囲の目が気になる |
| 9. 発作など突然の身体の変化が心配 |
| 10. 困った時にどうすればいいのかが心配 |
| 11. その他() |
| 12. 特になし |

問23 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。(○は1つだけ)

- | |
|---------------------------------|
| 1. 会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている |
| 2. ボランティアなど、収入を得ない仕事をしている |
| 3. 専業主婦(主夫)をしている |
| 4. 福祉施設、作業所等に通っている(就労継続支援A型も含む) |
| 5. 病院などのデイケアに通っている |
| 6. リハビリテーションを受けている |
| 7. 自宅で過ごしている |
| 8. 入所している施設や病院等で過ごしている |
| 9. 大学、専門学校、職業訓練校などに通っている |
| 10. その他() |

【問23で「1」を選択した方のみ】

問24 どのような勤務形態で働いていますか。（○は1つだけ）

1. 正職員で他の職員と勤務条件等に違いはない
2. 正職員で短時間勤務などの障がい者配慮がある
3. パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員
4. 自営業、農業、林業、水産業など
5. その他（ ）

⇒問27へお進みください

【問23で「1」以外を選択した18～64歳の方のみ】

問25 あなたは今後、収入を得る仕事をしたいと思いませんか。（○は1つだけ）

1. 仕事をしたい
2. 仕事はしたくない、できない
3. わからない
- ⇒問27へ

【問25で「1」、「3」を選択した方のみ】

問26 収入を得る仕事を得るために、職業訓練などを受けたいと思いませんか。（○は1つだけ）

1. すでに職業訓練を受けている
2. 職業訓練を受けたい
3. 職業訓練を受けたくない、受ける必要はない

問27 あなたは、障がい者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 通勤手段の確保
2. 勤務場所におけるバリアフリー等の配慮
3. 短時間勤務や勤務日数等の配慮
4. 在宅勤務の拡充
5. 職場の上司や同僚に障がいの理解があること
6. 職場で介助や援助等が受けられること
7. 就労後のフォローなど職場と支援機関の連携
8. 企業ニーズに合った就労訓練
9. 仕事についての職場外での相談対応、支援
10. その他（ ）

障がい福祉サービス等の利用についておうかがいします

問28 あなたは障害支援区分の認定を受けていますか。（○は1つだけ）

- | | | | |
|--------|--------|--------|-----------|
| 1. 区分1 | 3. 区分3 | 5. 区分5 | 7. 受けていない |
| 2. 区分2 | 4. 区分4 | 6. 区分6 | |

問29 あなたは介護保険によるサービスを利用していますか。（○は1つだけ）

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 利用している | 2. 利用していない |
|-----------|------------|

【問29で、「1. 利用している」を選択した方にお聞きします。】

問30 該当する要介護度はどれですか。（○は1つだけ）

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 要支援1 | 3. 要介護1 | 5. 要介護3 | 7. 要介護5 |
| 2. 要支援2 | 4. 要介護2 | 6. 要介護4 | |

問31 あなたは次のサービスを利用していますか。また、今後利用したいと
考えますか。（①から④のそれぞれについて、「現在利用しているか」と
「今後利用したいか」の両方に回答（番号に○）してください）

	現在 利用しているか		今後 利用したいか	
	1 利用 して	2 利用 して ない	1 利用 したい	2 利用 しない
①居宅介護（ホームヘルプ） 自宅に入浴や排せつ、食事などの介助を行う サービスです。	1	2	1	2
②重度訪問介護 重度の障がいがあり常に介護が必要な方に、 自宅に入浴や排せつ食事などの介助や外出時 の移動の補助を行うサービスです。	1	2	1	2

	現在 利用しているか		今後 利用したいか	
	利用 して いる	利用 して いない	利用 したい	利用 しない
③同行支援 視覚障がいにより移動が著しく困難な方に、外出に必要な情報の提供や移動の支援などを行うサービスです。	1	2	1	2
④行動支援 知的障がいや精神障がいにより行動が困難で常に介護が必要な方に、行動するとき必要な介助や外出時の移動の補助などを行うサービスです。	1	2	1	2
⑤重度障がい者等包括支援 常に介護が必要な方で、介護の必要の程度が著しく高い方に、居宅介護などのサービスを包括的に提供するサービスです。	1	2	1	2
⑥生活介護 常に介護が必要な方に、施設で入浴や排せつ、食事の介護や創作的活動などの機会を提供するサービスです。	1	2	1	2
⑦自立訓練（機能訓練、生活訓練） 自立した日常生活や社会生活ができるよう、一定の期間における身体機能や生活能力向上のために必要な訓練を行なうサービスです。	1	2	1	2
⑧就労移行支援 通常の事業所で働きたい方に、一定の期間、就労に必要な知識及び能力の向上のための訓練を行うサービスです。	1	2	1	2

	現在 利用しているか		今後 利用したいか	
	利用 して いる	利用 して いない	利用 したい	利用 しない
⑩就労継続支援（A型、B型） 通常の事業所で働くことが困難な方に、 就労の機会の提供や生産活動その他の活動の 機会の提供、知識や能力の向上のための 訓練を行うサービスです。	1	2	1	2
⑪療養介護 医療が必要な方で、常に介護を必要とする方 に、主に昼間に病院等において機能訓練、 療養上の管理、看護などを提供する サービスです。	1	2	1	2
⑫短期入所（ショートステイ） 在宅の障がい者（児）を介護する方が病気の 場合などに、障がい者が施設に短期間入所 し、入浴、排せつ、食事の介護などを行う サービスです。	1	2	1	2
⑬共同生活援助（グループホーム） 夜間や休日、共同生活を行う住居で、相談 や日常生活上の援助を行うサービスです。	1	2	1	2
⑭施設入所支援 主として夜間、施設に入所する障がい者 （児）に対し、入浴、排せつ、食事の介護な どの支援を行うサービスです。	1	2	1	2
⑮相談支援 福祉に関する問題や介護者からの相談に応じ て、必要な情報の提供や助言などを行うサ ービスです。	1	2	1	2

相談相手についておうかがいします

問32 あなたは、普段、悩みや困ったことをどなたに相談しますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------------|-----------------------|
| 1. 家族や親せき | 10. 民生委員・児童委員 |
| 2. 友人・知人 | 11. 学校の先生 |
| 3. 近所の人 | 12. 相談支援事業所などの民間の相談窓口 |
| 4. 職場の上司や同僚 | 13. 行政機関の相談窓口 |
| 5. 施設の指導員など | 14. その他 |
| 6. ホームヘルパーなどサービス事業所の人 | () |
| 7. 障がい者団体や家族会 | 15. 相談する相手がいない |
| 8. かかりつけの医師や看護師 | |
| 9. 病院のケースワーカーや介護保険のケアマネジャー | |

問33 あなたは障がいのことや福祉サービスなどに関する情報を、どこから知ることが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------------|-----|
| 1. 本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース | |
| 2. 行政機関の広報誌 | |
| 3. インターネット | |
| 4. 家族や親せき、友人・知人 | |
| 5. サービス事業所の人や施設職員 | |
| 6. 障がい者団体や家族会(団体の機関誌など) | |
| 7. かかりつけの医師や看護師 | |
| 8. 病院のケースワーカーや介護保険のケアマネジャー | |
| 9. 民生委員・児童委員 | |
| 10. 学校の先生 | |
| 11. 相談支援事業所などの民間の相談窓口 | |
| 12. 行政機関の相談窓口 | |
| 13. その他 | () |
| 14. どこで情報入手したらよいかわからない | |
| 15. 情報は必要ない | |

権利擁護についておうかがいします

問34 あなたは、障がいがあることで差別や嫌な思いをする（した）ことがありますか。（○は1つだけ）

- | | | |
|-------|---------|-------|
| 1. ある | 2. 少しある | 3. ない |
|-------|---------|-------|

【問34で「1」または「2」と回答された方のみ】

問35 どのような場所で差別や嫌な思いをしましたか。
（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 学校・仕事場 | 5. 病院などの医療機関 |
| 2. 仕事を探すとき | 6. 住んでいる地域 |
| 3. 外出先 | 7. 自宅 |
| 4. 余暇を楽しむとき | 8. その他（ ） |

【問34で「1」または「2」と回答された方のみ】

問35-1 嫌な思いをした内容を具体的に記入ください。

問36 成年後見制度についてご存じですか。（○は1つだけ）

- | |
|-------------------------|
| 1. 名前も内容も知っている |
| 2. 名前を聞いたことがあるが、内容は知らない |
| 3. 名前も内容も知らない |

災害時の避難等についておうかがいします

問37 あなたは、火事や地震等の災害時に一人で避難できますか。（○は1つだけ）

- | | | |
|--------|---------|----------|
| 1. できる | 2. できない | 3. わからない |
|--------|---------|----------|

問38 家族が不在の場合や一人暮らしの場合、近所にあなただけを助けてくれる人はいますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|-------|--------|----------|
| 1. いる | 2. いない | 3. わからない |
|-------|--------|----------|

問39 火事や地震等の災害時に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1. 投薬や治療を受けられない
2. 補装具の使用が困難になる
3. 補装具や日常生活用具の入手ができなくなる
4. 救助を求めることができない
5. 安全なところまで、迅速に避難することができない
6. 被害状況、避難場所などの情報が入手できない
7. 周知とコミュニケーションがとれない
8. 避難場所の設備(トイレ等)や生活環境が不安
9. その他()
10. 特にない |
|--|

問40 最後に、障がい福祉サービスや行政の取組について、何かご意見がありましたら、自由にご記入ください。

--

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

2 障がい児調査 調査票

おのまち 小野町 福祉に関するアンケート

《調査ご協力のお願い》

* 児童用 *

日頃より小野町の福祉行政にご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。

小野町では現在、令和3年度を初年度とする「おのまち障がい者計画」等の策定に向けた取り組みを進めています。そのため、町民の皆さまの福祉サービスの利用実態や福祉に関する意識、意向などを把握し、計画策定や施策推進に役立てるためのアンケートを実施することになりました。

この調査は、無記名でご回答いただきますので、回答された方が特定されたり、個人の回答内容が明らかにされたりすることはありません。調査票は小野町個人情報保護条例にしたがい、適切な管理をいたします。

また、ご回答いただいた内容は、統計的な処理を行い、計画策定および施策推進のための基礎資料としてのみ使用し、その他の目的で使われることは一切ありません。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和2年9月

小野町長 大和田 昭

記入にあたってのお願い

- 宛名のご本人が直接回答いただくことが難しい場合には、家族や介護者の方などが、ご本人の意向を尊重して記入してください。
- 質問文を読み、あてはまる選択肢の番号を○で囲んでください。
- は1つだけ、あてはまるものすべてに○、など回答数の指示があります。よく読んでお答えください。
- その他の（ ）内や自由意見欄には、具体的に考えや意見をご記入ください。
- 記入は、必ず黒または青のボールペンまたは鉛筆でお願いします。
- 記入済みの調査票は、10月16日（金）までに、同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストにご投函ください（切手は不要です）。

【お問い合わせ先】 小野町役場 健康福祉課
〒963-3492 小野町大字小野新町字鹿廻92番地
☎ 0247-72-6934

問1 お答えいただくのは、どなたですか。（○は1つだけ）

1. 本人（この調査票が郵送された宛名の方）
2. 本人の家族
3. 家族以外の介助者

※これ以降、この調査票が郵送された宛名の方を「あなた」とお呼びしますので、ご本人（この調査票の対象者：障がいのある方）の状況などについて、お答えください。

あなた（宛名の方）の性別・年齢・ご家族などについて

問2 あなたの年齢をお答えください。（令和2年9月1日現在）

歳 歳

問3 あなたの性別をお答えください。（○は1つだけ）

1. 男性
2. 女性

問4 あなたは現在どのように暮らしていますか。（○は1つだけ）

1. 家族と暮らしている
2. 支援学校の寄宿舎で暮らしている
（施設名：_____）
3. 福祉施設（障がい児入所施設）で暮らしている
（施設名：_____）
4. 病院に入院している
（病院名：_____）
（期 間：_____年_____ヶ月）
5. その他（_____）

【問4で「1」を選択した方のみ】

問4-1 同居しているご家族をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

1. 父母
2. 祖父母
3. 兄弟
4. その他（_____）

問5 日常生活で、次のことをどのようにしていますか。①から⑩のそれぞれにお答えください。（①から⑩それぞれに○を1つ）

項 目	ひとり で できる	一部介助が 必要	全部介助が 必要
① 食事	1	2	3
② トイレ	1	2	3
③ 入浴	1	2	3
④ 衣服の着脱	1	2	3
⑤ 身だしなみ	1	2	3
⑥ 家の中の移動	1	2	3
⑦ 外出	1	2	3
⑧ 家族以外の人との意思疎通	1	2	3
⑨ お金の管理	1	2	3
⑩ 薬の管理	1	2	3

【問5で「一部介助が必要」または「全部介助が必要」と答えた方のみ】

問6 あなたを介助してくれる方は主に誰ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 父母・祖父母・兄弟姉妹	2. ホームヘルパーや施設の職員 3. その他の人（ボランティア等）
----------------	---------------------------------------

【問6で「1」を選択した方のみ】

問7 あなたを介助してくれる家族で、特に中心となっている方の年齢、性別、健康状態をお答えください。

①年齢（令和2年9月1日現在）

歳 歳

②性別（○は1つだけ）

1. 男性	2. 女性
-------	-------

③健康状態（○は1つだけ）

1. よい	2. ふつう	3. よくない
-------	--------	---------

あなたの障がいの状況についておうかがいします

問8 あなたは身体障害者手帳をお持ちですか。（○は1つだけ）

- | | | | |
|-------|-------|-----------|-------|
| 1. 1級 | 2. 2級 | 3. 3級 | 4. 4級 |
| 5. 5級 | 6. 6級 | 7. 持っていない | |

問9 身体障害者手帳をお持ちの場合、主たる障がいをお答えください。

（○は1つだけ）

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1. 視覚障がい | 5. 肢体不自由（下肢） |
| 2. 聴覚障がい | 6. 肢体不自由（体幹） |
| 3. 音声・言語・そしゃく機能障がい | 7. 内部障がい（1～6以外） |
| 4. 肢体不自由（上肢） | |

問10 あなたは療育手帳をお持ちですか。（○は1つだけ）

- | | | |
|--------|--------|-----------|
| 1. A判定 | 2. B判定 | 3. 持っていない |
|--------|--------|-----------|

問11 あなたは精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。（○は1つだけ）

- | | | | |
|-------|-------|-------|-----------|
| 1. 1級 | 2. 2級 | 3. 3級 | 4. 持っていない |
|-------|-------|-------|-----------|

問12 あなたは特別児童扶養手当を受給していますか。（○は1つだけ）

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 受給している | 2. 受給していない |
|-----------|------------|

問13 あなたは難病（特定疾患）の認定を受けていますか。（○は1つだけ）

※難病（特定疾患）とは、関節リウマチやギラン・バレー症候群などの治療法が確立していない疾病その他の特殊な疾病をいいます。

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 受けている | 2. 受けていない |
|----------|-----------|

問14 あなたは発達障がいとして診断されたことがありますか。(○は1つだけ)
 ※発達障がいとは、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障がい、
 学習障がい、注意欠陥多動性障がいなどをいいます。

1. ある

2. ない

問15 あなたは高次脳機能障がいとして診断されたことがありますか。
 (○は1つだけ)

※高次脳機能障がいとは、一般に、外傷性脳損傷、脳血管障がい等により
 脳に損傷を受けその後遺症等として生じた記憶障がい、注意障がい、
 社会的行動障がいなどの認知障がい等を指すものとされており、具体的
 に「会話がうまくかみ合わない」等の症状があります。

1. ある

2. ない

問15-1 問15で「ある」を選択した場合、その関連障がいをお答えください。
 (あてはまるものすべてに○)

1. 視覚障がい

5. 肢体不自由(下肢)

2. 聴覚障がい

6. 肢体不自由(体幹)

3. 音声・言語・そしゃく機能障がい

7. 内部障がい(1~6以外)

4. 肢体不自由(上肢)

問16 あなたが現在受けている医療ケアをお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

1. 気管切開

7. 中心静脈栄養(IVH)

2. 人工呼吸器(レスピレーター)

8. 透析

3. 吸入

9. カテーテル留置

4. 吸引

10. ストマ(人工肛門・人工膀胱)

5. 胃ろう・腸ろう

11. 服薬

6. 鼻腔経管栄養

12. その他()

住まいや暮らしについておうかがいします

問17 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。(○は1つだけ)

1. 幼稚園、保育所、障がい児通園施設などに通っている
2. 一般の小中学校、高校に通っている
3. 一般の小中学校の支援学級に通っている
4. 特別支援学校（小中高等部）に通っている
5. 自宅で過ごしている
6. 入所している施設や病院等で過ごしている
7. 病院などのデイケアに通っている
8. リハビリテーションを受けている
9. その他（ ）

次ページ
問21 へ

【問17で「1」～「4」を選択した方のみ】

問18 あなたが通園・通学先に充実を望むことは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|--------------|
| 1. 就学相談や進路相談などの相談体制 | 5. 特別支援教育の啓発 |
| 2. 能力や障がいの状況にあった個別支援 | 6. 地域との交流の機会 |
| 3. 通常の学級での学習や交流の機会 | 7. 施設・設備・教材 |
| 4. その他（ ） | 8. 特にない |

⇒未就学の方(問17で「1」を選択した方)は、P7 問23 へお進みください

【小学校・中学校に通っている方のみ】

問19 あなたは、中学校卒業後、どのような進路を希望していますか。

(○は1つだけ)

- | | |
|---------------|--------------------|
| 1. 高等学校 | 5. 就学・就労はしないで過ごしたい |
| 2. 特別支援学校の高等部 | 6. その他 |
| 3. その他の学校 | () |
| 4. 企業等で就労したい | 7. わからない |

⇒P7 問23 へお進みください

【高等学校に通っている方のみ】

問20 あなたは、学校卒業後、どのような進路を希望していますか。

(○は1つだけ)

1. 大学・短大に進学したい
2. 専門学校等に通いたい
3. 障がい者高等技術専門学校に通いたい
4. 障がい福祉サービス事業所（作業所等）に通いたい
5. 企業等に就職したい
6. 自宅で就労したい（収入のある仕事）
7. 就学・就労はしないで過ごしたい
8. その他（
9. わからない

⇒ P 7 問23 へお進みください

【問17で「5」～「9」を選択した方のみ】

問21 あなたは今後、収入を得る仕事をしたいと思いますか。(○は1つだけ)

1. 仕事をしたい 3. わからない
2. 仕事はしたくない、できない ⇒ P7 問23へ

【問21で「1」、「3」を選択した方のみ】

問22 収入を得る仕事を得るために、職業訓練などを受けたいと思いますか。
(○は1つだけ)

1. 職業訓練を受けたい
2. 職業訓練を受けたくない、受ける必要はない

問23 あなたは将来、地域で生活したいと思いますか。（○は1つだけ）

1. 今のまま生活したい
2. グループホームなどを利用したい
3. 家族と一緒に生活したい
4. 一般の住宅で一人暮らしをしたい
5. その他（ ）

問24 地域で生活するためには、どのような支援があればよいと思いますか。
（あてはまるものすべてに○）

1. 在宅で医療ケアなどが適切に得られること
2. 障がい者に適した住居の確保
3. 必要な在宅サービスが適切に利用できること
4. 生活訓練等の充実
5. 経済的な負担の軽減
6. 相談対応等の充実
7. 地域住民等の理解
8. コミュニケーションについての支援
9. その他（ ）

日中活動についておうかがいします

問25 あなたは、1週間にどの程度外出しますか。（○は1つだけ）

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 毎日外出する | 4. まったく外出しない |
| 2. 1週間に数回外出する | ⇒ P 8 問28 へ |
| 3. めったに外出しない | |

【問26 から問27 は、問25 で、「1」～「3」を選択した方のみ】

問26 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。
（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 通学・通所 | 6. 趣味やスポーツをする |
| 2. 訓練やりハビリに行く | 7. グループ活動に参加する |
| 3. 医療機関への受診 | 8. 散歩に行く |
| 4. 買い物に行く | 9. その他（ ） |
| 5. 友人・知人に会う | |

問27 外出する時に困ることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 公共交通機関が少ない（公共交通機関が通っていない）
2. 列車やバスの乗り降りが困難
3. 道路や駅に階段や段差が多い
4. 切符の買い方や乗換えの方法がわかりにくい
5. 外出先の建物の設備が不便（通路、トイレ、エレベーターなど）
6. 介助者が確保できない
7. 外出にお金がかかる
8. 周囲の目が気になる
9. 発作など突然の身体の変化が心配
10. 困った時にどうすればいいのかが心配
11. その他（ ）
12. 特にない

障がい福祉サービス等の利用についておうかがいします

問28 あなたは次のサービスを利用していますか。また、今後利用したいと考えますか。（①から④のそれぞれについて、「現在利用しているか」と「今後利用したいか」の両方に回答（番号に○）してください）

	現在 利用しているか		今後 利用したいか	
	利用 して いる	利用 して いない	利用 したい	利用 しない
①居宅介護（ホームヘルプ） 自宅で入浴や排せつ、食事などの介助を行うサービスです。	1	2	1	2
②重度訪問介護 重度の障がいがあり常に介護が必要な方に、 自宅で入浴や排せつ食事などの介助や外出時の移動の補助を行うサービスです。	1	2	1	2

	現在 利用しているか		今後 利用したいか	
	利用 して いる	利用 して いない	利用 したい	利用 しない
③同行支援 視覚障がいにより移動が著しく困難な方に、外出に必要な情報の提供や移動の支援などを行うサービスです。	1	2	1	2
④行動支援 知的障がいや精神障がいにより行動が困難で常に介護が必要な方に、行動するとき必要な介助や外出時の移動の補助などを行うサービスです。	1	2	1	2
⑤重度障がい者等包括支援 常に介護が必要な方で、介護の必要の程度が著しく高い方に、居宅介護などのサービスを包括的に提供するサービスです。	1	2	1	2
⑥生活介護 常に介護が必要な方に、施設で入浴や排せつ、食事の介護や創作的活動などの機会を提供するサービスです。	1	2	1	2
⑦自立訓練（機能訓練、生活訓練） 自立した日常生活や社会生活ができるよう、一定の期間における身体機能や生活能力向上のために必要な訓練を行なうサービスです。	1	2	1	2
⑧就労移行支援 通常の事業所で働きたい方に、一定の期間、就労に必要な知識及び能力の向上のための訓練を行うサービスです。	1	2	1	2

	現在 利用しているか		今後 利用したいか	
	利用 して いる	利用 して いない	利用 したい	利用 しない
⑩就労継続支援（A型、B型） 通常の事業所で働くことが困難な方に、 就労の機会の提供や生産活動その他の活動の 機会の提供、知識や能力の向上のための 訓練を行うサービスです。	1	2	1	2
⑪療養介護 医療が必要な方で、常に介護を必要とする方 に、主に昼間に病院等において機能訓練、 療養上の管理、看護などを提供する サービスです。	1	2	1	2
⑫短期入所（ショートステイ） 在宅の障がい者（児）を介護する方が病気の 場合などに、障がい者が施設に短期間入所 し、入浴、排せつ、食事の介護などを行う サービスです。	1	2	1	2
⑬共同生活援助（グループホーム） 夜間や休日、共同生活を行う住居で、相談 や日常生活上の援助を行うサービスです。	1	2	1	2
⑭施設入所支援 主として夜間、施設に入所する障がい者 （児）に対し、入浴、排せつ、食事の介護な どの支援を行うサービスです。	1	2	1	2
⑮相談支援 福祉に関する問題や介護者からの相談に應じ て、必要な情報の提供や助言などを行うサ ービスです。	1	2	1	2

	現在 利用しているか		今後 利用したいか	
	利用 して いる	利用 して いない	利用 したい	利用 しない
㉑児童発達支援 日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練などの支援を行うサービスです。	1	2	1	2
㉒放課後等デイサービス 学校の授業終了後や学校の休校日に、児童発達支援センター等の施設に通い、生活能力向上のために必要な訓練や、社会との交流の促進などの支援を行うサービスです。	1	2	1	2
㉓保育所等訪問支援 保育所等を訪問し、障がい児に対して、障がい児以外の児童との集団生活への適応のための専門的な支援などを行うサービスです。	1	2	1	2
㉔医療型児童発達支援 日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練などの支援と治療を行うサービスです。	1	2	1	2
㉕福祉型児童入所支援 障がい児入所施設に入所する障がい児に対して、保護・日常生活の指導や知識技能の付与を行うサービスです。	1	2	1	2
㉖医療型児童入所支援 障がい児入所施設や指定医療機関に入所等をする障がい児に対して、保護・日常生活の指導や知識技能の付与や治療を行うサービスです。	1	2	1	2

そうじんあいで

相談相手についておうかがいします

問29 あなたは、普段、悩みや困ったことをどなたに相談しますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------------|----------------------------|
| 1. 家族や親せき | 9. 民生委員・児童委員 |
| 2. 友人・知人 | 10. 通園施設や保育所、幼稚園、
学校の先生 |
| 3. 近所の人 | 11. 相談支援事業所などの民間の
相談窓口 |
| 4. 施設の指導員など | 12. 行政機関の相談窓口 |
| 5. ホームヘルパーなどサービス
事業所の人 | 13. その他 |
| 6. 障がい者団体や家族会 | () |
| 7. かかりつけの医師や看護師 | 14. 相談する相手がいない |
| 8. 病院のケースワーカーや介護
保険のケアマネジャー | |

問30 あなたは障がいのことや福祉サービスなどに関する情報を、どこから
知ることが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース
2. 行政機関の広報誌
3. インターネット
4. 家族や親せき、友人・知人
5. サービス事業所の人や施設職員
6. 障がい者団体や家族会(団体の機関誌など)
7. かかりつけの医師や看護師
8. 病院のケースワーカーや介護保険のケアマネジャー
9. 民生委員・児童委員
10. 通園施設や保育所、幼稚園、学校の先生
11. 相談支援事業所などの民間の相談窓口
12. 行政機関の相談窓口
13. その他()
14. どこで情報入手したらよいかわからない
15. 情報は必要ない

権利擁護についておうかがいします

問31 あなたは、障がいがあることで差別や嫌な思いをする（した）ことがありますか。（○は1つだけ）

- | | | |
|-------|---------|-------|
| 1. ある | 2. 少しある | 3. ない |
|-------|---------|-------|

【問31で「1」または「2」と回答された方のみ】

問32 どのような場所で差別や嫌な思いをしましたか。
（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--------------|------------|
| 1. 学校 | 5. 住んでいる地域 |
| 2. 外出先 | 6. 自宅 |
| 3. 余暇を楽しむとき | 7. その他（ ） |
| 4. 病院などの医療機関 | |

【問31で「1」または「2」と回答された方のみ】

問32-1 嫌な思いをした内容を具体的に記入ください。

--

問33 成年後見制度についてご存じですか。（○は1つだけ）

- | |
|-------------------------|
| 1. 名前も内容も知っている |
| 2. 名前を聞いたことがあるが、内容は知らない |
| 3. 名前も内容も知らない |

災害時の避難等についておうかがいします

問34 あなたは、火事や地震等の災害時に一人で避難できますか。（○は1つだけ）

- | | | |
|--------|---------|----------|
| 1. できる | 2. できない | 3. わからない |
|--------|---------|----------|

問35 家族が不在の場合や一人暮らしの場合、近所にあなただけを助けてくれる人はいますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|-------|--------|----------|
| 1. いる | 2. いない | 3. わからない |
|-------|--------|----------|

問36 火事や地震等の災害時に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 投薬や治療が受けられない
2. 補装具の使用が困難になる
3. 補装具や日常生活用具の入手ができなくなる
4. 救助を求めることができない
5. 安全なところまで、迅速に避難することができない
6. 被害状況、避難場所などの情報が入手できない
7. 周知とコミュニケーションがとれない
8. 避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安
9. その他（ ）
10. 特になし

問37 最後に、障がい福祉サービスや行政の取組について、何かご意見がありましたら、自由にご記入ください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

おのまち障がい者計画等アンケート調査業務委託
調査結果報告書

令和3年3月発行

小野町 健康福祉課

〒963-3492 福島県田村郡小野町大字小野新町字舘廻9-2番地
電話 0247-72-6934